

# **田尻町 男女共同参画に関する意識調査**

## **調査結果報告書**

**2014年（平成26年）10月**

**田尻町**



# 田尻町 男女共同参画に関する意識調査 調査結果報告書

## 目 次

<b>1 調査の概要</b>	<b>1</b>
1. 調査の目的	1
2. 調査方法、回収率など	1
3. 調査内容	2
4. 集計結果、表示について	3
<b>2 調査結果の概要</b>	<b>4</b>
<b>3 調査結果</b>	<b>6</b>
男女共同参画について	6
家庭生活・子育て・介護などについて	15
教育について	33
働くことについて	49
地域活動への参画・防災について	66
男女間の暴力について	71
男女共同参画社会の実現に向けて	86
回答者の属性	94



# 1 調査の概要

---

## 1. 調査の目的

本町では、2005年（平成17年）3月「田尻町男女共同参画推進条例」を制定するとともに「田尻町男女共同参画プラン」を策定し、男女共同参画に関する取り組みを進めてきた。プランの計画期間終了を迎えることから、広く町民と町職員の男女共同参画に関する実情や意識を把握し、新たなプランを策定するうえでの重要な基礎資料とするため、調査を実施した。

## 2. 調査方法、回収率など

調査対象	調査方法	調査期間	有効回収数 ／配付数	回収率
町内に居住する20歳以上の住民を無作為抽出	配付・回収とも郵送	2014年(平成26年)8月～9月	273／1,000	27.3%
田尻町職員	庁内で配付、回収	2014年(平成26年)8月～9月	103／127	81.1%

### 3. 調査内容

<b>男女共同参画社会について</b>		
問1	(1)～(12)	条例・法律などを知っているか
問2	(1)～(7)	男女はどの程度平等か
<b>家庭生活・子育て・介護などについて</b>		
問3	(1)～(7)	家庭などの考え方についてどう思うか
問4	(1)～(7)	役割をどのように担うのが望ましいか
問5		男性の日常生活であてはまること
問6	(1)～(6)	家事・育児・介護の時間
問7		介護の必要な身内がいるか
問7-1		介護者の続柄
問8		望む介護者
問9		男性の家事などへの参加で必要なこと
<b>教育について</b>		
問10	(1)～(4)	子どもの教育方針
問11	(1)～(2)	子どもに受けさせたい教育
問12		学校で行うとよいもの
問13	(1)～(5)	子どもに身につけてほしいこと
<b>働くことについて</b>		
問14	(1)～(2)	女性が働くことの現実と理想
問15	(1)～(3)	勤務形態（現在、希望、配偶者）
問16		女性が働き続けるために必要なこと
問17	(1)～(9)	職場での性別による差
問18		男女が対等に働くために必要なこと
問19	(1)～(2)	生活の重点についての現実と理想
<b>地域活動への参画・防災について</b>		
問20	(1)～(5)	地域活動への参加状況・意向
問20-1	(1)～(5)	地域活動への不参加の理由
問21		性別に配慮して取り組むべき防災などの活動
<b>男女間の暴力について</b>		
問22		女性の人権が配慮されていないと感じること
問23	(1)～(12)	受けたことのある行為
問24	(1)～(4)	受けたことのあるDV（配偶者・パートナー、交際相手）
問24-1		打ち明けたり相談した先
問24-2		相談しなかった(できなかった)理由
問25		配偶者暴力をなくすために必要なこと
<b>男女共同参画社会の実現に向けて</b>		
問26	(1)～(9)	男女共同参画社会と田尻町
問27		田尻町が力を入れていくべきこと
問28		男女共同参画社会実現のためにできること
問29～		<b>回答者の属性</b>

#### 4. 集計結果、表示について

○グラフ内の数字は特記のない限り、百分比(%)であり、小数点以下第2位を四捨五入して算出しています。このために、百分比の合計値が100.0にならないことがあります。

複数回答の場合は、百分比の合計が100を超えることがあります。

○グラフ内の「N」は、100%にあたる回答者数（基数）です。

○基数が極端に小さい場合は、乖離が大きくても言及しない場合があります。

○図表中ではスペースの都合上、選択肢の文言を簡略化して表示している場合があります。

○実際の人口とサンプル数との関係は次のとおりです。

##### ●人口とサンプル数との関係

	(a)田尻町の人口		(b)サンプル数		(b)-(a)%の差 ポイント
	人	%	人	%	
男性20・30歳代	1,443	20.8	32	11.7	-9
男性40・50歳代	1,067	15.4	41	15.0	0
男性60歳以上	1,006	14.5	44	16.1	2
女性20・30歳代	1,034	14.9	46	16.8	2
女性40・50歳代	1,059	15.3	37	13.6	-2
女性60歳以上	1,324	19.1	67	24.5	5
無回答	—	—	6	2.2	—
合計	6,933	100.0	273	100.0	—
吉見	3,400	41.9	123	45.1	3
嘉祥寺	3,126	38.5	86	31.5	-7
りんくうポート北	1,591	19.6	60	22.0	2
無回答	—	—	4	1.5	—
合計	8,117	100.0	273	100.0	—

人口は2014(平成26)年8月1日現在

○サンプル数(N)により、得られた回答の%(p)の誤差は異なります。このサンプリング誤差は次のとおりです。(信頼度 95%)

##### ●サンプリング誤差

サンプリング誤差の単位は%

	p (%)→	N(サンプル数)↓					
		1	10	20	30	40	50
男性20・30歳代	32	3.5	10.6	14.1	16.2	17.3	17.7
男性40・50歳代	41	3.1	9.4	12.5	14.3	15.3	15.6
男性60歳以上	44	3.0	9.0	12.1	13.8	14.8	15.1
女性20・30歳代	46	2.9	8.8	11.8	13.5	14.4	14.7
女性40・50歳代	37	3.3	9.9	13.2	15.1	16.1	16.4
女性60歳以上	67	2.4	7.3	9.8	11.2	12.0	12.2
吉見	123	1.8	5.4	7.2	8.3	8.8	9.0
嘉祥寺	86	2.1	6.5	8.6	9.9	10.6	10.8
りんくうポート北	60	2.6	7.7	10.3	11.8	12.6	12.9
総数	273	1.2	3.6	4.8	5.5	5.9	6.1

## 2 調査結果の概要

(町民調査についてのみ言及)

### ▶ 男女共同参画について ◀

- 関連用語で、過半数が「知らない」とするのは、ポジティブ・アクション、田尻町男女共同参画推進条例・同プラン、男女共同参画社会基本法である。**問 1**
- 社会の各シーンでの男女の平等度について男性が優遇されているとする割合が高いのは、政治の場、社会通念やしきたり、就職活動や職場などである。**問 2**

### ▶ 家庭生活・子育て・介護などについて ◀

- 結婚や出産のありかたについて、その自由を認めるという意見が多いのは、(1)結婚することの判断、(5)子どもを産むことの女性の判断、(3)離婚の判断などである。(4)男は働き女は家庭を守ることに對しての反対意見は多く、堺市調査と比べてもその割合が高い。**問 3**
- 家庭内での男女の役割については、子どもの教育・しつけや老親などの介護・看護については、夫婦同程度の役割であるべきだという意見が多い。府・堺市の調査と比べると、ほかの設問も含めて全体的に、夫婦同程度の役割であるべきだという割合が高い。**問 4**

### ▶ 教育について ◀

- 子どもの教育について、府調査と比べると、(3)性別にこだわらず家事ができる、(4)性別にこだわらず経済的に自立できる、などについては「賛成」が高く、(2)女らしく、男らしくしつけることでは反対傾向が強いなど、全体的に男女平等意識が強い。**問 10**
- 子どもに受けさせる教育については、4年制大学への進学を考える割合は男の子が高いが、男の子、女の子ともに府・堺市調査を下回っている。**問 11**
- 男女平等に向けて学校で行うとよいものとしては、男女の区別なく能力を生かすことや男女平等意識を育てること、性別による役割分担をなくすることが上位になっている。**問 12**
- 子どもに身につけてほしいことでは、女の子が必ず身につけるべきであるとする割合が堺市調査よりも高い項目は、(1)経済的に自立できる力、(2)家事・育児ができる力、(5)個性・才能をのばす、である。また男の子については、(2)家事・育児ができる力、(5)個性・才能をのばす、が堺市調査よりも高い。**問 13**

### ▶ 働くことについて ◀

- 女性の働き方の理想として、結婚や出産にかかわらず仕事を続けること、とする割合が府調査よりも高くなっている。**問 14**
- 女性が働き続けるために必要なこととして、育児休業制度を利用しやすい職場環境のほか、育児・介護のための施設・サービスの充実が求められている。**問 16**
- 仕事の上で男性が優遇されていると考えられているのは、(5)管理職への登用、(4)昇進・昇格で多い。堺市調査と比較すると、多くの項目で「平等である」とする割合が堺市を上回っている。**問 17**
- 男女が対等に働くために必要なこととして上位に支持されているのは、女性が働き続けら



れる職場の雰囲気醸成すること、男女ともに休暇を取りやすくすること、男女が能力を發揮できる配置を行うこと、などである。**問 18**

### ▶ 地域活動への参画・防災について ◀

- (2)福祉・ボランティア活動、(3)国際理解・多文化共生活動、(4)地域おこし・まちづくり活動などへの参加者割合は少ないが「今後は参加したい」とする割合は約1/3で比較的高い。

#### **問 20**

- 災害時に性別に配慮して取り組むべきこととして、避難所の設備や乳幼児・高齢者への配慮が上位にあげられている。**問 21**

### ▶ 男女間の暴力について ◀

- 女性の人権が尊重されていないと感じる上位3項目は、性犯罪、痴漢行為、「女のくせに」「女だから」という言葉、である。府や泉佐野市の調査と比較すると、女性に対するストーカー、とする割合が高い。**問 22**
- セクシャルハラスメントなどを受けた経験については、(7)じろじろ見られたり容姿のことを話題にされた、(9)ちゃんづけで呼ぶなど「女の子」扱いされた、(3)性的冗談などの言葉をかけられた、などの割合が高く、いずれも1割弱である。**問 23**
- DVについては、(1)身体に対する暴行では1割強、(3)精神的な嫌がらせでも1割強の回答者が配偶者から受けたことがあるとしている。そして受けた経験のある回答者の約半数が友人や知人に相談し、ついで家族や親戚に相談している。まったく相談しなかった場合の理由として、半数弱が相談するほどのことではないと思った、としている。**問 24**、**問 24-1**、**問 24-2**

### ▶ 男女共同参画社会の実現に向けて ◀

- 男女共同参画についての田尻町の状況として、そう思わないとする傾向が比較的高いのは(1)男女共同参画に対する理解がいきわたっている、(6)男性が家事・育児などを学ぶ機会がある、(2)女性が働きやすい環境が整っている、などである。**問 26**
- 男女共同参画社会実現のために、町が力を入れるべきこととして、安心して産み育てられる環境づくり、育児・介護サービスの充実、再就職などの支援があげられている。**問 27**
- 男女共同参画社会実現のために、回答者ができることとしては、固定的な性別役割分担意識にとらわれないこと、自立できる経済力を身につけること、人権意識を高めることなどがあげられている。**問 28**

### 3 調査結果

---

#### 男女共同参画について

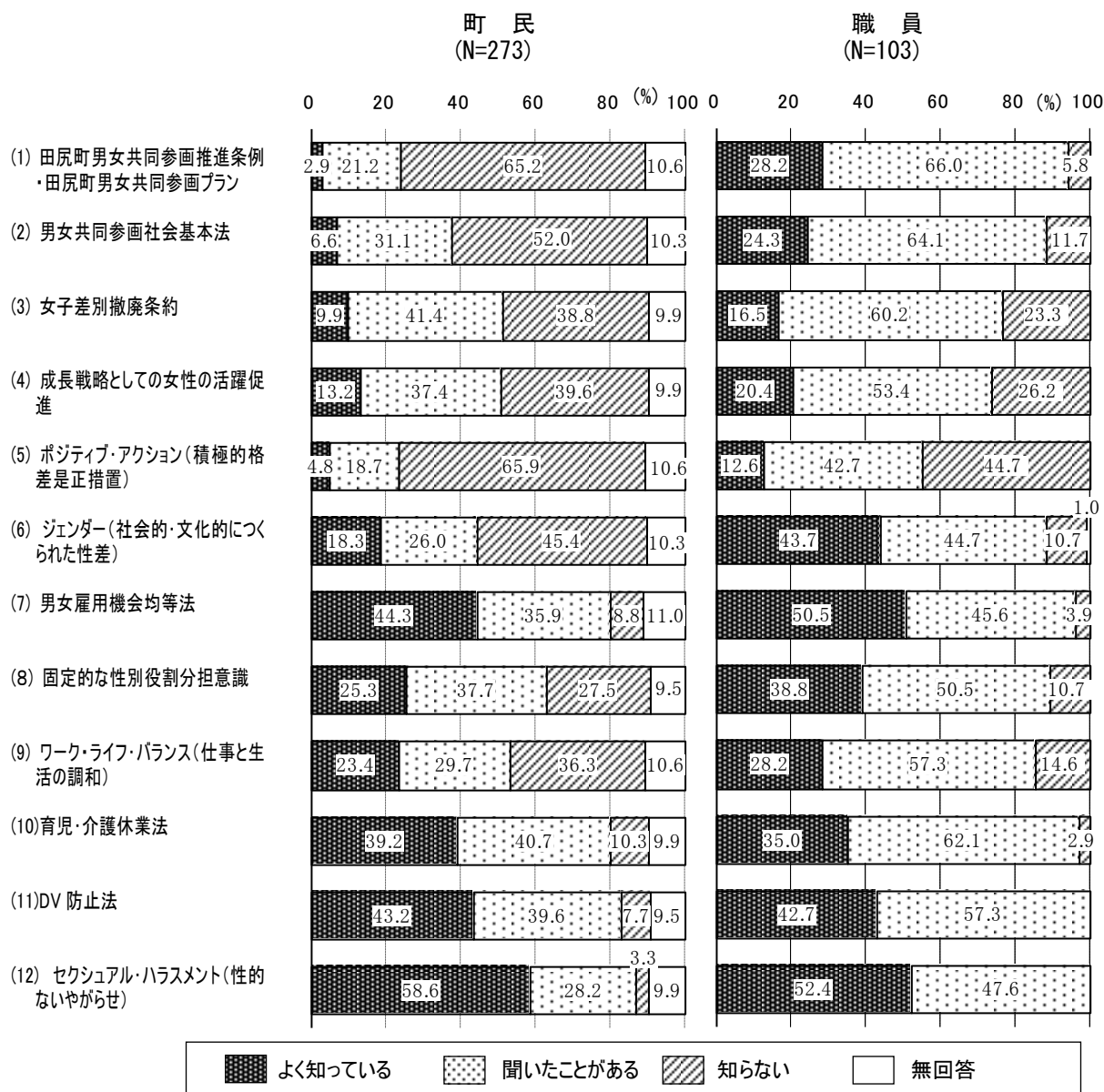
問1 | あなたは次のことばをご存知ですか。〔(1)～(12)それぞれに、○は1つ〕

「よく知っている」の割合の高いのは、(12)セクシャル・ハラスメント、(7)男女雇用機会均等法、(11)DV 防止法などである。逆に「知らない」は、(5)ポジティブ・アクション、(1)田尻町男女共同参画推進条例・田尻町男女共同参画プラン、(2)男女共同参画社会基本法などである。

職員では「よく知っている」割合と「聞いたことがある」の割合の和は、すべての項目において町民の割合を上回っている。ただ、(5)ポジティブ・アクションについては「知らない」とする職員が44.7%で高い(町民は65.9%)。

町民の回答を性・年代別にみると、女性20・30歳代では多くの項目で「知らない」とする割合が全体を10ポイント以上上回っている。逆に男性の20～50歳代では多くの項目で「よく知っている」とする割合が高い。(以下、性・年代別の分析は、すべて町民について)

## 【条例・法律などを知っているか】



町民、性・年代別

単位は%

(1) 田尻町男女共同参画推進条例・田尻町男女共同参画プラン

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	0.0	2.4	4.5	2.2	5.4	3.0
聞いたことがある	6.3	24.4	20.5	15.2	45.9	17.9
知らない	93.8	73.2	54.5	82.6	45.9	52.2
無回答	0.0	0.0	20.5	0.0	2.7	26.9

(2) 男女共同参画社会基本法

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	9.4	7.3	11.4	2.2	10.8	3.0
聞いたことがある	53.1	46.3	18.2	32.6	37.8	16.4
知らない	37.5	46.3	52.3	65.2	51.4	52.2
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	28.4

(3) 女子差別撤廃条約

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	6.3	9.8	15.9	6.5	8.1	11.9
聞いたことがある	59.4	43.9	29.5	50.0	45.9	31.3
知らない	34.4	46.3	36.4	43.5	45.9	29.9
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	26.9

(4) 成長戦略としての女性の活躍促進

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	15.6	14.6	18.2	8.7	8.1	14.9
聞いたことがある	50.0	43.9	27.3	37.0	54.1	26.9
知らない	34.4	41.5	36.4	54.3	37.8	31.3
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	26.9

(5) ポジティブ・アクション(積極的格差是正措置)

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	6.3	7.3	6.8	2.2	2.7	4.5
聞いたことがある	28.1	17.1	20.5	15.2	29.7	11.9
知らない	65.6	75.6	54.5	80.4	67.6	55.2
無回答	0.0	0.0	18.2	2.2	0.0	28.4

(6) ジェンダー(社会的・文化的につくられた性差)

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	31.3	24.4	13.6	17.4	27.0	9.0
聞いたことがある	31.3	34.1	15.9	34.8	37.8	13.4
知らない	37.5	41.5	50.0	47.8	35.1	50.7
無回答	0.0	0.0	20.5	0.0	0.0	26.9

**(7) 男女雇用機会均等法**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	53.1	58.5	40.9	45.7	56.8	28.4
聞いたことがある	43.8	34.1	31.8	37.0	43.2	29.9
知らない	3.1	4.9	9.1	15.2	0.0	13.4
無回答	0.0	2.4	18.2	2.2	0.0	28.4

**(8) 固定的な性別役割分担意識**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	31.3	26.8	31.8	26.1	21.6	19.4
聞いたことがある	43.8	48.8	29.5	32.6	54.1	25.4
知らない	25.0	24.4	22.7	41.3	24.3	28.4
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	26.9

**(9) ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	40.6	34.1	18.2	26.1	18.9	11.9
聞いたことがある	31.3	29.3	27.3	30.4	51.4	19.4
知らない	28.1	36.6	36.4	41.3	27.0	41.8
無回答	0.0	0.0	18.2	2.2	2.7	26.9

**(10) 育児・介護休業法**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	40.6	43.9	36.4	50.0	48.6	25.4
聞いたことがある	46.9	51.2	31.8	32.6	48.6	37.3
知らない	12.5	4.9	13.6	17.4	2.7	10.4
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	26.9

**(11) DV 防止法**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	53.1	56.1	40.9	43.5	45.9	34.3
聞いたことがある	43.8	43.9	25.0	47.8	54.1	26.9
知らない	3.1	0.0	18.2	8.7	0.0	11.9
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	26.9

**(12) セクシュアル・ハラスメント(性的ないやがらせ)**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
よく知っている	68.8	78.0	50.0	71.7	64.9	40.3
聞いたことがある	31.3	19.5	29.5	28.3	35.1	22.4
知らない	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	10.4
無回答	0.0	2.4	15.9	0.0	0.0	26.9

**問2** 次にあげる分野で、男女はどの程度平等になっていると思いますか。  
 [(1)～(7)それぞれに、○は1つ]

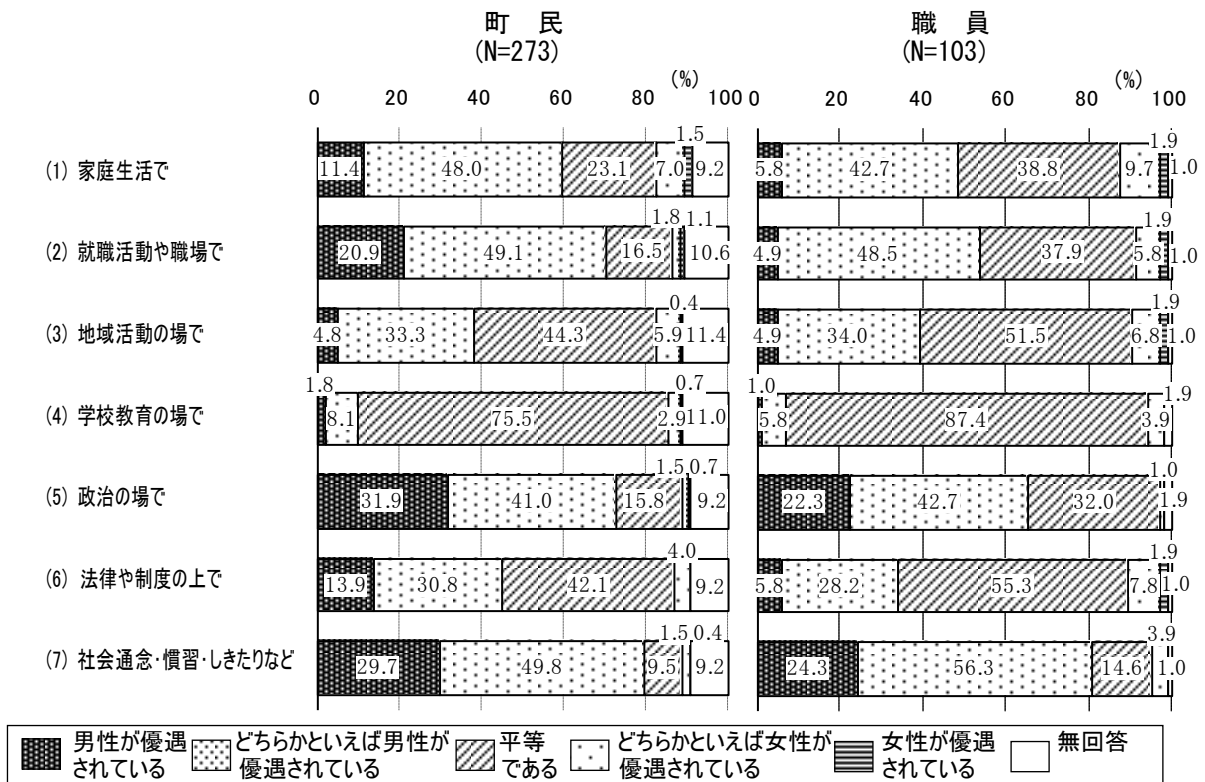
「男性が優遇されている」とする割合が高い項目は(5)政治の場で(31.9%)、(7)社会通念・慣習・しきたりなどで(29.7%)、(2)就職活動や職場で(20.9%)、などである。「平等である」の割合の高い項目は、(4)学校教育の場で(75.5%)、(3)地域活動の場で(44.3%)、(6)法律や制度の上で(42.1%)、などである。

職員では、どの項目も「平等である」とする割合が町民よりも高い。

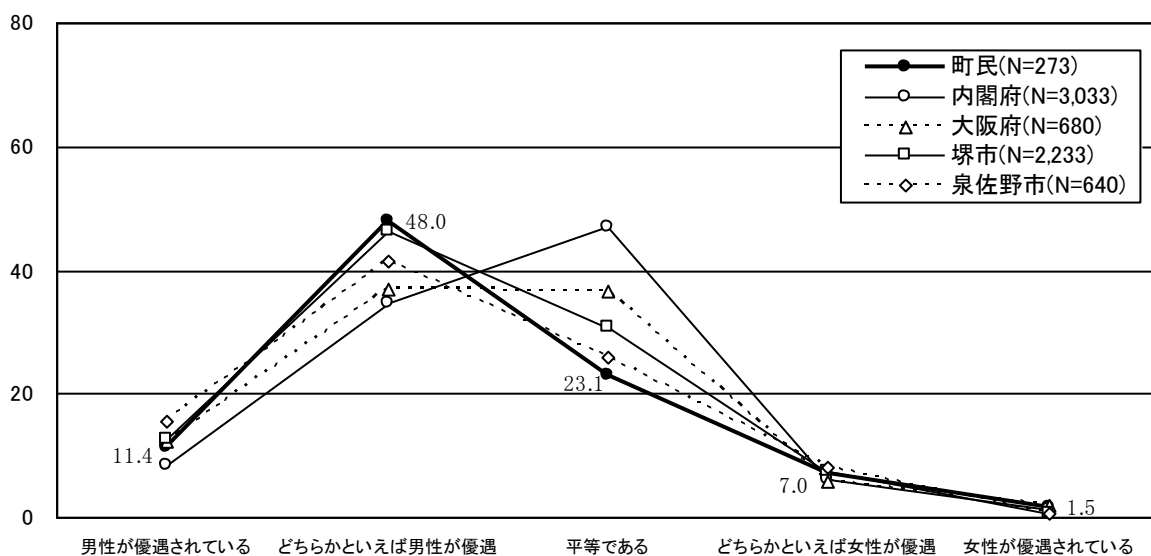
内閣府・大阪府・他市との比較では、(1)家庭生活上で、(2)就職活動や職場で、(7)社会通念・慣習・しきたりなどで、については「平等である」とする割合は、田尻町町民では下位に位置する。(4)学校教育の場で、では「平等である」とする割合は最も高い。(以下、国や他の自治体との比較分析は、町民についてのみ)

性・年代別にみると、(5)政治の場で、(7)社会通念・慣習・しきたりなどで、(2)就職活動や職場で、において「男性が優遇されている」とする割合は、女性 40・50 歳代や女性 20・30 歳代で特に高い。

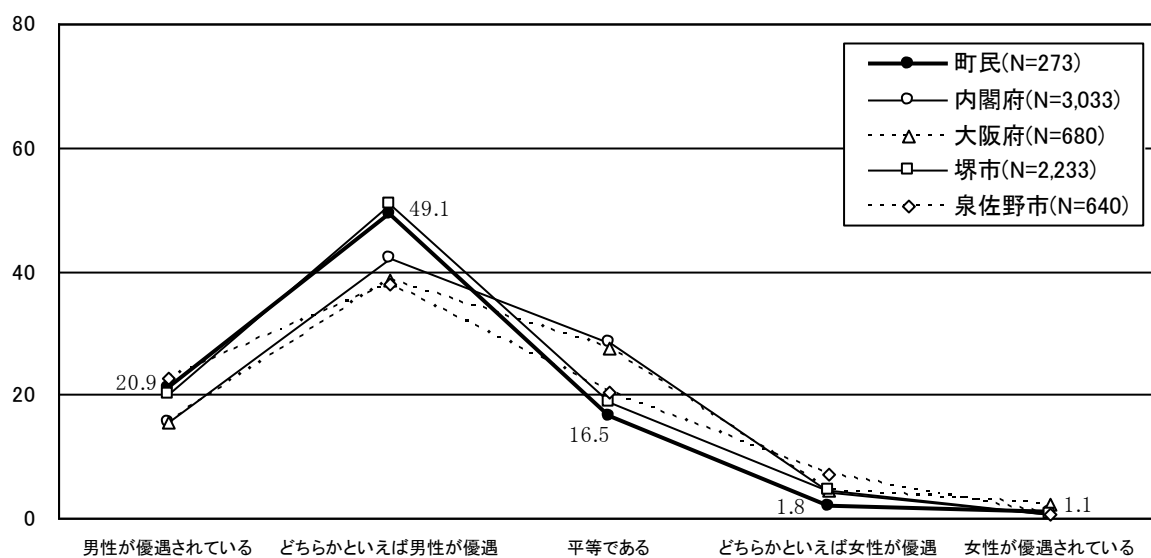
**【男女はどの程度平等か】**



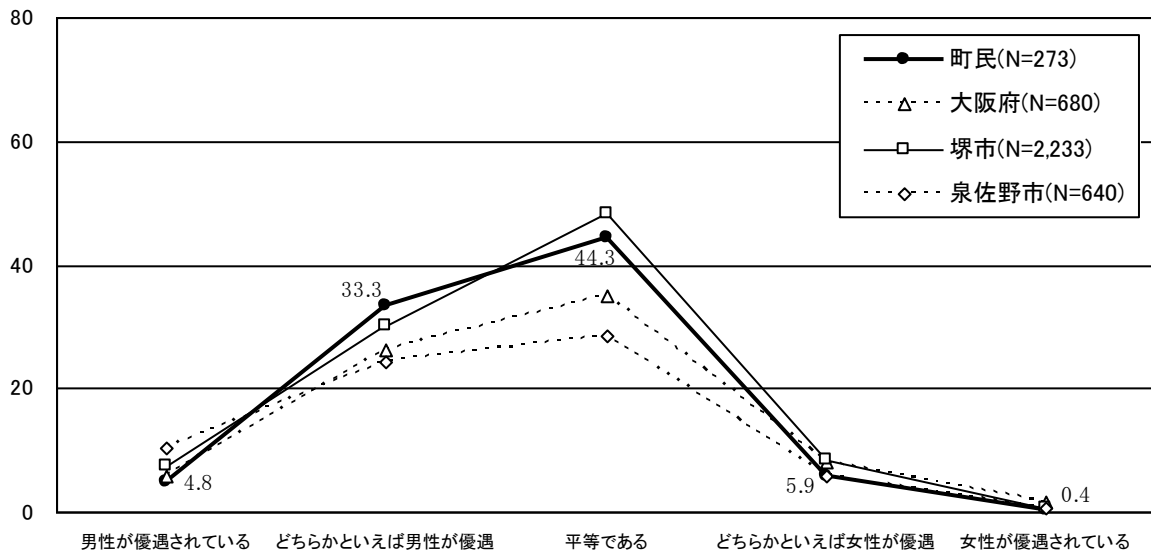
【男女はどの程度平等か】(1) 家庭生活で



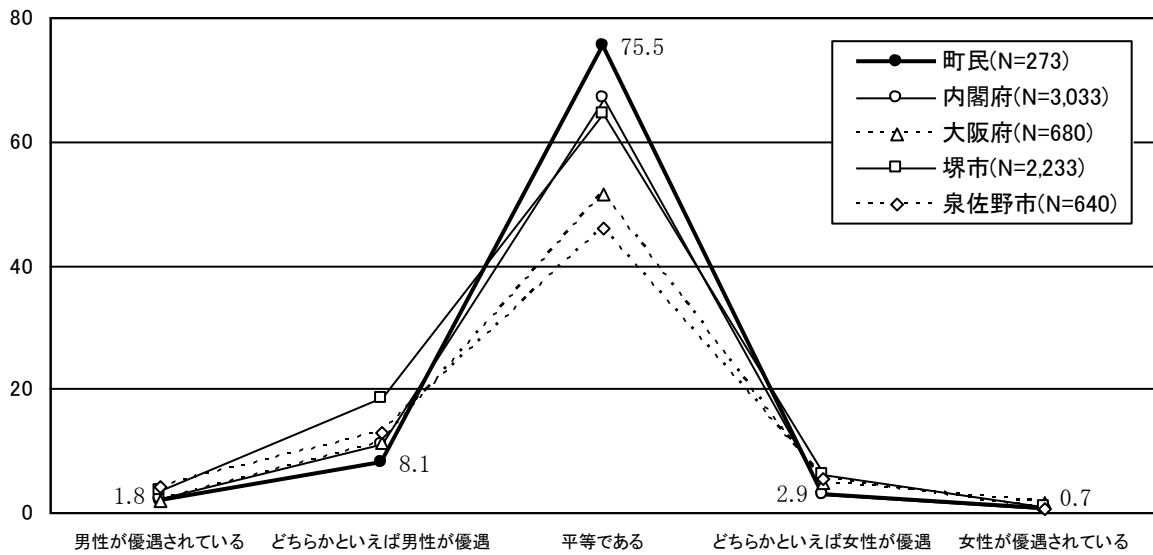
【男女はどの程度平等か】(2) 就職活動や職場で



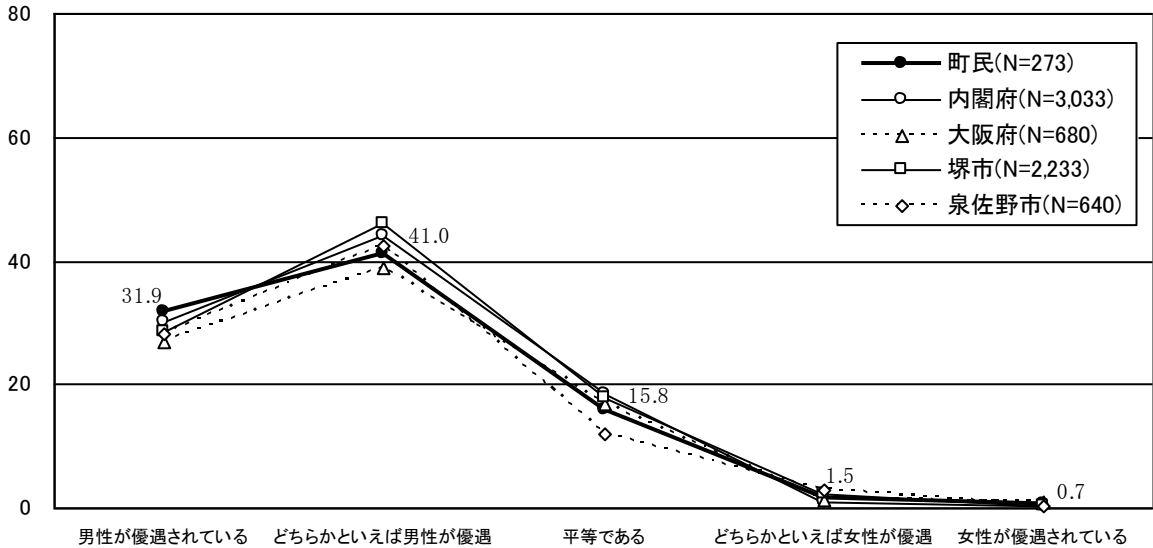
【男女はどの程度平等か】(3) 地域活動の場で



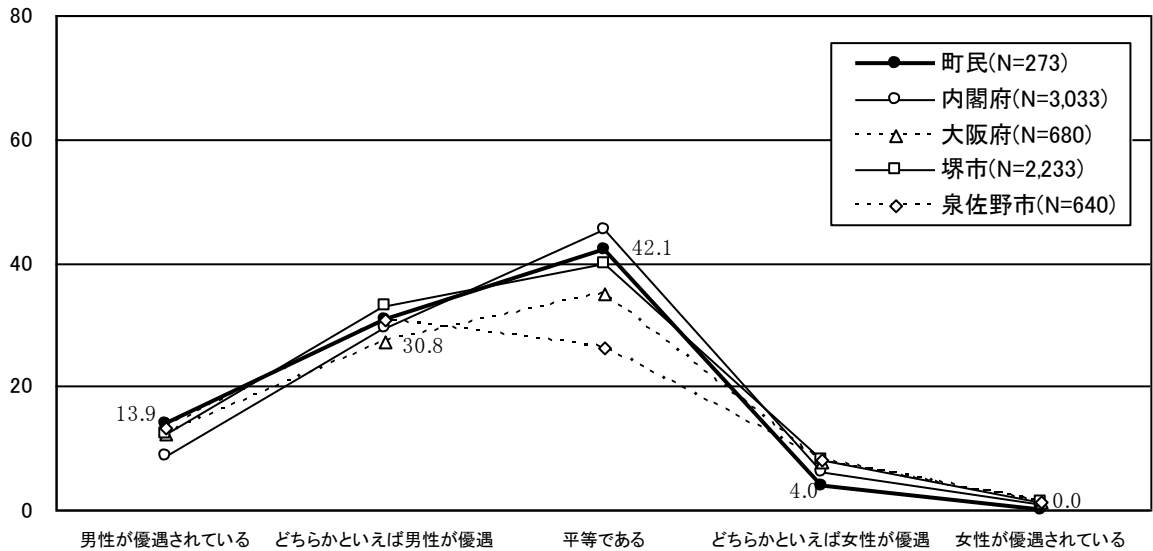
【男女はどの程度平等か】(4) 学校教育の場で



【男女はどの程度平等か】(5) 政治の場で

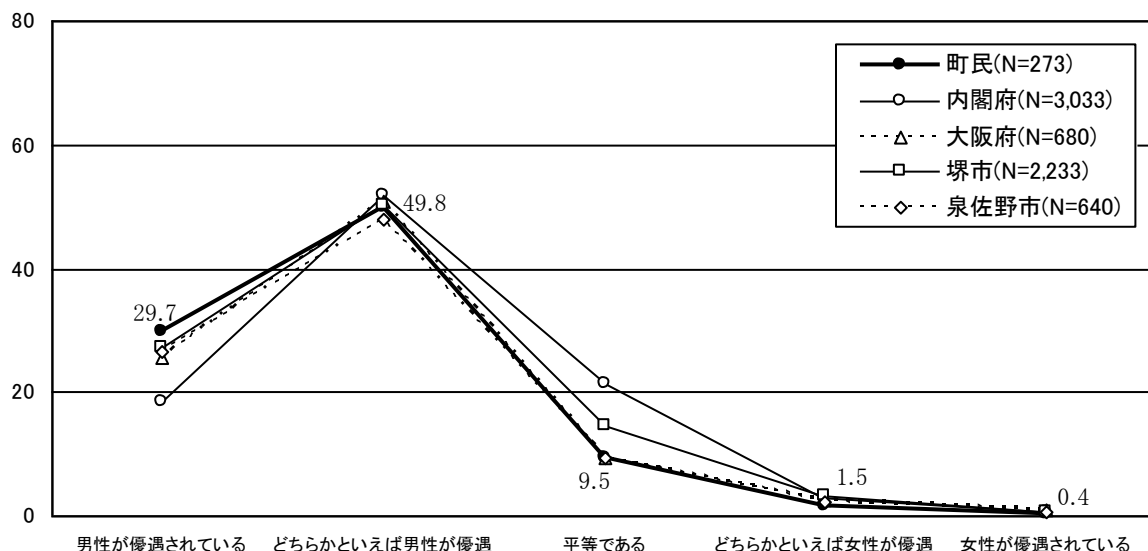


【男女はどの程度平等か】(6) 法律や制度の上で





【男女はどの程度平等か】(7) 社会通念・慣習・しきたりなどで



町民、性・年代別

単位: %

(1) 家庭生活で

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	9.4	12.2	4.5	17.4	13.5	11.9
どちらかといえば男性が優遇されている	56.3	41.5	45.5	47.8	56.8	43.3
平等である	21.9	31.7	27.3	23.9	27.0	13.4
どちらかといえば女性が優遇されている	9.4	12.2	4.5	10.9	0.0	6.0
女性が優遇されている	3.1	2.4	2.3	0.0	2.7	0.0
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	25.4

(2) 就職活動や職場で

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	18.8	19.5	15.9	34.8	21.6	16.4
どちらかといえば男性が優遇されている	40.6	51.2	50.0	54.3	51.4	46.3
平等である	25.0	26.8	9.1	10.9	24.3	10.4
どちらかといえば女性が優遇されている	9.4	2.4	2.3	0.0	0.0	0.0
女性が優遇されている	6.3	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	20.5	0.0	2.7	26.9

(3) 地域活動の場で

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	3.1	2.4	9.1	4.3	8.1	3.0
どちらかといえば男性が優遇されている	25.0	24.4	27.3	37.0	59.5	28.4
平等である	62.5	56.1	36.4	50.0	32.4	37.3
どちらかといえば女性が優遇されている	9.4	12.2	6.8	6.5	0.0	3.0
女性が優遇されている	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	4.9	18.2	2.2	0.0	28.4

#### (4) 学校教育の場で

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	6.3	2.4	2.3	2.2	0.0	0.0
どちらかといえば男性が優遇されている	12.5	4.9	6.8	8.7	8.1	9.0
平等である	65.6	87.8	65.9	87.0	91.9	61.2
どちらかといえば女性が優遇されている	12.5	2.4	4.5	0.0	0.0	1.5
女性が優遇されている	3.1	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	2.4	18.2	2.2	0.0	28.4

#### (5) 政治の場で

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	37.5	26.8	20.5	56.5	43.2	19.4
どちらかといえば男性が優遇されている	40.6	48.8	36.4	39.1	51.4	35.8
平等である	15.6	19.5	20.5	4.3	5.4	20.9
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	4.9	4.5	0.0	0.0	0.0
女性が優遇されている	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	23.9

#### (6) 法律や制度の上で

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	9.4	17.1	9.1	21.7	27.0	6.0
どちらかといえば男性が優遇されている	28.1	26.8	25.0	47.8	37.8	23.9
平等である	50.0	48.8	43.2	28.3	32.4	46.3
どちらかといえば女性が優遇されている	12.5	7.3	4.5	2.2	2.7	0.0
女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	23.9

#### (7) 社会通念・慣習・しきたりなどで

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	31.3	26.8	20.5	32.6	56.8	22.4
どちらかといえば男性が優遇されている	59.4	63.4	52.3	52.2	37.8	40.3
平等である	6.3	9.8	4.5	15.2	5.4	10.4
どちらかといえば女性が優遇されている	3.1	0.0	2.3	0.0	0.0	3.0
女性が優遇されている	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	0.0	23.9

## 家庭生活・子育て・介護などについて

**問3** 次のような考え方について、どう思われますか。

[ (1)～(7) それぞれに、○は1つ ]

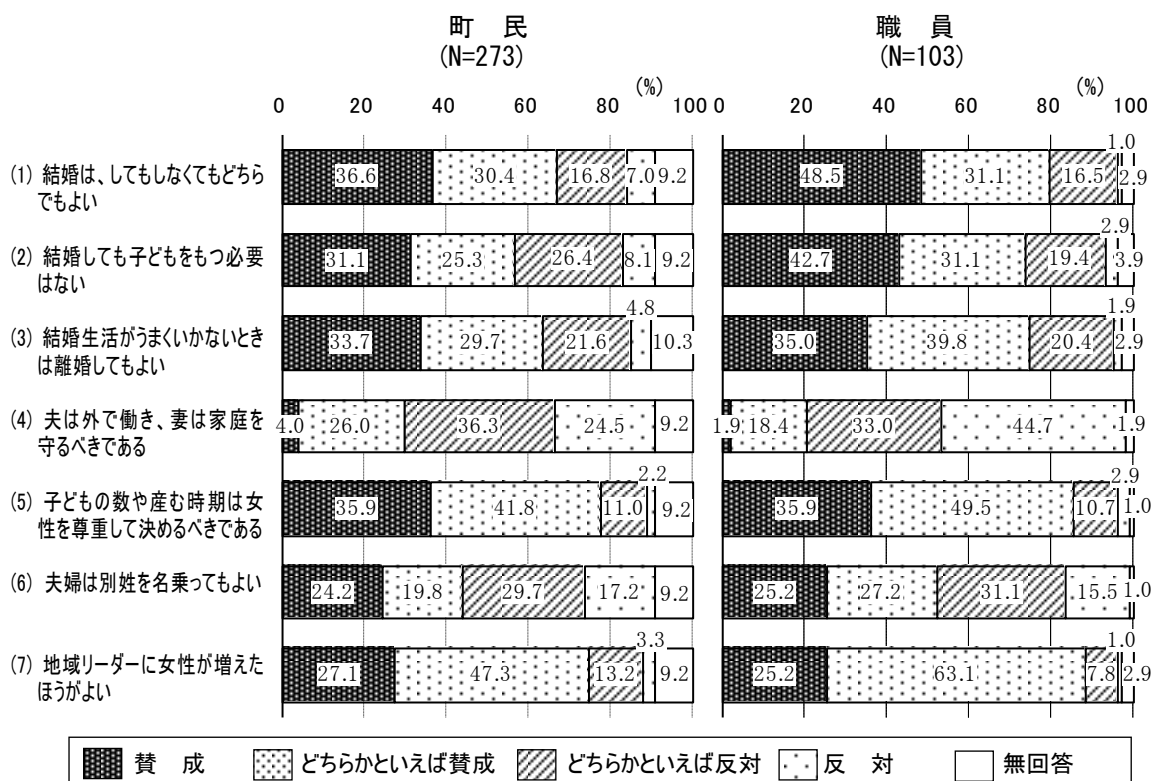
結婚や出産についての自由なありかたについて「賛成」とするのは(1)結婚は個人の自由であるから、してもしなくてもどちらでもよい、が36.6%で最も高い。これに(5)子どもの数や産む時期は女性の意思を尊重したうえで決めるべきである、が35.9%で次ぐ。

職員は、全体的に「賛成」とする割合が町民よりも高い。

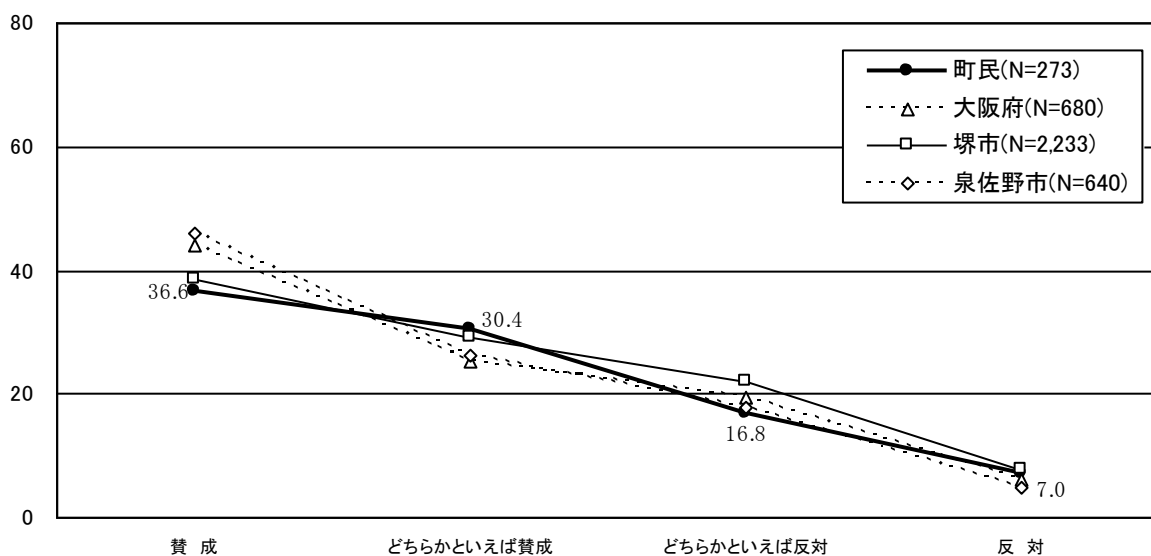
府や他市との比較では、(4)男は仕事、女は家庭。夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである、について「どちらかといえば反対」「反対」ともに堺市を上回っている。

性・年代別では、男女ともに20～50歳代では全体的に「賛成」の割合が高い((4)を除く)。(5)子どもの数や産む時期は女性の意思を尊重したうえで決めるべきである、については「賛成」の割合が、男性20・30歳代が女性20・30歳代を上回り、男性40・50歳代が女性40・50歳代を上回っている。

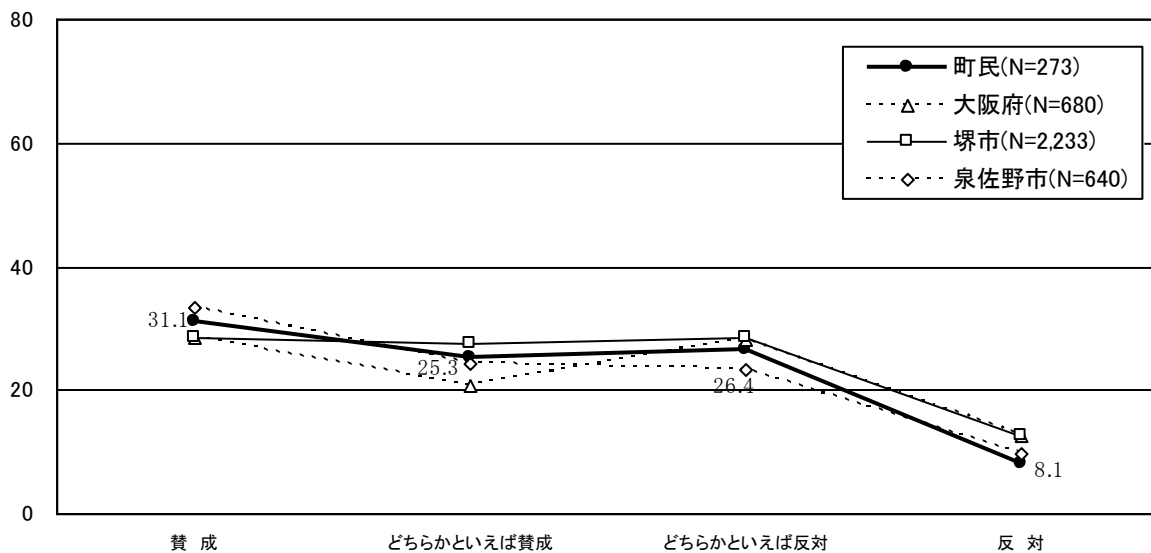
【家庭などの考え方についてどう思うか】



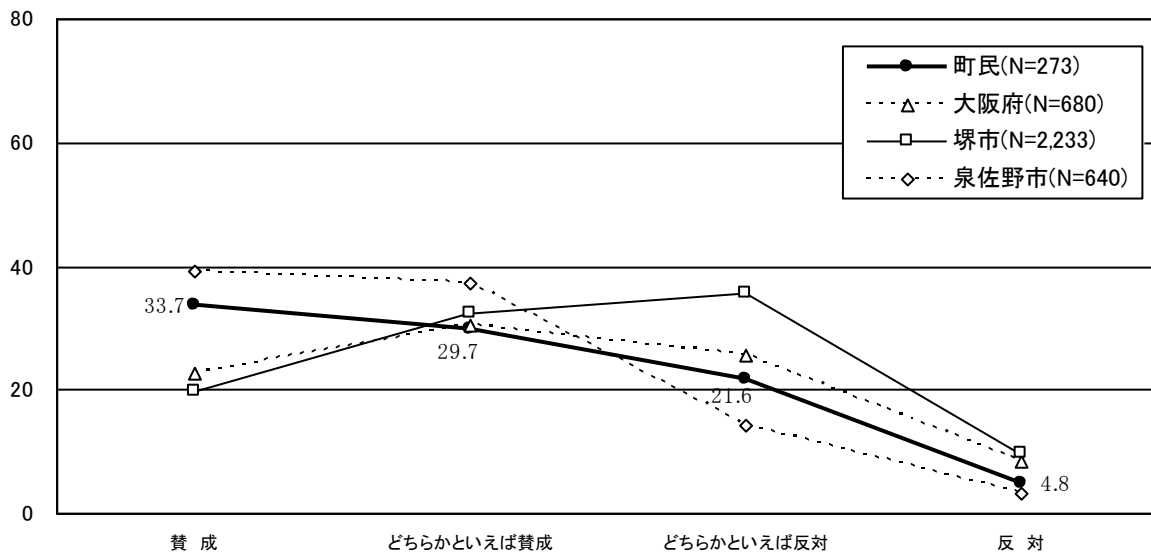
【家庭などの考え方】(1) 結婚は、してもしなくてもよい



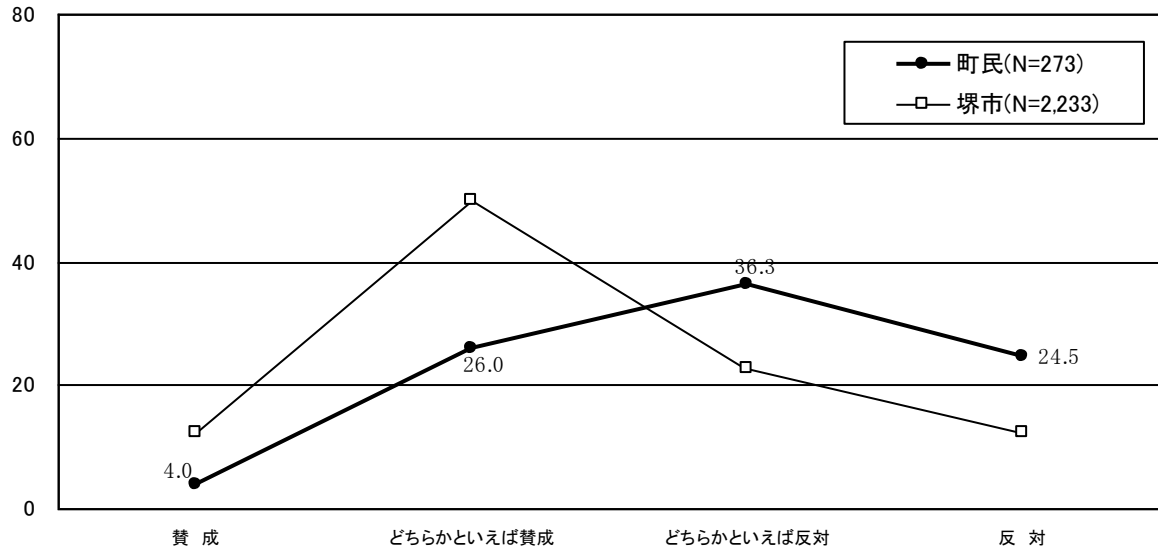
【家庭などの考え方】(2) 結婚しても子どもをもつ必要はない



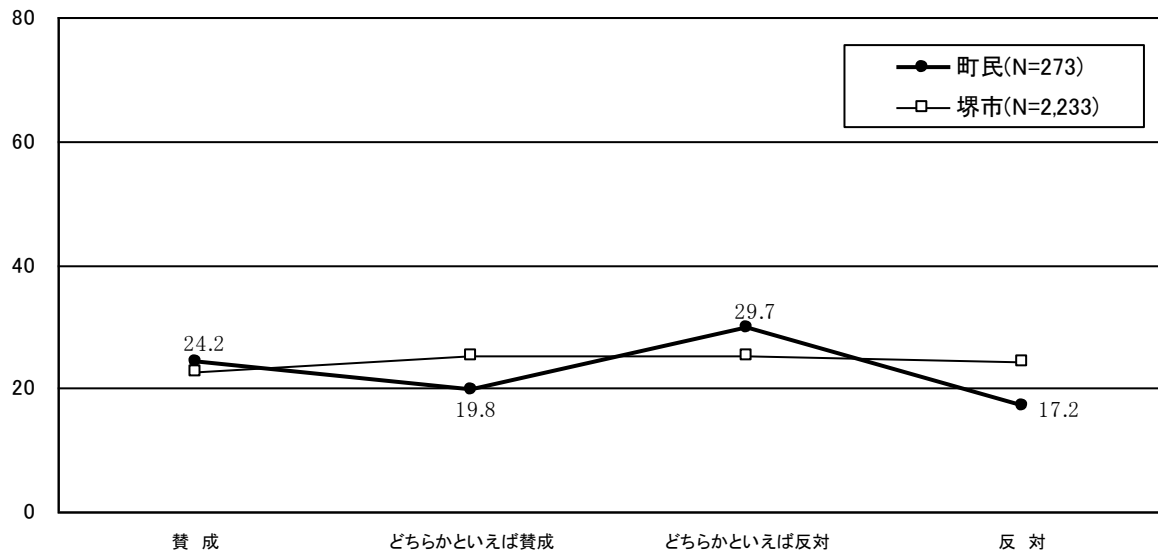
【家庭などの考え方】(3) 結婚生活がうまくいかないときは離婚してもよい



【家庭などの考え方】(4) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである



【家庭などの考え方】(6) 夫婦は別姓を名乗ってもよい



町民、性・年代別

単位：%

(1) 結婚は、してしなくてもどちらでもよい

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	56.3	41.5	13.6	56.5	54.1	19.4
どちらかといえば賛成	21.9	29.3	29.5	39.1	32.4	28.4
どちらかといえば反対	15.6	22.0	25.0	4.3	13.5	19.4
反対	6.3	7.3	15.9	0.0	0.0	7.5
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	25.4

(2) 結婚しても子どもをもつ必要はない

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	50.0	39.0	11.4	45.7	45.9	14.9
どちらかといえば賛成	21.9	19.5	13.6	47.8	29.7	19.4
どちらかといえば反対	25.0	29.3	40.9	6.5	24.3	32.8
反対	3.1	12.2	18.2	0.0	0.0	7.5
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	25.4

(3) 結婚生活がうまくいかないときは離婚してもよい

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	37.5	51.2	27.3	45.7	37.8	17.9
どちらかといえば賛成	25.0	31.7	15.9	41.3	43.2	23.9
どちらかといえば反対	25.0	14.6	29.5	10.9	16.2	28.4
反対	9.4	2.4	11.4	2.2	0.0	4.5
無回答	3.1	0.0	15.9	0.0	2.7	25.4

(4) 夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	0.0	2.4	9.1	2.2	0.0	4.5
どちらかといえば賛成	25.0	34.1	34.1	13.0	27.0	25.4
どちらかといえば反対	43.8	29.3	29.5	54.3	35.1	29.9
反対	31.3	34.1	11.4	30.4	37.8	14.9
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	25.4

(5) 子どもの数や産む時期は女性を尊重して決めるべきである

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	50.0	48.8	29.5	37.0	35.1	28.4
どちらかといえば賛成	46.9	29.3	45.5	50.0	56.8	28.4
どちらかといえば反対	3.1	14.6	9.1	10.9	5.4	16.4
反対	0.0	7.3	0.0	2.2	2.7	1.5
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	25.4

**(6) 夫婦は別姓を名乗ってもよい**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛 成	34.4	39.0	13.6	39.1	18.9	11.9
どちらかといえば賛成	15.6	14.6	20.5	26.1	45.9	6.0
どちらかといえば反対	25.0	29.3	29.5	30.4	24.3	35.8
反 対	25.0	17.1	20.5	4.3	10.8	20.9
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	25.4

**(7) 地域リーダーに女性が増えたほうがよい**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛 成	31.3	31.7	22.7	32.6	32.4	19.4
どちらかといえば賛成	56.3	48.8	34.1	56.5	54.1	41.8
どちらかといえば反対	12.5	17.1	20.5	10.9	10.8	10.4
反 対	0.0	2.4	6.8	0.0	2.7	3.0
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	25.4

**問4 家庭における役割について、どのように担うのが望ましいとお考えですか。配偶者・パートナーがいない方も、仮にいと想定してお答えください。**  
**〔(1)～(7)それぞれに、○は1つ〕**

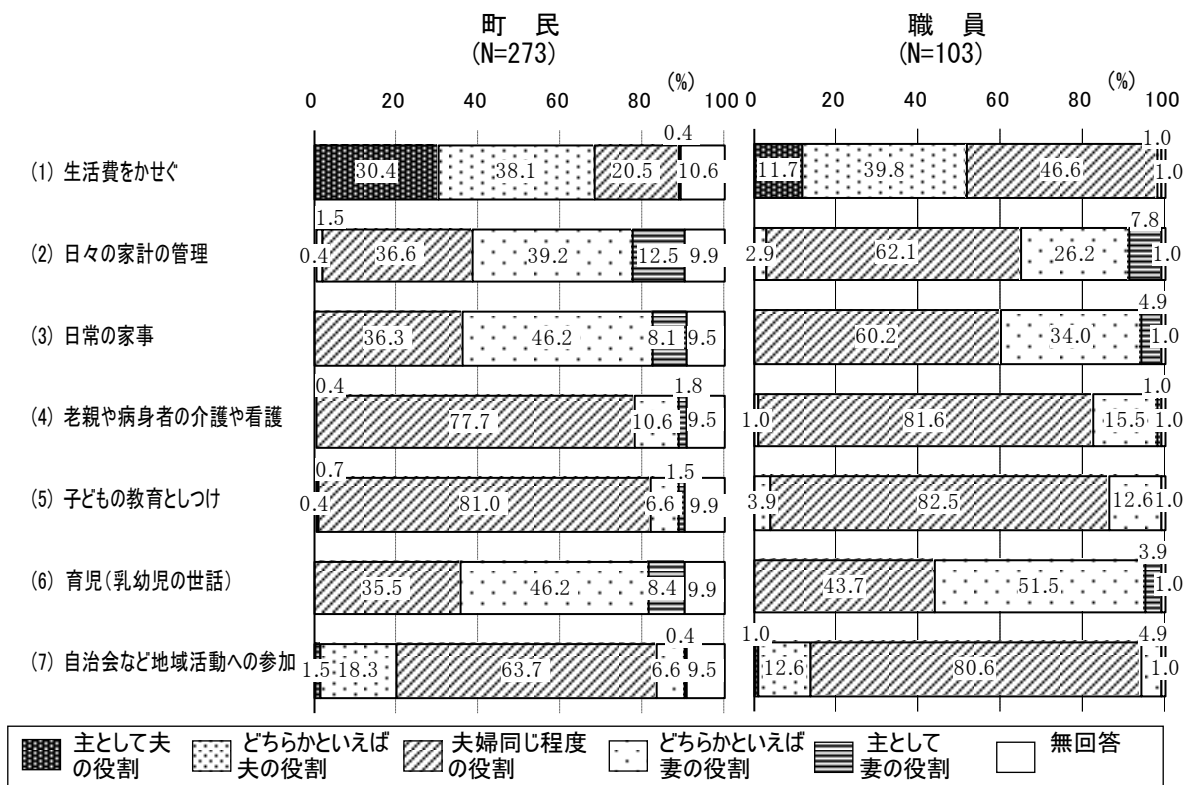
「夫婦同じ程度の役割」の割合が高いのは、(5)子どもの教育としつけ(81.0%)、(4)老親や病身者の介護や看護(77.7%)、(7)自治会など地域活動への参加(63.7%)、などである。「主として夫の役割」とする割合が最も高いのは、(1)生活費をかせぐ(30.4%)である。「主として妻の役割」とする割合が最も高いのは、(2)日々の家計の管理(12.5%)、であるが、これよりも「夫婦同じ程度の役割」の36.6%が上回っている。

職員では、全体的に「夫婦同じ程度の役割」とする割合が町民を上回っている。

大阪府・堺市との比較では、7項目中6項目で「夫婦同じ程度の役割」とする割合が府・堺市を上回っており、田尻町町民においては全体的に夫婦の平等意識が強い。

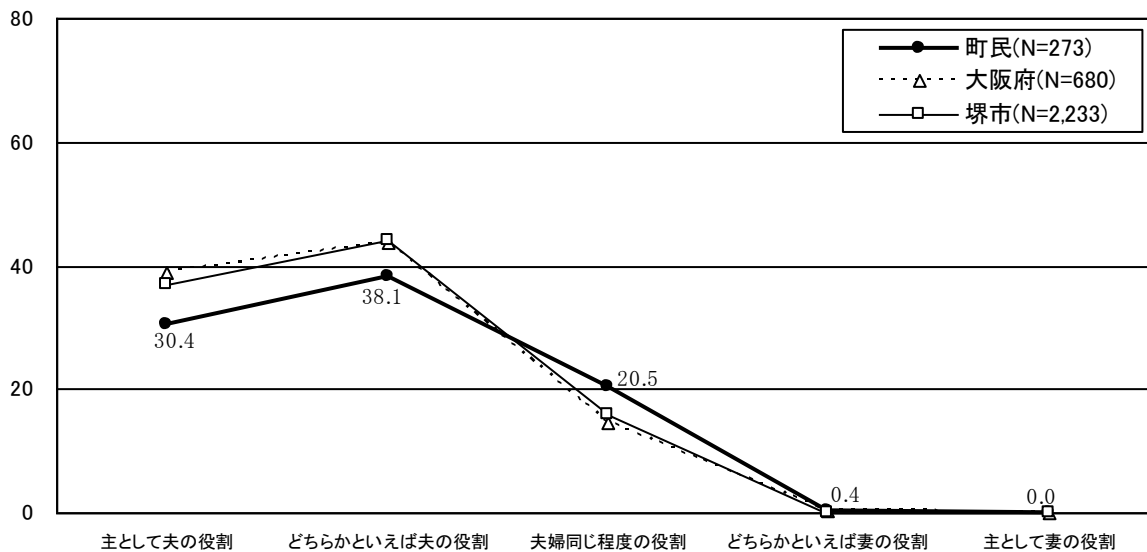
性・年代別にみると、男女とも60歳以上の層では多くの項目で「夫婦同じ程度の役割」とする割合が全体を10ポイント以上下回り、家庭内での役割について、夫婦のどちらかに固定化して考える傾向がある。逆にこれより若い層では全体的に平等意識が強い。たとえば(2)日々の家計の管理、では、男性の20・30歳代、40・50歳代ともに「夫婦同じ程度の役割」とする割合が、女性の同じ年代の割合を大きく上回っている。

**【役割をどのように担うのが望ましいか】**

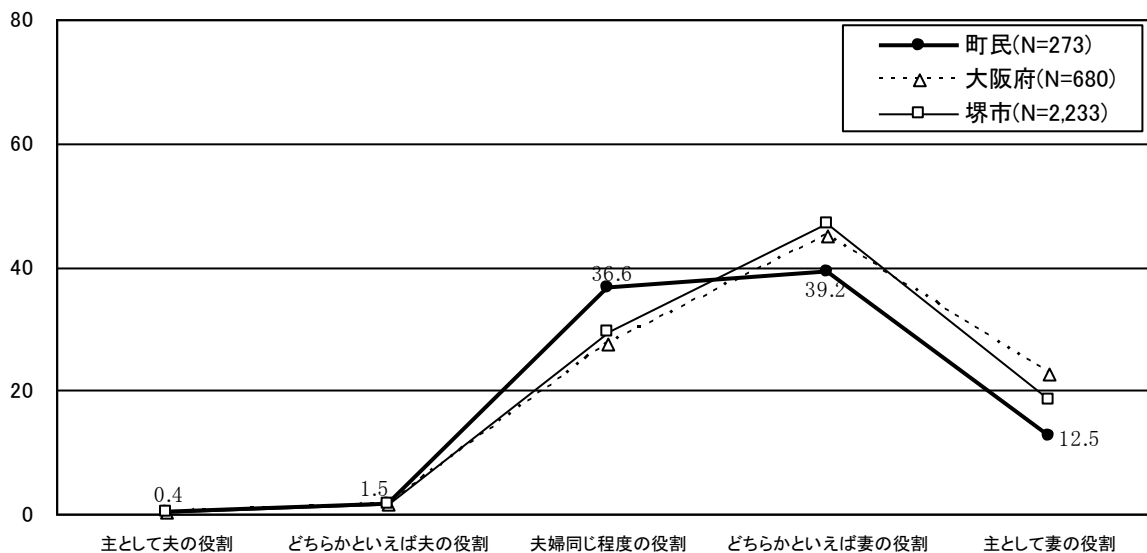




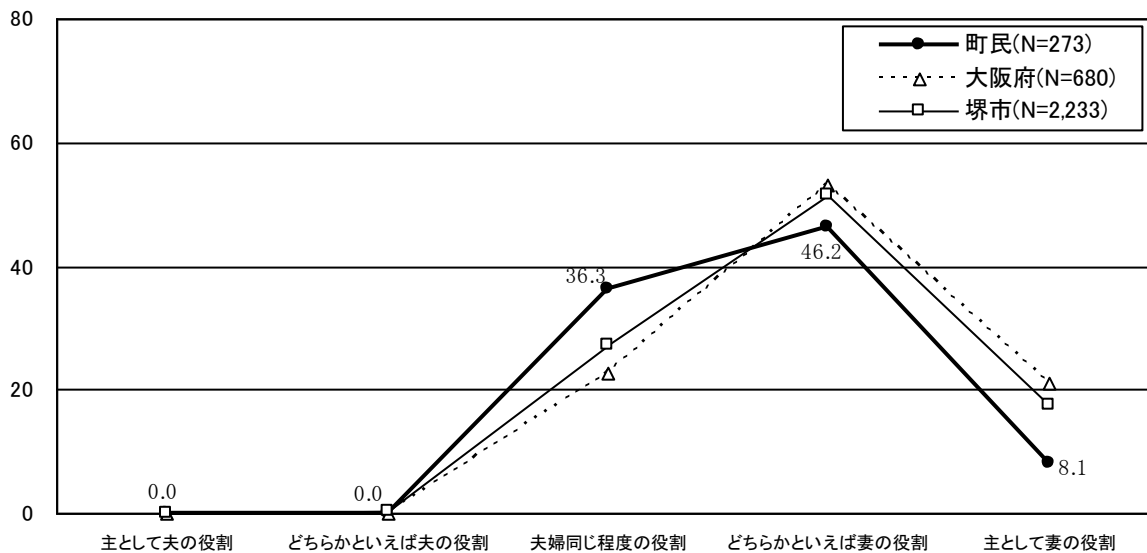
【役割をどのように担うのが望ましいか】(1) 生活費をかせぐ



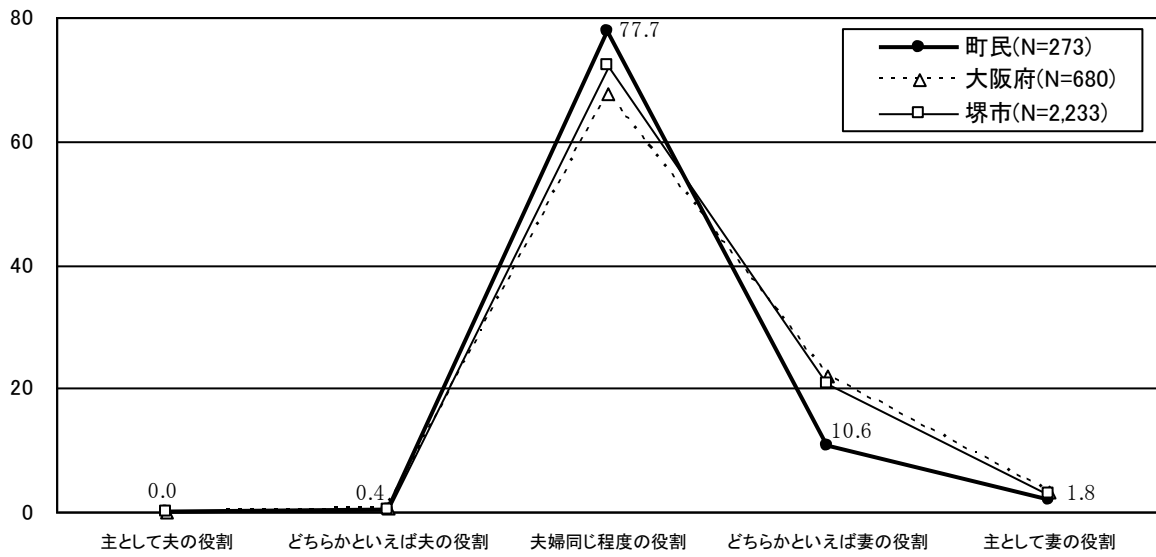
【役割をどのように担うのが望ましいか】(2) 日々の家計の管理



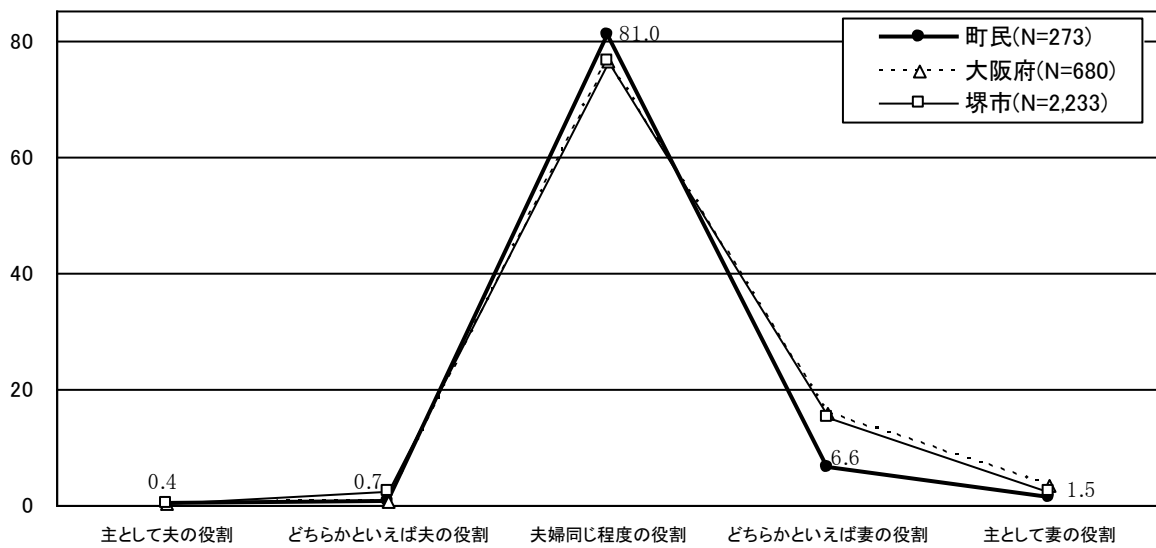
【役割をどのように担うのが望ましいか】(3) 日常の家事



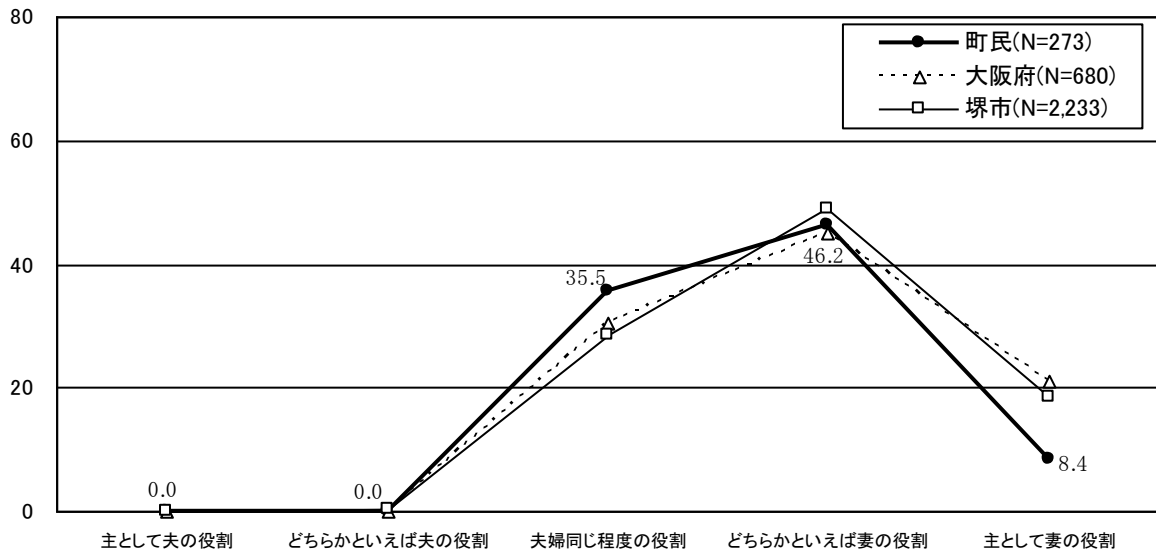
【役割をどのように担うのが望ましいか】(4) 老親や病身者の介護や看護



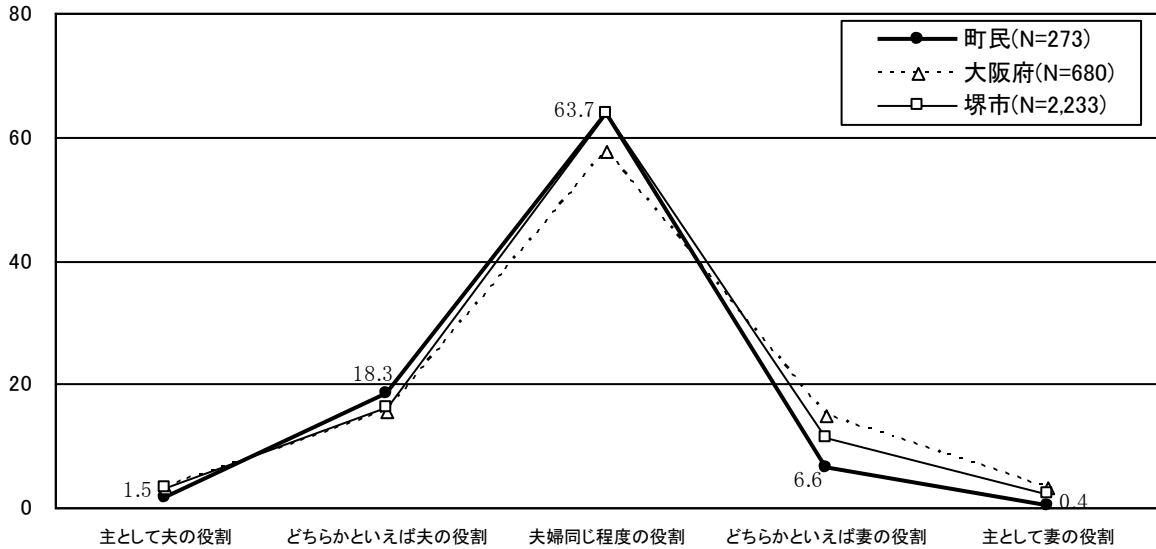
【役割をどのように担うのが望ましいか】(5) 子どもの教育としつけ



【役割をどのように担うのが望ましいか】(6) 育児（乳幼児の世話）



【役割をどのように担うのが望ましいか】(7)自治会など地域活動への参加



町民、性・年代別

単位:%

(1) 生活費をかせぐ

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
主として夫の役割	34.4	29.3	43.2	17.4	32.4	28.4
どちらかといえば夫の役割	40.6	43.9	29.5	50.0	43.2	29.9
夫婦同じ程度の役割	25.0	26.8	6.8	32.6	24.3	13.4
どちらかといえば妻の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
主として妻の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	20.5	0.0	0.0	26.9

(2) 日々の家計の管理

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
主として夫の役割	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
どちらかといえば夫の役割	0.0	0.0	2.3	0.0	5.4	1.5
夫婦同じ程度の役割	62.5	48.8	20.5	41.3	35.1	25.4
どちらかといえば妻の役割	31.3	34.1	43.2	45.7	48.6	35.8
主として妻の役割	6.3	14.6	15.9	13.0	10.8	10.4
無回答	0.0	2.4	15.9	0.0	0.0	26.9

(3) 日常の家事

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
主として夫の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どちらかといえば夫の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦同じ程度の役割	59.4	43.9	18.2	54.3	40.5	17.9
どちらかといえば妻の役割	37.5	46.3	50.0	43.5	48.6	50.7
主として妻の役割	3.1	9.8	15.9	2.2	10.8	4.5
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	26.9

#### (4) 老親や病身者の介護や看護

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
主として夫の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どちらかといえば夫の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦同じ程度の役割	90.6	90.2	65.9	91.3	83.8	62.7
どちらかといえば妻の役割	9.4	9.8	13.6	8.7	13.5	7.5
主として妻の役割	0.0	0.0	4.5	0.0	2.7	3.0
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	26.9

#### (5) 子どもの教育としつけ

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
主として夫の役割	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
どちらかといえば夫の役割	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦同じ程度の役割	87.5	82.9	72.7	95.7	94.6	65.7
どちらかといえば妻の役割	12.5	12.2	4.5	4.3	5.4	4.5
主として妻の役割	0.0	0.0	4.5	0.0	0.0	3.0
無回答	0.0	2.4	15.9	0.0	0.0	26.9

#### (6) 育児(乳幼児の世話)

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
主として夫の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どちらかといえば夫の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
夫婦同じ程度の役割	50.0	34.1	20.5	41.3	48.6	26.9
どちらかといえば妻の役割	37.5	53.7	50.0	56.5	45.9	37.3
主として妻の役割	12.5	12.2	13.6	2.2	5.4	7.5
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	28.4

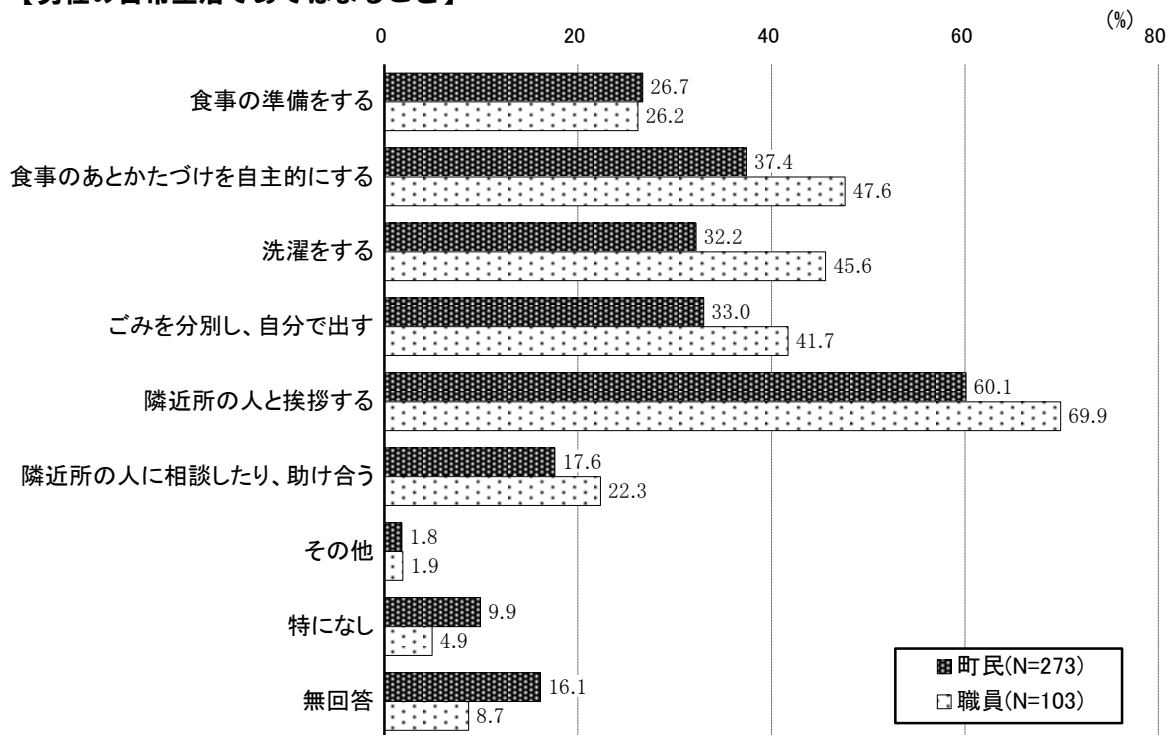
#### (7) 自治会など地域活動への参加

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
主として夫の役割	0.0	0.0	6.8	0.0	0.0	1.5
どちらかといえば夫の役割	12.5	17.1	25.0	15.2	10.8	22.4
夫婦同じ程度の役割	78.1	68.3	45.5	84.8	75.7	46.3
どちらかといえば妻の役割	9.4	14.6	6.8	0.0	10.8	3.0
主として妻の役割	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
無回答	0.0	0.0	15.9	0.0	0.0	26.9

**問5 男性の日常生活について、あなた(あなたの配偶者・パートナー)にあてはまることはありますか。[あてはまるすべてに○]**

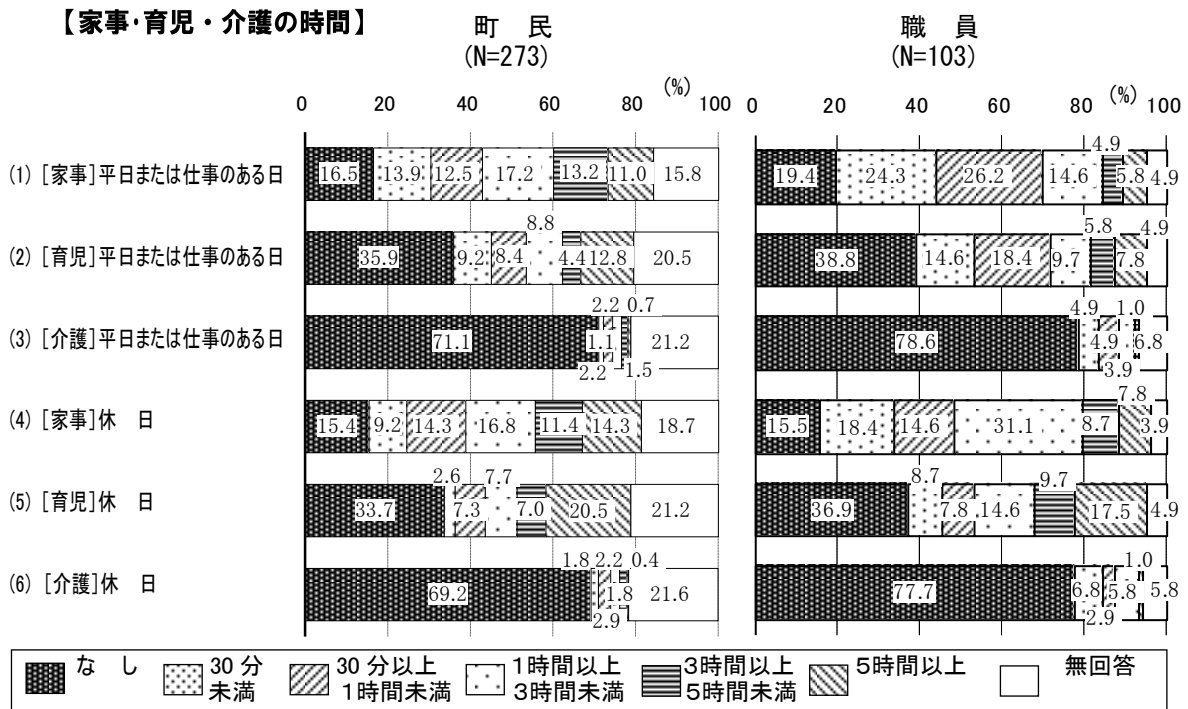
「隣近所の人と挨拶をする」が60.1%で最も高い。これに、40%未満で「食事のあとかたづけを自主的にする」「ごみを分別し、自分で出す」「洗濯をする」などが続く。  
職員では多くの項目で、町民よりも割合が高い。

**【男性の日常生活であてはまること】**

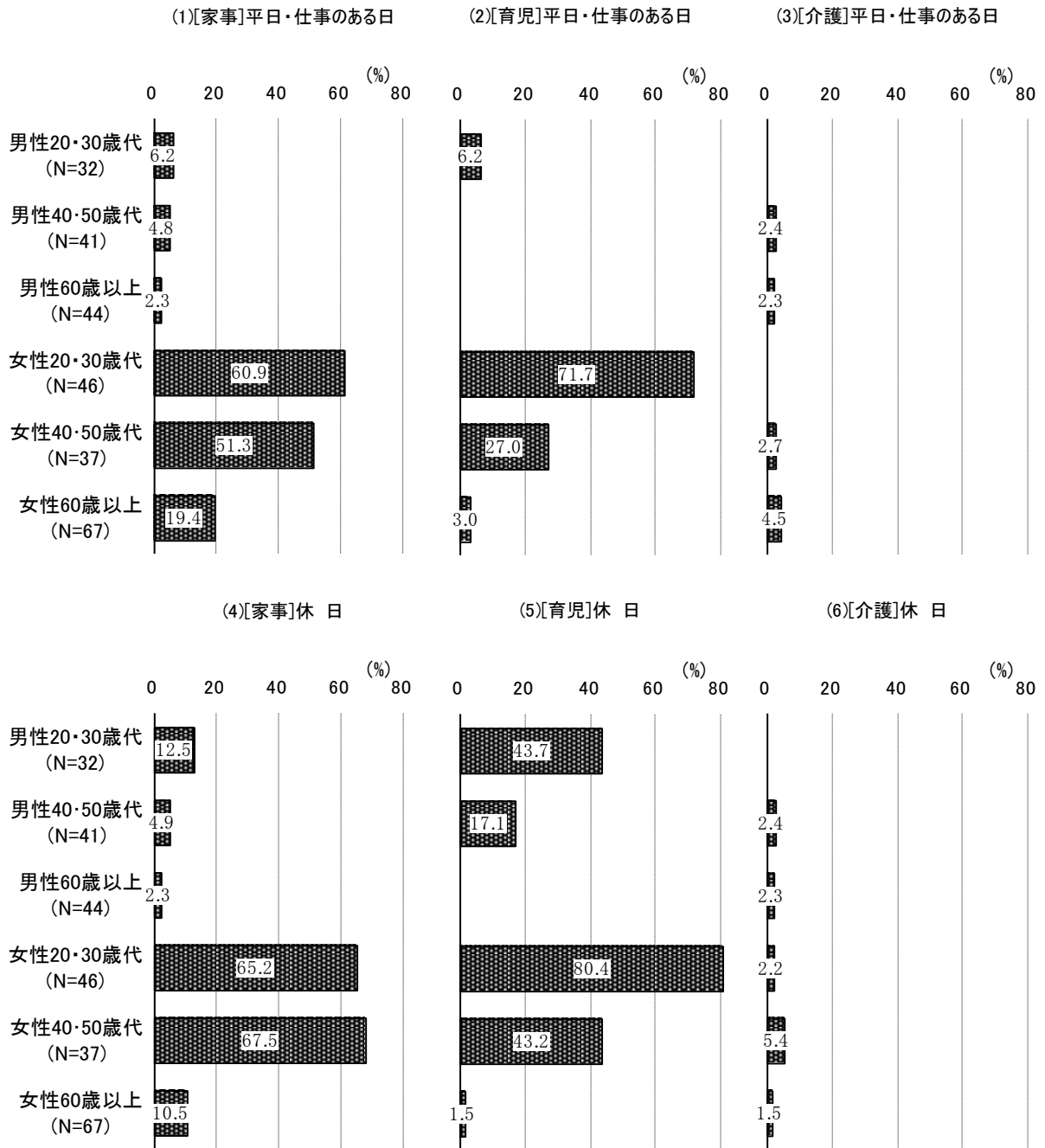


**問6** あなたが家事・育児・介護に携わる時間はどれくらいですか。  
 [(1)～(6) それぞれに、○は1つ]

性・年代別に、1日3時間以上携わっている割合をみると、多くの項目で女性 20・30 歳代と女性 40・50 歳代が高い。男性で比較的高いのは、20・30 歳代における休日の育児である。



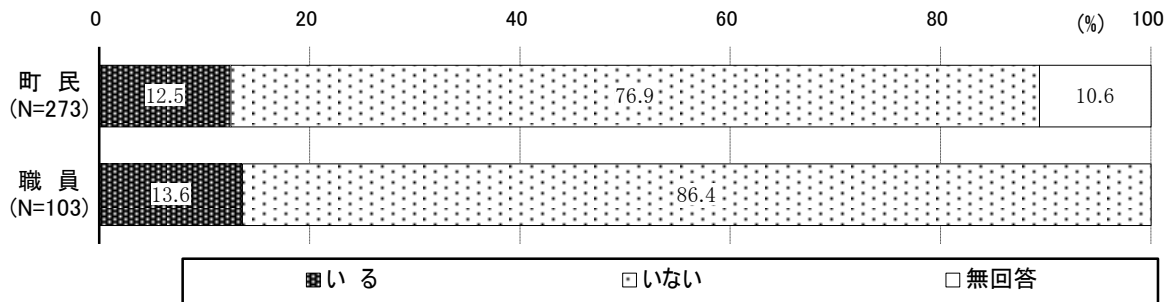
### 3時間以上携わっている割合（町民、性・年代別）



**問7** あなたの身内に、日常的に介護を必要とする方がいらっしゃいますか。  
 [〇は1つ]

「いる」とする町民は12.5%、職員は13.6%である。

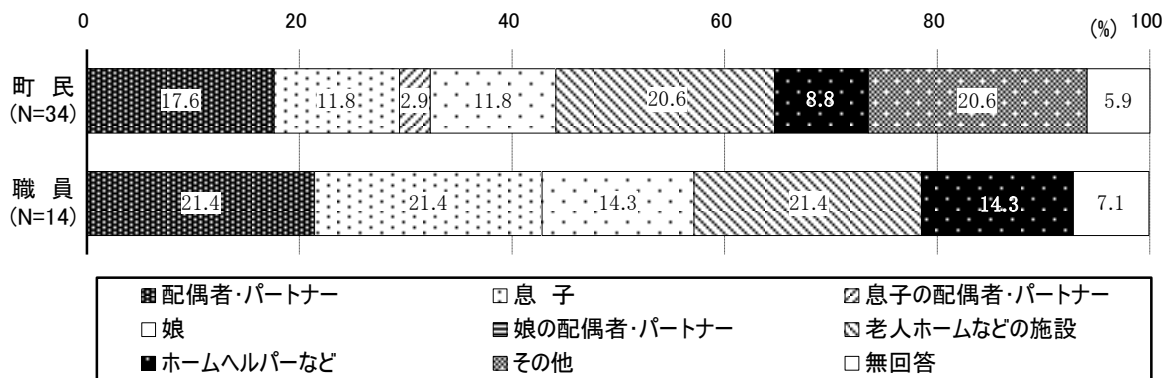
**【介護の必要な身内がいるか】**



**問7-1** 問7で、1に〇をされた方へ  
 その方の介護は主にどなたがしていますか。介護を必要とする方から見た続柄をお答えください。[〇は1つ]

介護をしているのは、町民、職員ともに、配偶者・パートナー、老人ホームなどの施設、息子などに分散している。

**【介護者の続柄】**



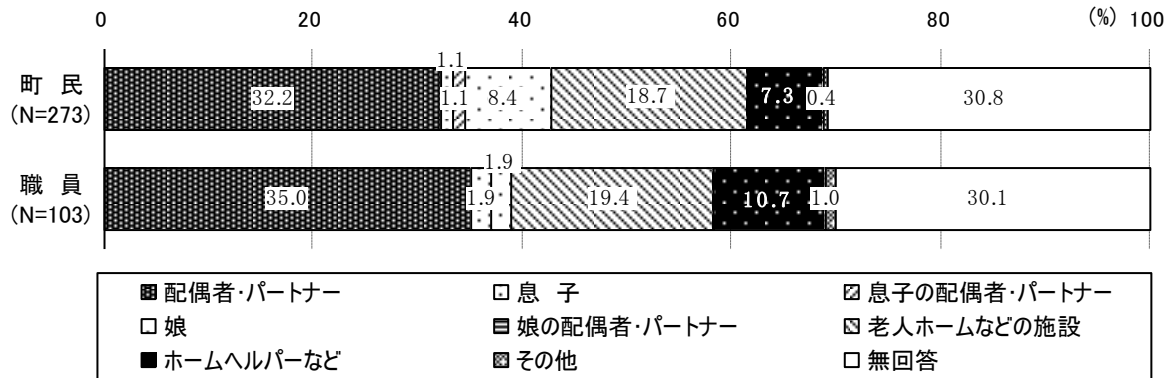


**問8** あなたは介護が必要になった時、誰に介護してほしいと思いますか。[○は1つ]

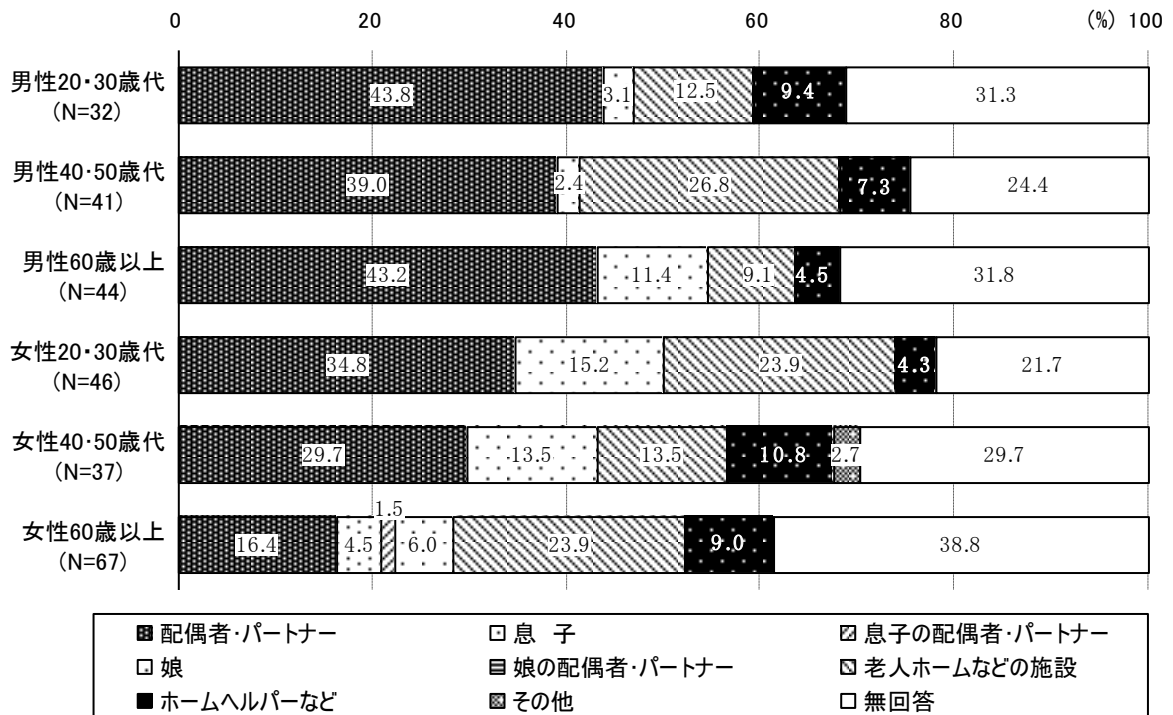
自分の介護をしてほしいのは「配偶者・パートナー」(32.2%)、「老人ホームなどの施設」(18.7%)が多い。職員も同じ傾向である。

性・年代別には、男性では年代に関わらず「配偶者・パートナー」の割合が高い。女性ではこの割合が低く、また年代が上がるほどに低くなるとともに「娘」とする割合が高い。

**【望む介護者】**



**【望む介護者】**



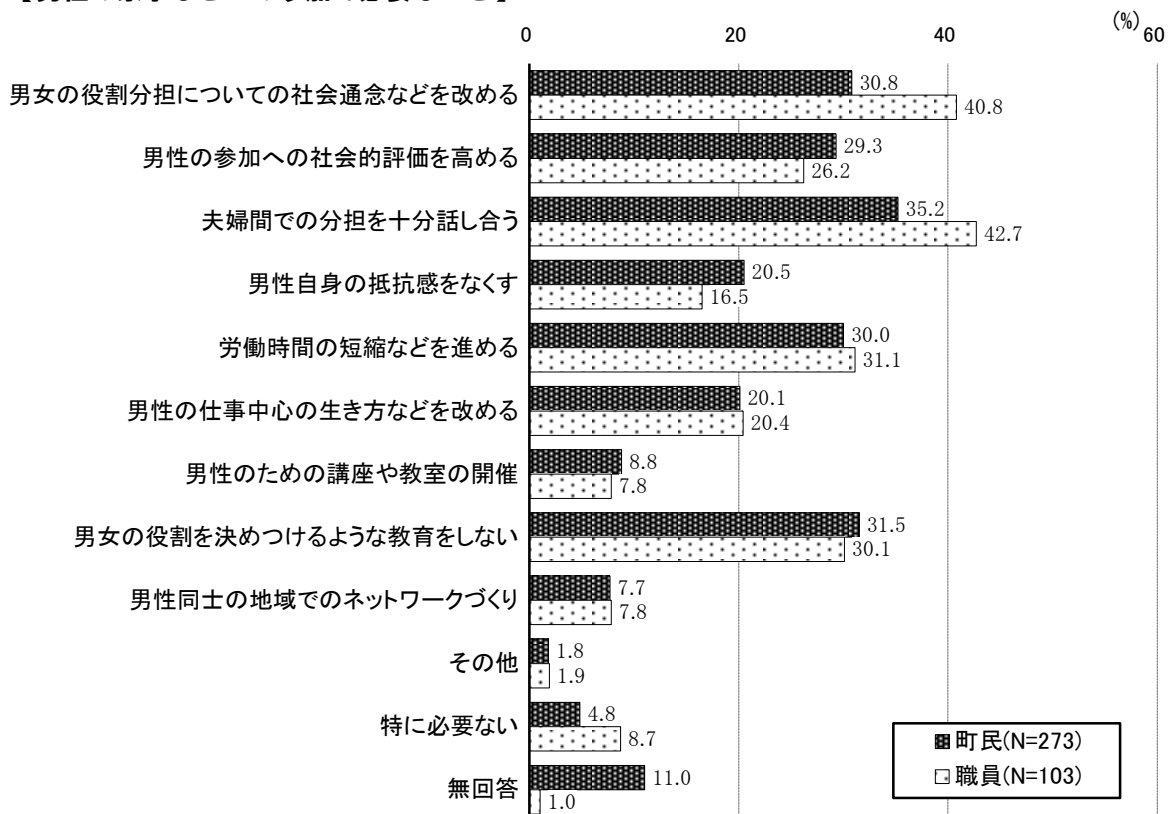
**問9** 今後、男性が家事、子育て、介護、地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。〔〇は3つまで〕

「夫婦の間で家事などの分担をするように十分話し合う」(35.2%)、「小さいときから男女の役割を決めつけるような教育をしない」(31.5%)、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改める」(30.8%)などが高い。

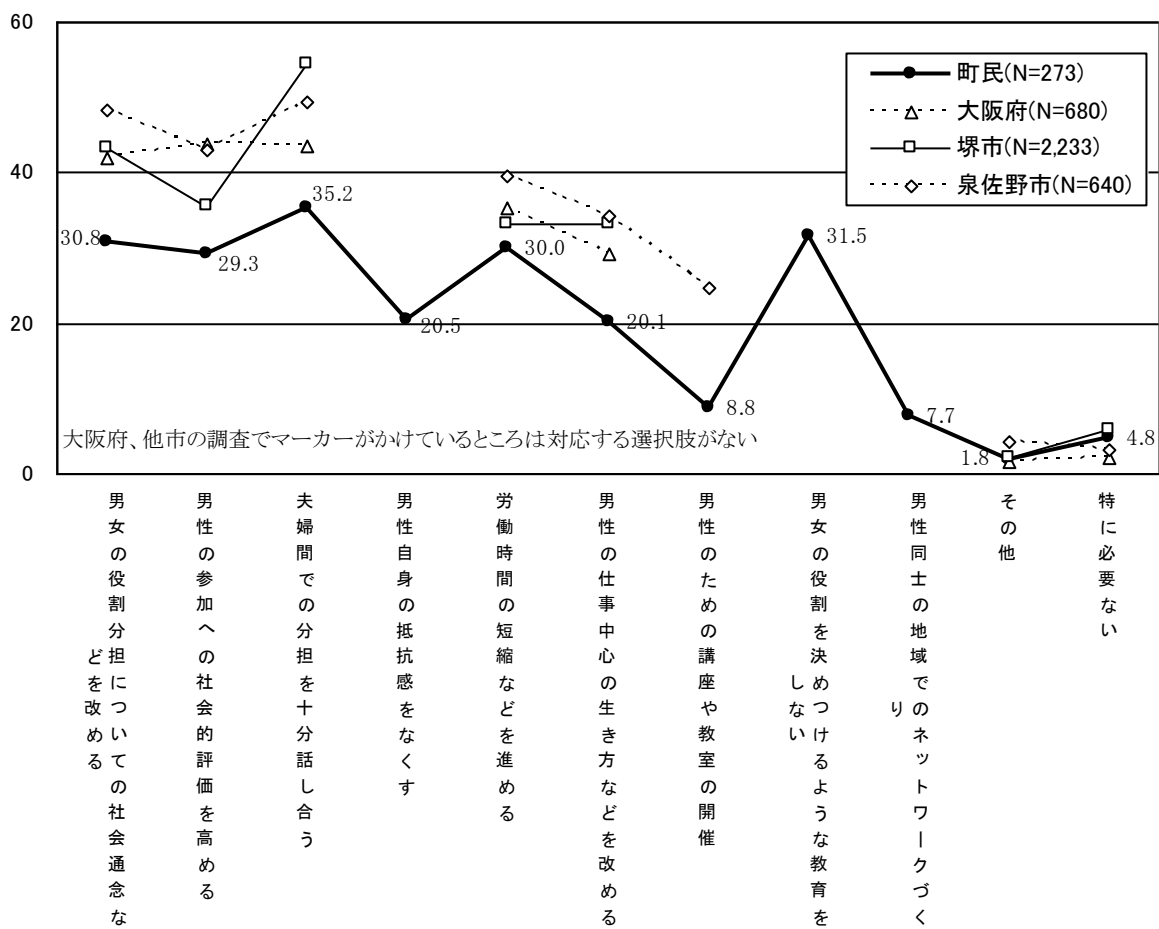
職員では、上位2項目は町民と同じだが、第3位は「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」となっている。

性・年代別には、上位3項目については特に女性20・30歳代の支持が高い。「労働時間の短縮などを進め、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」は町民全体では30.0%で第4位であったが、男性20・30歳代と男性40・50歳代では50%を超えている。また女性20・30歳代でも高い。

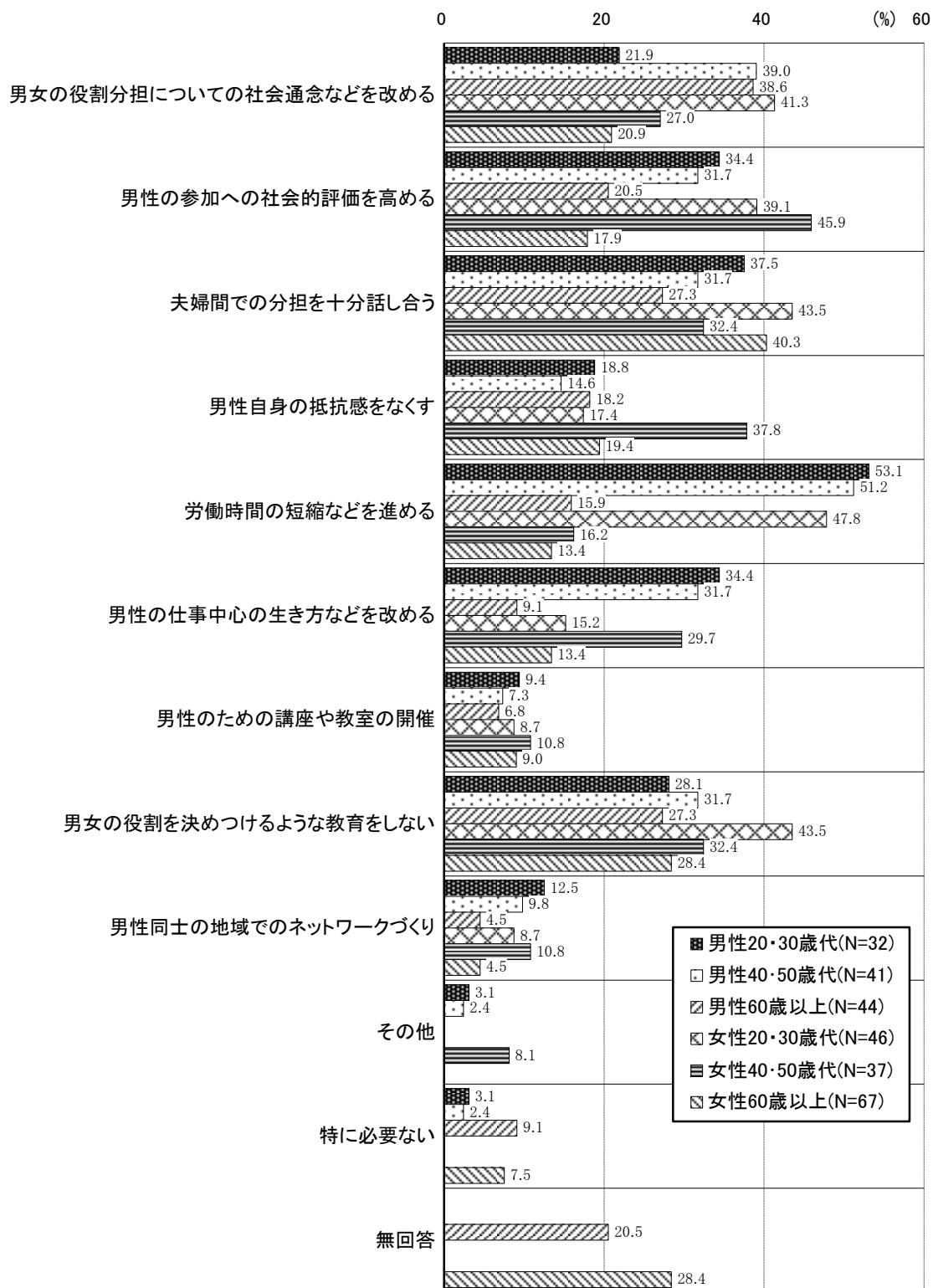
**【男性の家事などへの参加に必要なこと】**



【男性の家事などへの参加で必要なこと】



【男性の家事などへの参加で必要なこと】



## 教育について

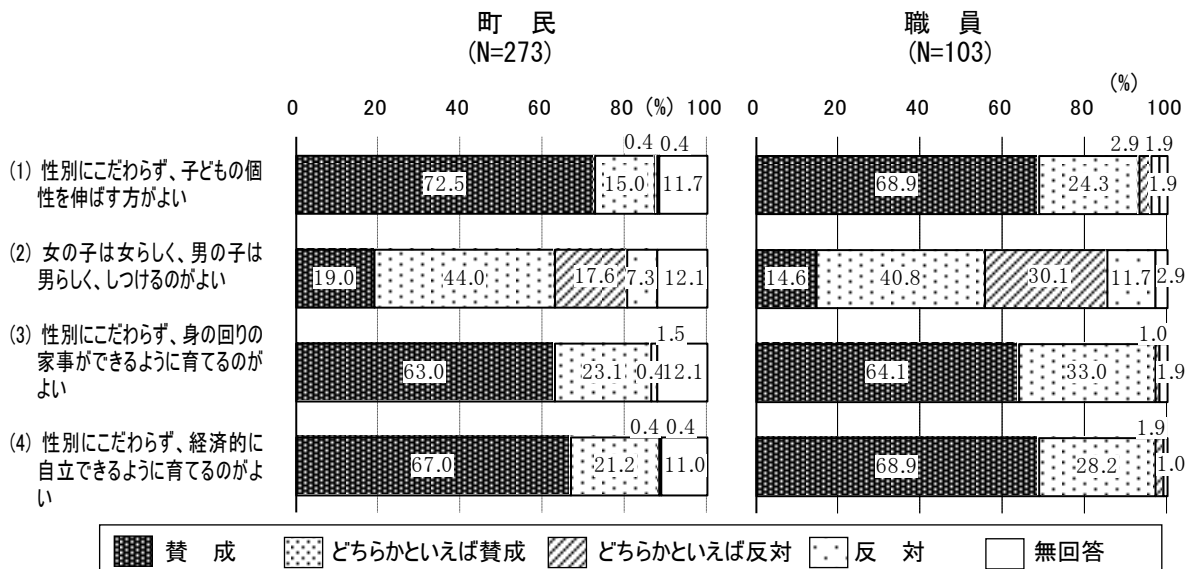
**問 10** 家庭における子どもの教育方針について、どうお考えですか。子どもがいない方も、仮にいと想定してお答えください。〔(1)～(4) それぞれに、○は1つ〕

「賛成」の割合を多いものからみると、(1)性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい(72.5%)、(4)性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい(67.0%)、(3)性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい(63.0%)、(2)女の子は女らしく、男の子は男らしく、しつけるのがよい(19.0%)である。「反対」とする割合はどの項目も低い。

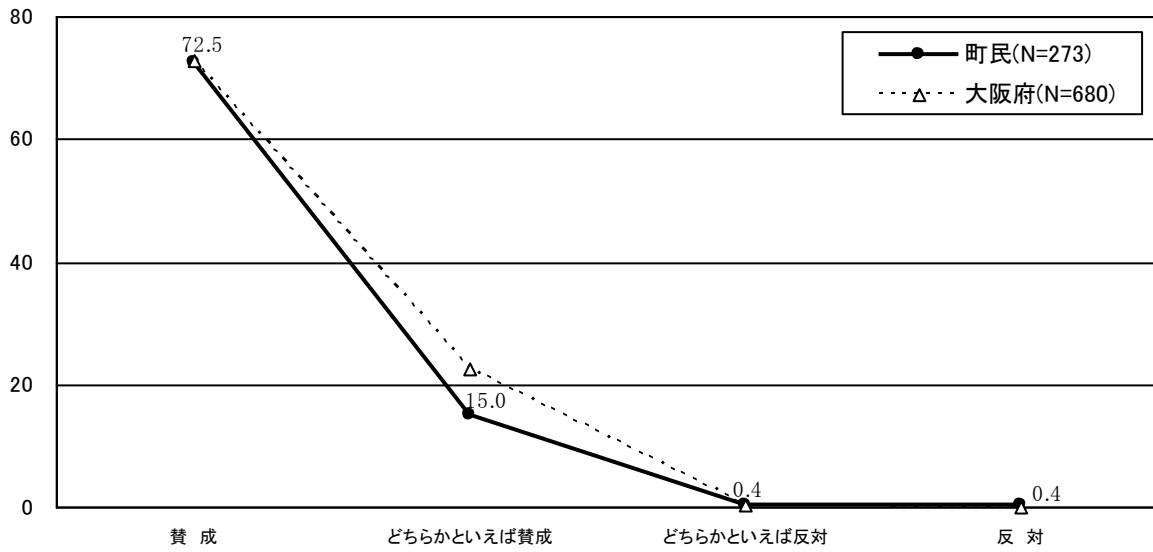
職員もおおむね同様の傾向である。

性・年代別には、男女とも20～50歳代で「賛成」「どちらかといえば賛成」について全体を10ポイント以上上回る項目が多い。ただし、(2)女の子は女らしく、男の子は男らしく、しつけるのがよい、については女性20～50歳で「どちらかといえば反対」の割合が全体を10ポイント以上上回る。このうち女性40・50歳代では「どちらかといえば賛成」の割合も高い。

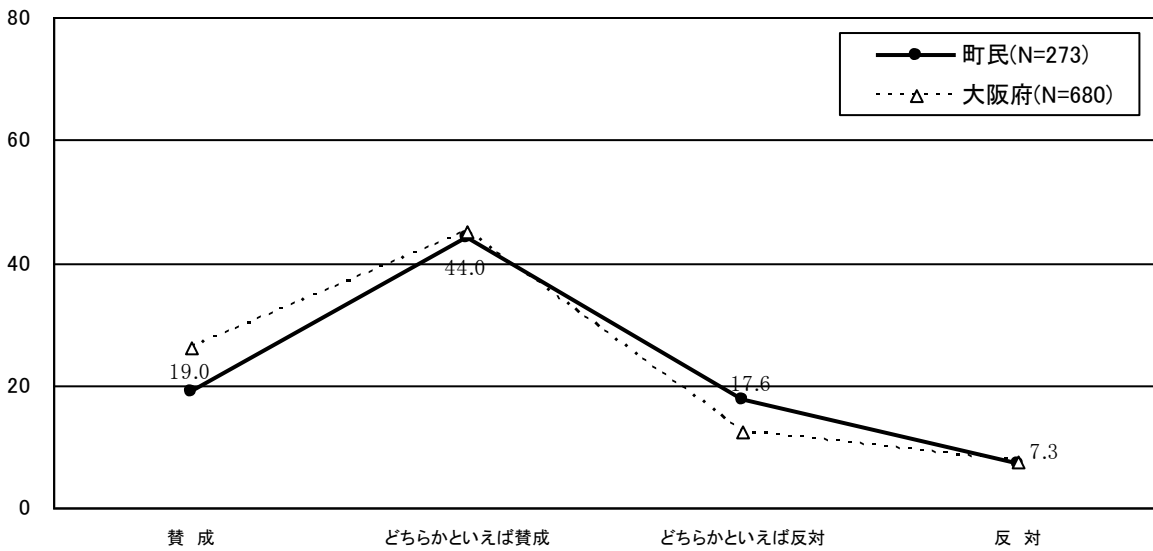
### 【子どもの教育方針】



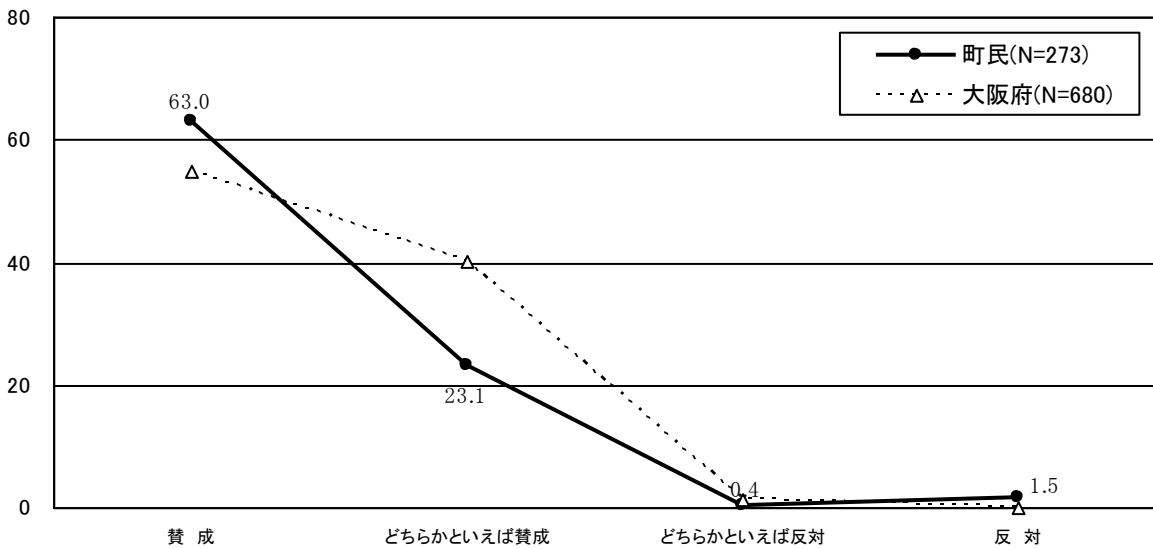
【子どもの教育方針】(1) 性別にこだわらず個性を伸ばす



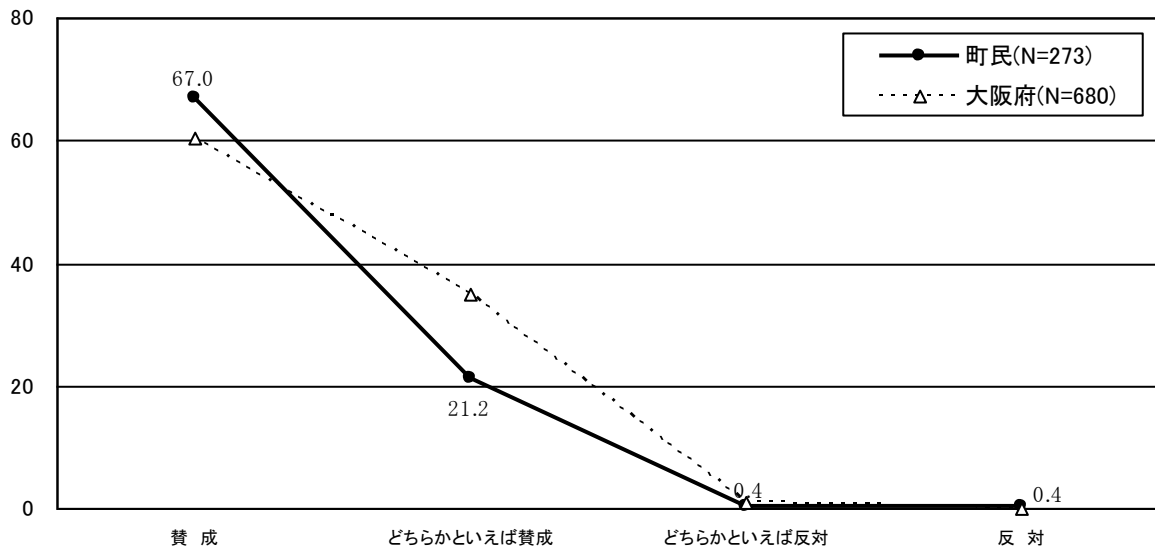
【子どもの教育方針】(2) 女らしく、男らしく、しつける



【子どもの教育方針】(3) 性別こだわらず家事ができるよう育てる



【子どもの教育方針】(4) 性別にこだわらず経済的に自立できるように育てる



町民、性・年代別

単位：%

(1) 性別にこだわらず、子どもの個性を伸ばす方がよい

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	81.3	80.5	61.4	73.9	83.8	64.2
どちらかといえば賛成	15.6	17.1	11.4	26.1	16.2	7.5
どちらかといえば反対	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
反対	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	28.4

(2) 女の子は女らしく、男の子は男らしく、しつけるのがよい

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	25.0	14.6	27.3	10.9	8.1	20.9
どちらかといえば賛成	50.0	61.0	36.4	43.5	56.8	32.8
どちらかといえば反対	15.6	14.6	4.5	32.6	29.7	11.9
反対	9.4	9.8	6.8	10.9	5.4	4.5
無回答	0.0	0.0	25.0	2.2	0.0	29.9

(3) 性別にこだわらず、身の回りの家事ができるように育てるのがよい

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	81.3	68.3	45.5	80.4	81.1	44.8
どちらかといえば賛成	15.6	29.3	27.3	19.6	18.9	23.9
どちらかといえば反対	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
反対	3.1	0.0	2.3	0.0	0.0	1.5
無回答	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	29.9

(4) 性別にこだわらず、経済的に自立できるように育てるのがよい

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
賛成	84.4	75.6	52.3	82.6	86.5	44.8
どちらかといえば賛成	15.6	24.4	22.7	17.4	13.5	25.4
どちらかといえば反対	0.0	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0
反対	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1.5
無回答	0.0	0.0	22.7	0.0	0.0	28.4



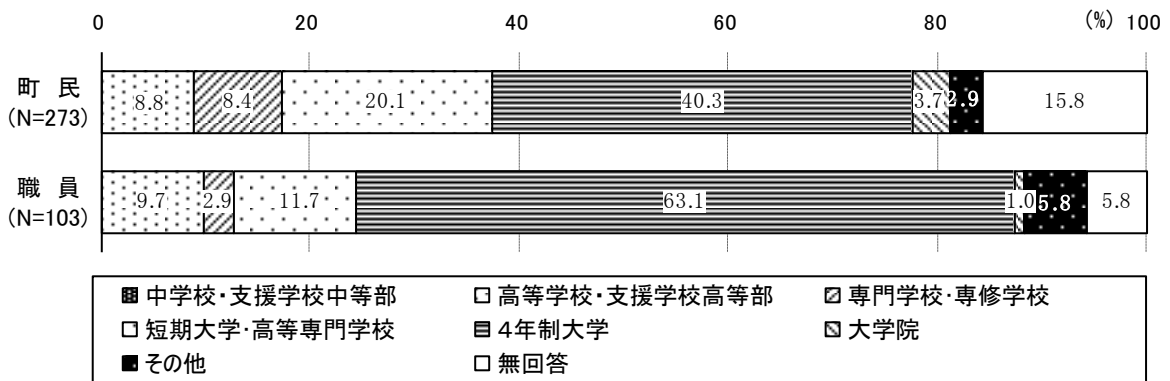
**問 11** あなたの子どもには、どの程度の教育を受けさせたいと思われませんか。または受けさせましたか。お子さんがいない方も、仮にしていると想定してお答えください。  
 ( (1) 女の子には (2) 男の子には、それぞれ下の 1~7 から番号を選び口に記入してください。 )

「4年制大学」への進学は、女の子の場合 40.3%、男の子の場合 57.1%と、17ポイントの差がある。

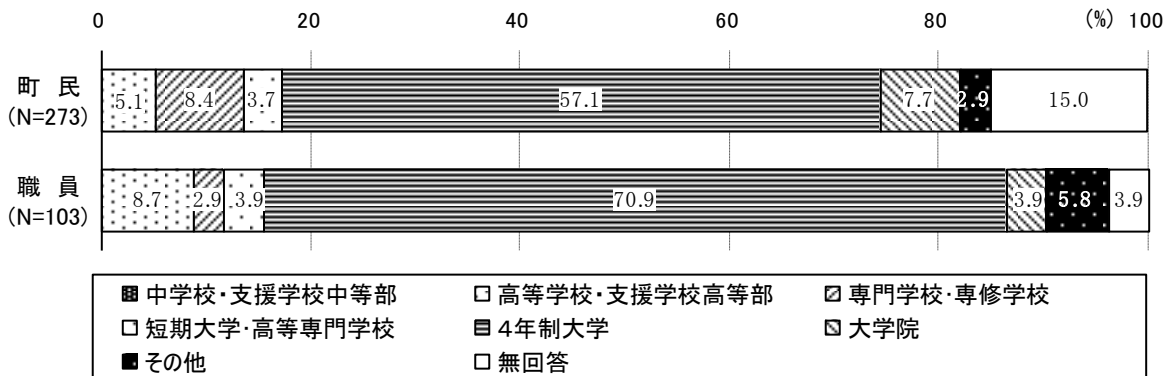
職員では「4年制大学」は、両者とも町民よりも高い。また女の子と男の子の差も8ポイントと縮小している。

性・年代別にみると、男女とも 40・50 歳代では女の子について「4年制大学」とする割合が高い。逆に男女とも 60 歳以上では低い。男の子については、男性 20・30 歳代で「4年制大学」への支持が強い。

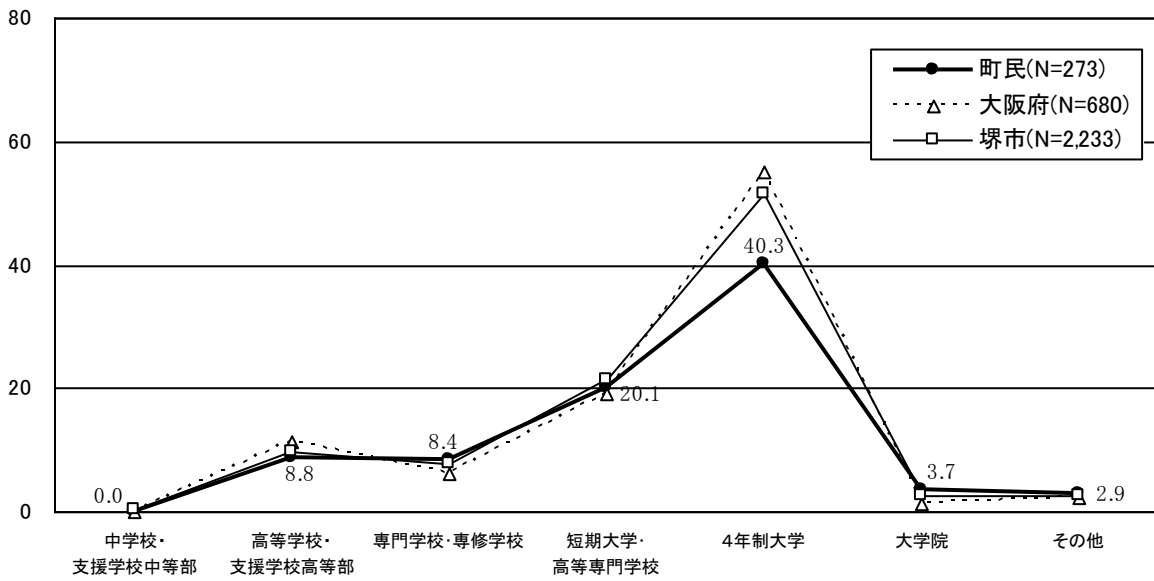
**【女の子への教育】**



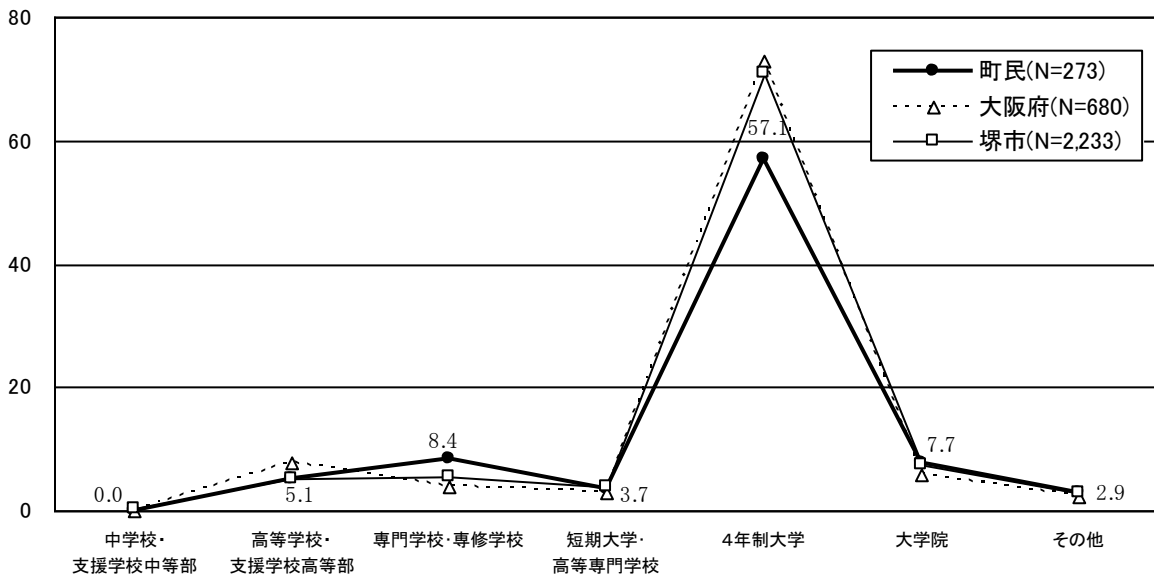
**【男の子への教育】**



【女の子への教育】



【男の子への教育】



町民、性・年代別

単位：%

(1) 女の子への教育

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
中学校・支援学校中等部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高等学校・支援学校高等部	6.3	7.3	11.4	17.4	8.1	3.0
専門学校・専修学校	0.0	12.2	9.1	10.9	5.4	10.4
短期大学・高等専門学校	18.8	9.8	34.1	8.7	16.2	28.4
4年制大学	50.0	56.1	22.7	50.0	64.9	19.4
大学院	9.4	4.9	2.3	4.3	0.0	0.0
その他	6.3	0.0	0.0	4.3	5.4	3.0
無回答	9.4	9.8	20.5	4.3	0.0	35.8

(2) 男の子への教育

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
中学校・支援学校中等部	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
高等学校・支援学校高等部	6.3	7.3	4.5	8.7	8.1	0.0
専門学校・専修学校	0.0	14.6	9.1	10.9	10.8	6.0
短期大学・高等専門学校	0.0	4.9	11.4	2.2	2.7	1.5
4年制大学	71.9	65.9	50.0	63.0	64.9	41.8
大学院	12.5	4.9	2.3	6.5	5.4	10.4
その他	6.3	0.0	0.0	4.3	5.4	3.0
無回答	3.1	2.4	22.7	4.3	2.7	37.3

**問 12** 男女平等を推進していくために、学校で行うとよいと思うものはどれですか。  
 [あてはまるすべてに○]

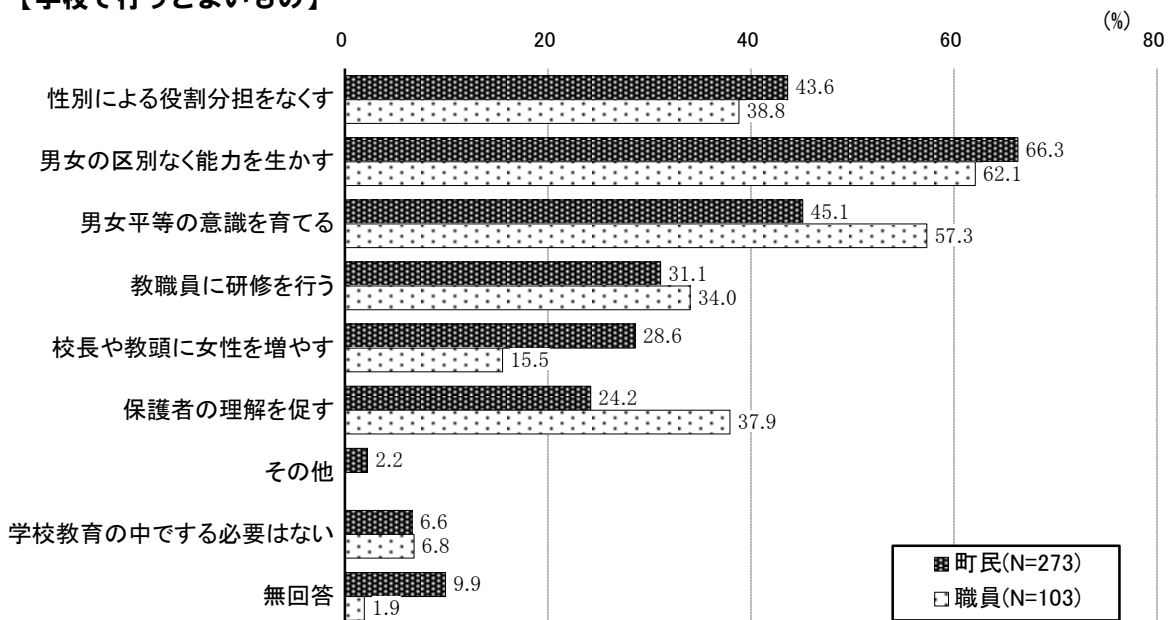
上位3項目は、「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」(66.3%)、「男女平等の意識を育てる授業をする」(45.1%)、「学校生活の中で、リーダー的役割は男子で女子は補佐役などの性別による役割分担をなくす」(43.6%)である。

職員も同項目で順位も同じであるが「男女平等の意識を育てる授業をする」については、町民よりも12ポイント高い。また「保護者に対して、様々な機会を通じて男女平等に対する理解を促す」も町民よりも高い(町民24.2%、職員37.9%)。逆に「校長や教頭に女性を増やしていく」では、町民の支持より低い(町民28.6%、職員15.5%)。

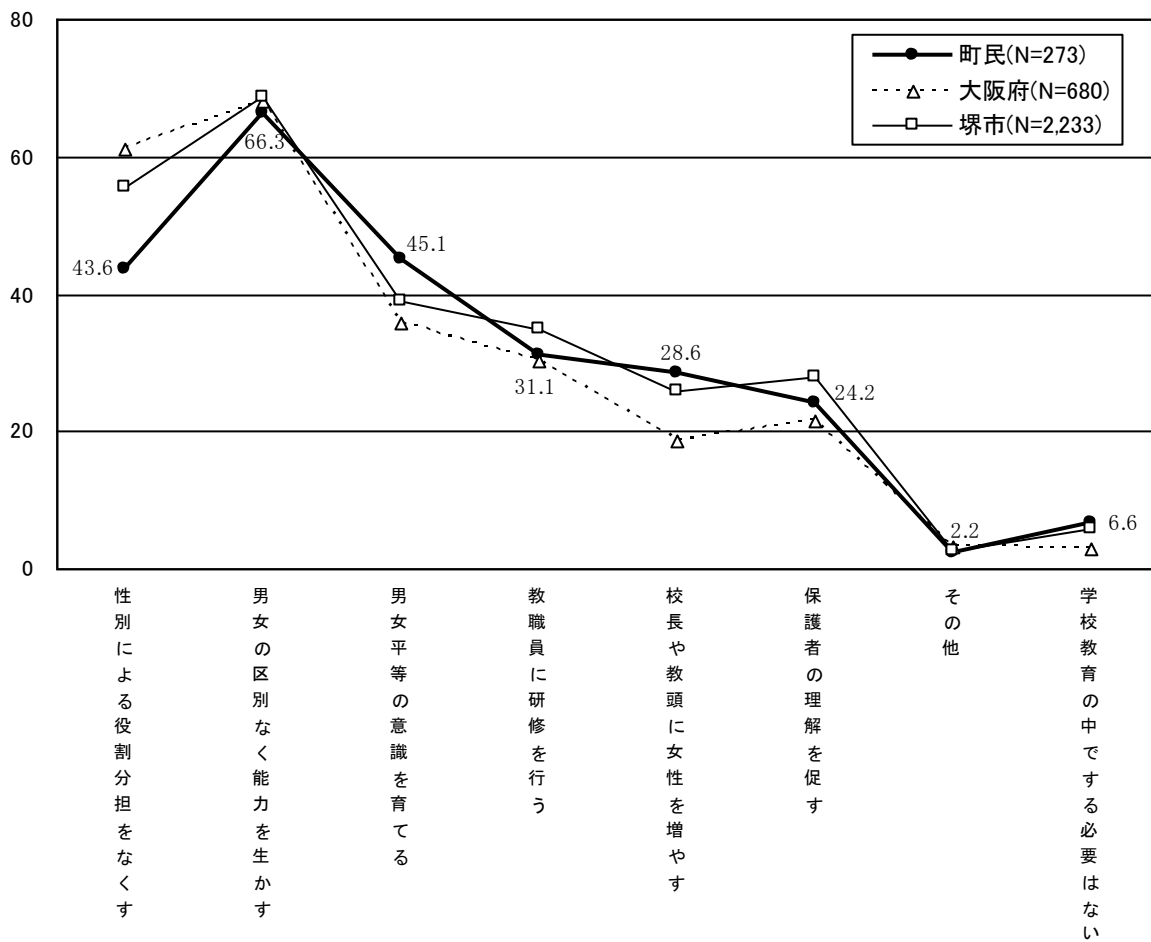
大阪府・堺市との比較では、田尻町では「学校生活の中で、リーダー的役割は男子で女子は補佐役などの性別による役割分担をなくす」が低く、「男女平等の意識を育てる授業をする」が高い。

性・年代別には「進路指導や職業観の育成について、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」については、男性60歳以上と女性40・50歳代が高い。「男女平等の意識を育てる授業をする」については、男性40・50歳代と女性40・50歳代が高い。また、女性20・30歳代では「校長や教頭に女性を増やしていく」が52.2%と高く、この層では第2位となっている。

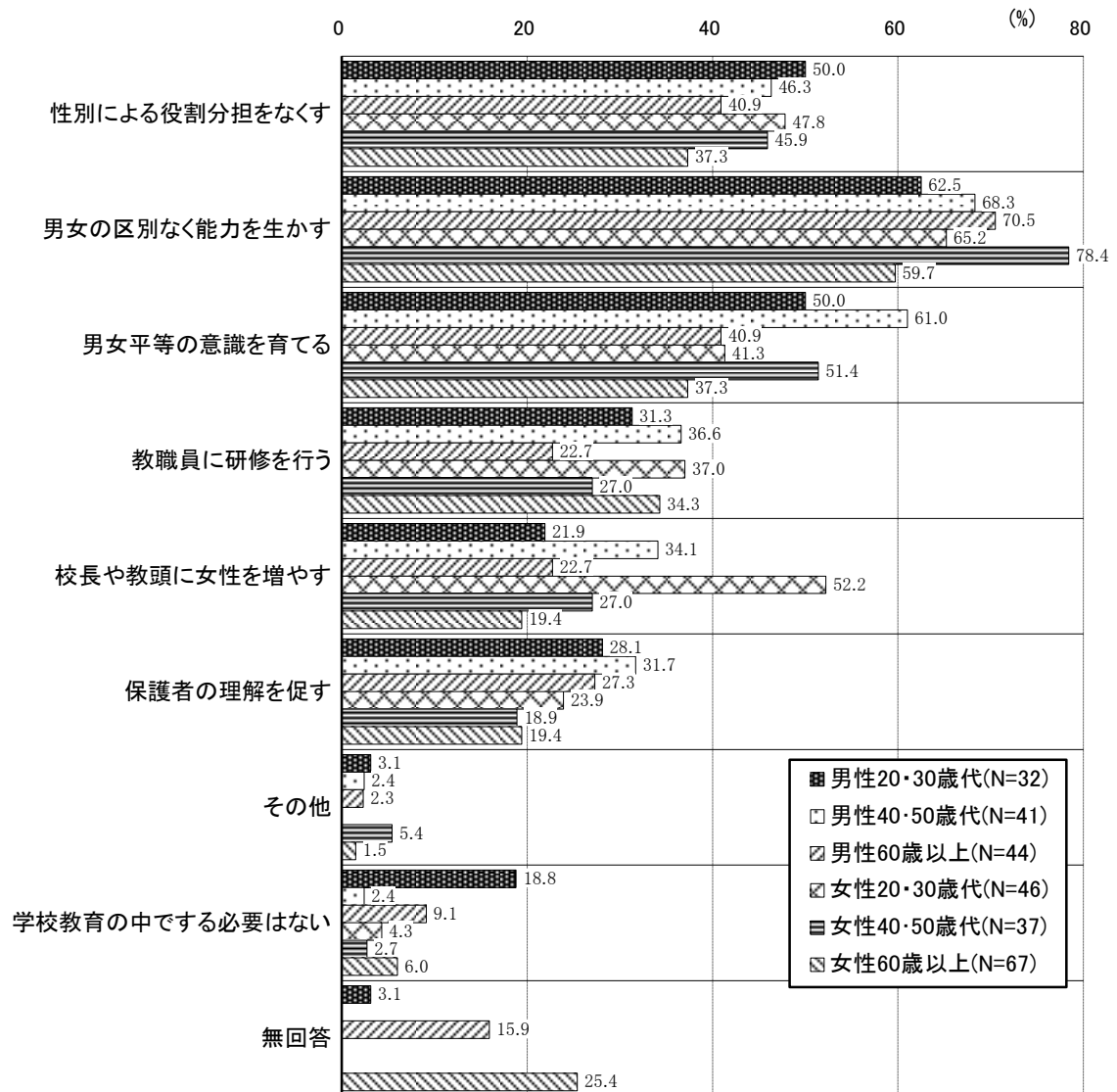
**【学校で行うとよいもの】**



【学校で行うとよいもの】



【学校で行うとよいもの】



**問 13** あなたの子どもに、次のことをどのくらい身につけてほしいと思いますか。女の子、男の子それぞれについてお答えください。子どもがいない方も、仮にしていると想定してお答えください。(A.女の子・B.男の子、それぞれの項目(1)~(5)に○は1つ)

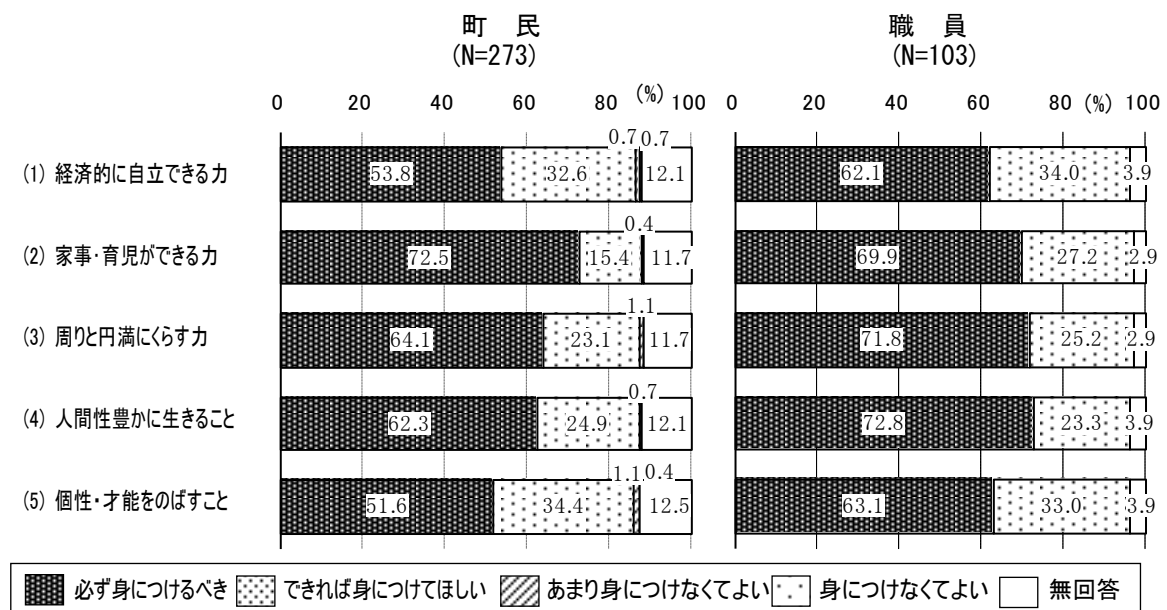
「必ず身につけるべき」割合は、高い順から、女の子については、(2)家事・育児ができる力、(3)周りと同様に過ごす力、(4)人間性豊かに生きること、である。男の子については、(1)経済的に自立する力、(3)周りと同様に過ごす力、(4)人間性豊かに生きること ((3)と(4)は同じ割合)、である。

職員では、女の子では、(4)人間性豊かに生きること、(3)周りと同様に過ごす力、(2)家事・育児ができる力の順である。男の子では町民とほぼ同様の傾向((4)が(3)より高い)である。

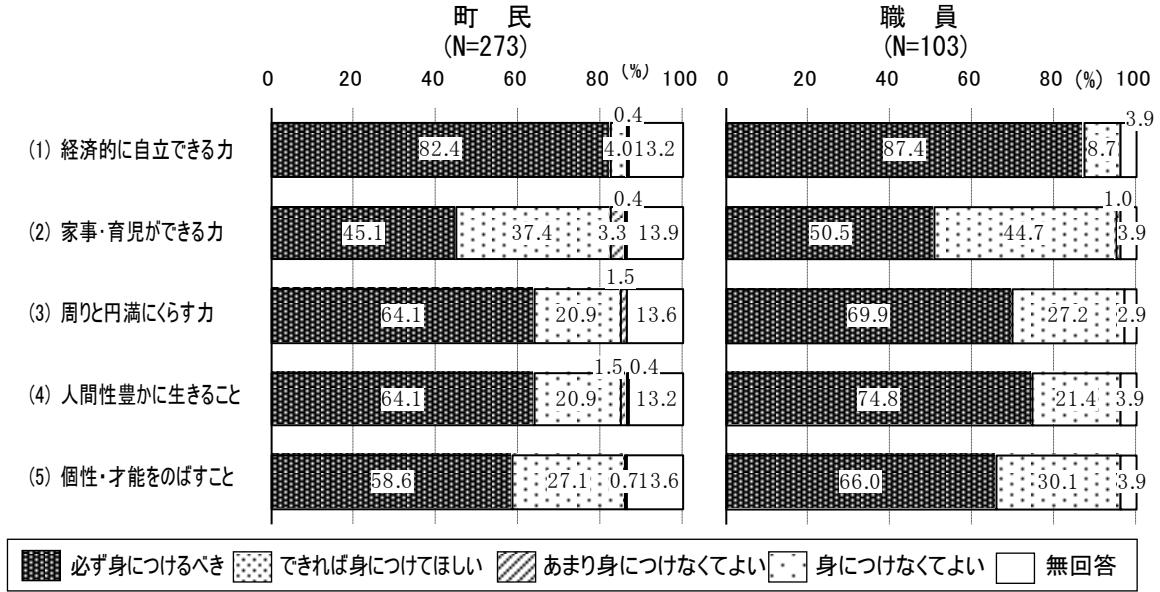
堺市との比較では、男の子の(2)家事・育児ができる力、女の子の(1)経済的に自立できる力、(5)個性・才能をのばすことについて、「必ず身につけるべき」とする割合がかなり上回っている。

性・年代別にみると、男性 20・30 歳代では、女の子の(1)経済的に自立できる力の「必ず身につけるべき」とする割合は 81.3%で高く、(2)家事・育児ができる力と同じで第 1 位である。この男性 20・30 歳代は、男の子の(2)家事・育児ができる力を「必ず身につけるべき」とする割合も 71.9%と、他の層に比べて最も高い。

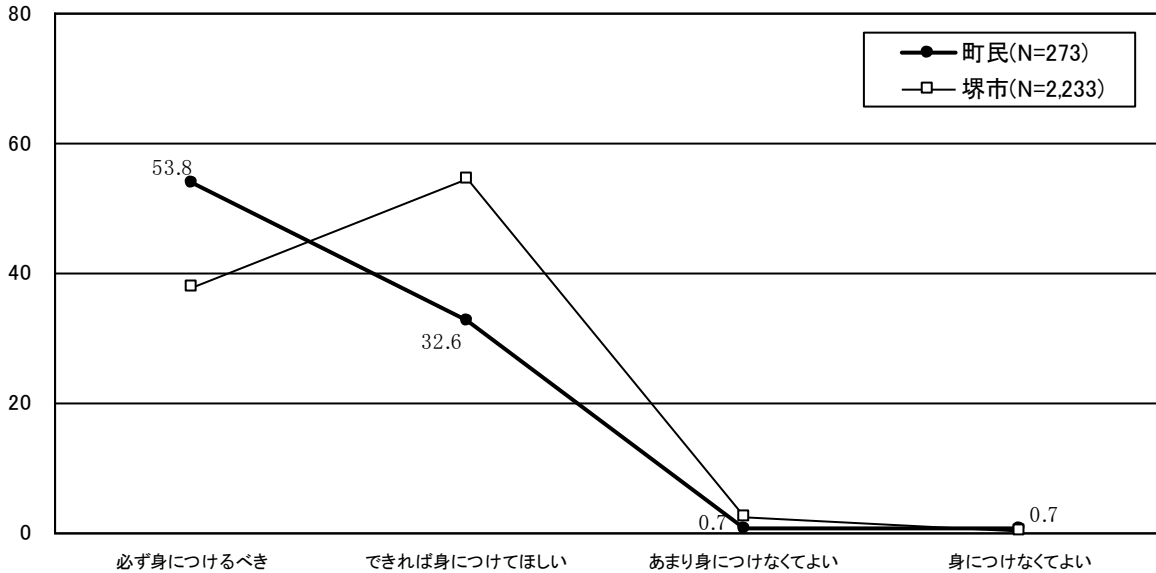
**【女の子に身につけてほしいこと】**



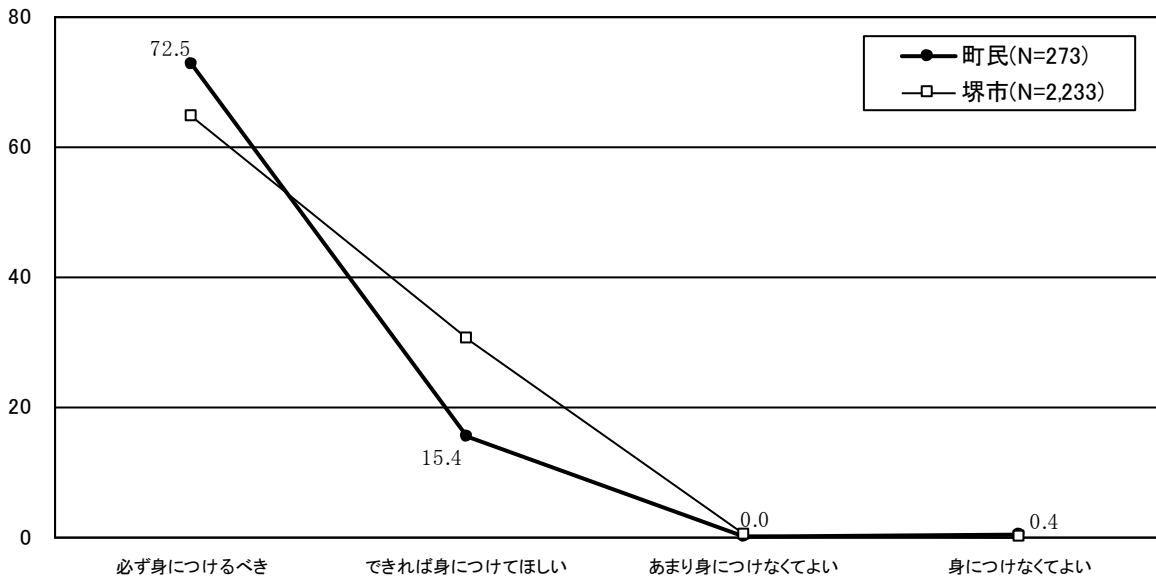
【男の子に身につけてほしいこと】



【女の子に身につけてほしいこと】 (1) 経済的に自立できる力

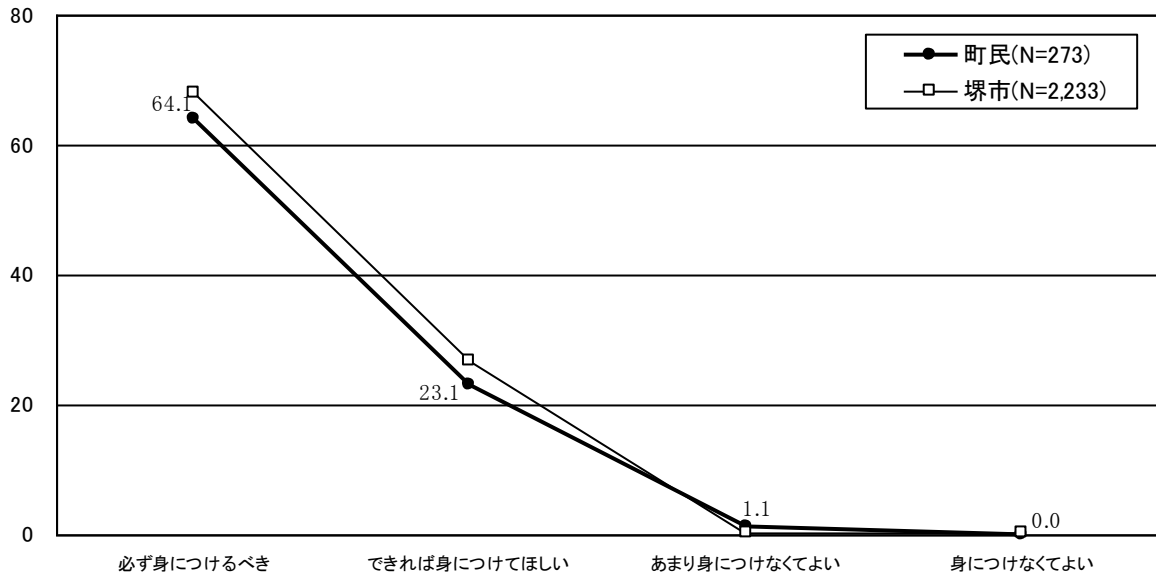


【女の子に身につけてほしいこと】 (2) 家事・育児ができる力

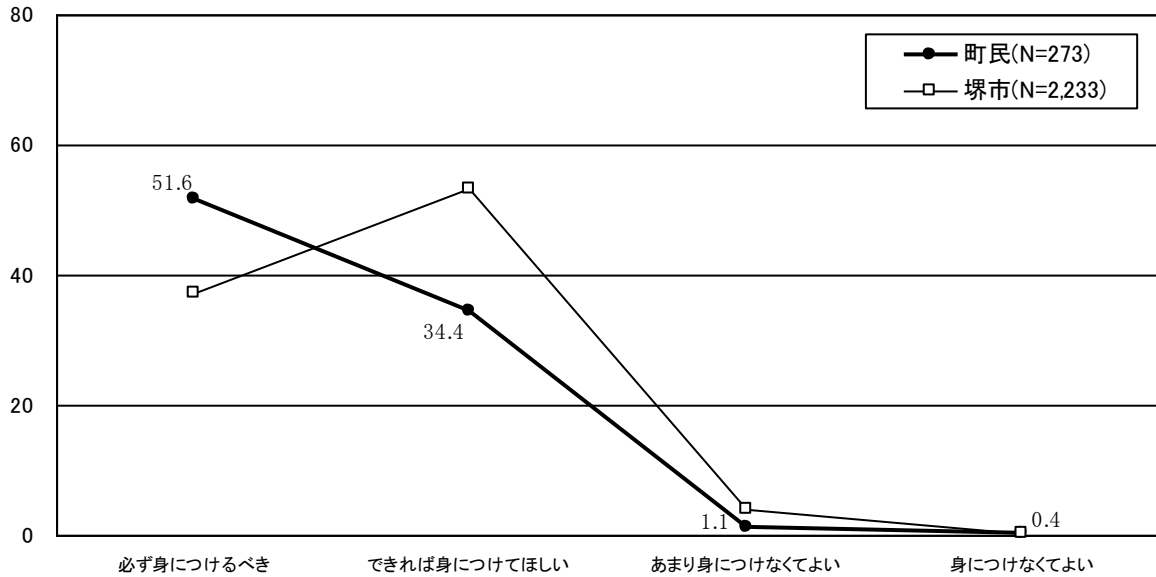




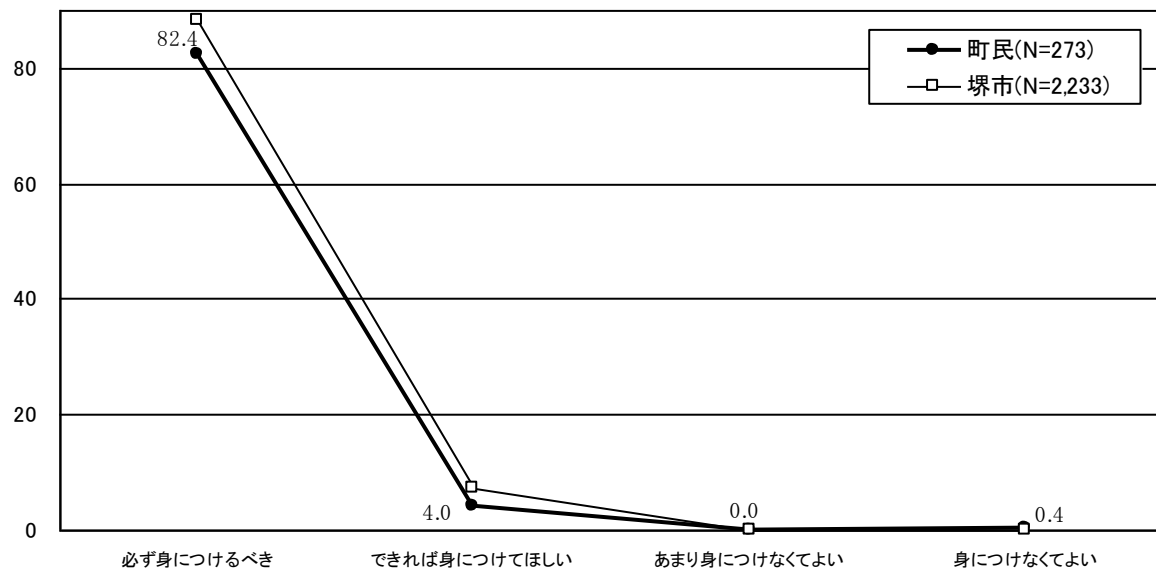
【女の子に身につけてほしいこと】(3) 周りと同様にたくましく



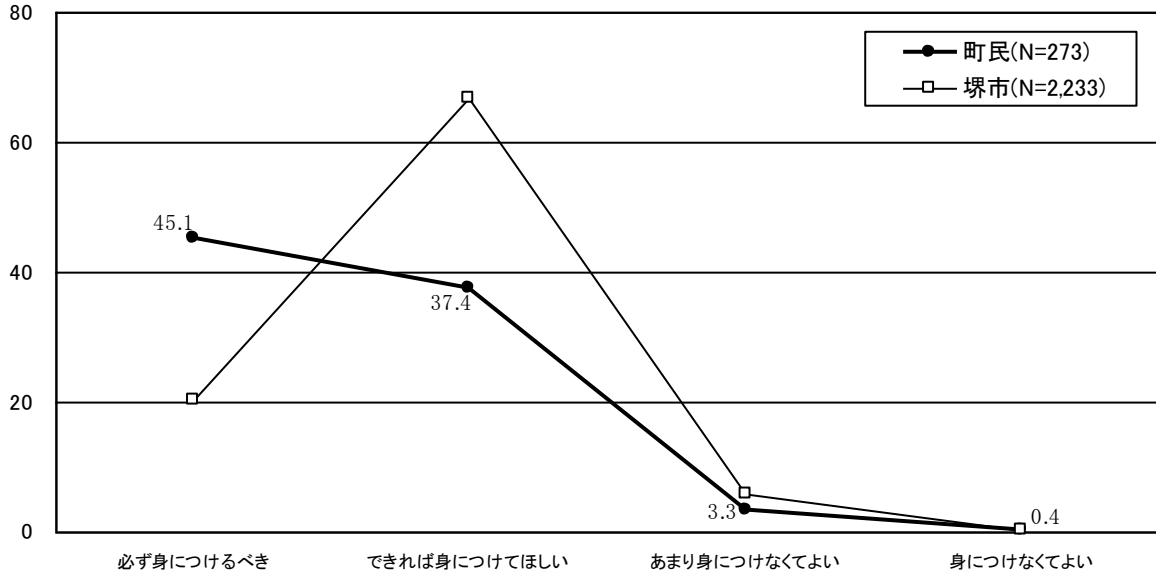
【女の子に身につけてほしいこと】(5) 個性・才能をのびすこと



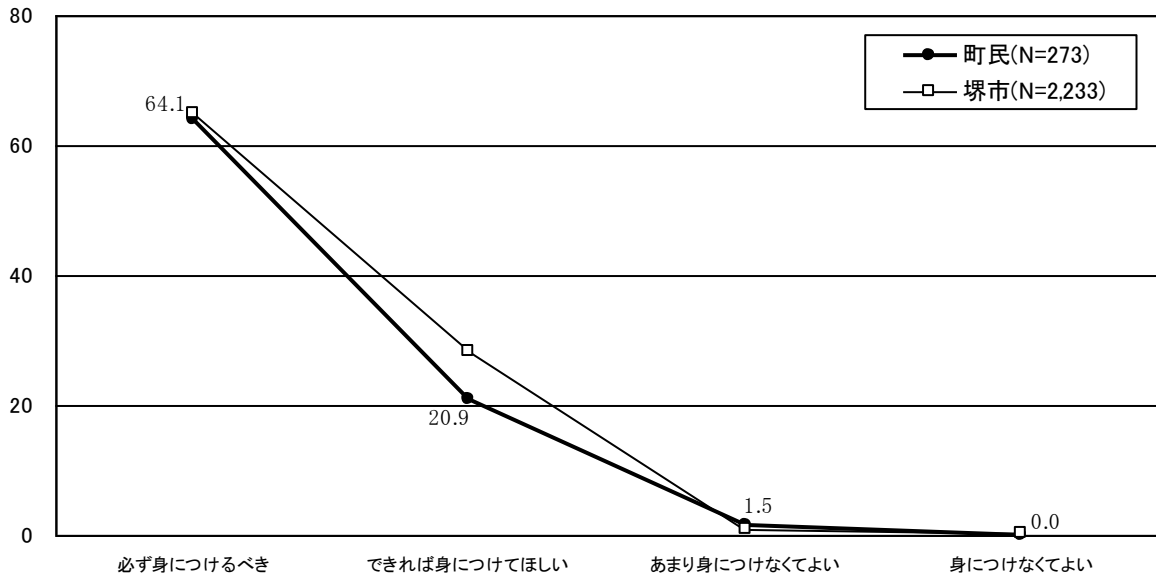
【男の子に身につけてほしいこと】(1) 経済的に自立できる力



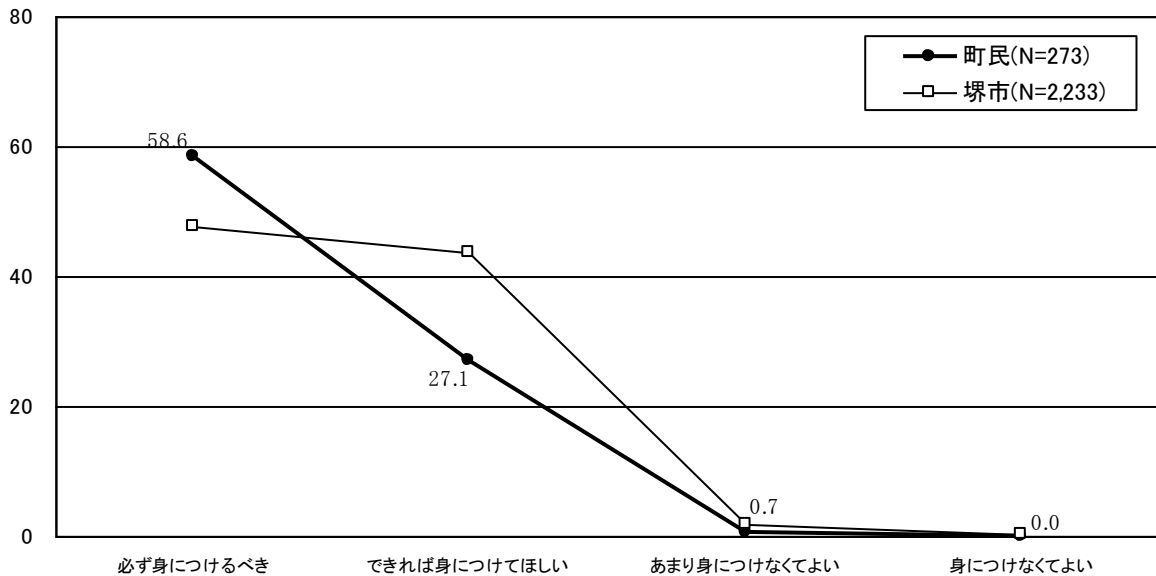
【男の子に身につけてほしいこと】(2) 家事・育児ができる力



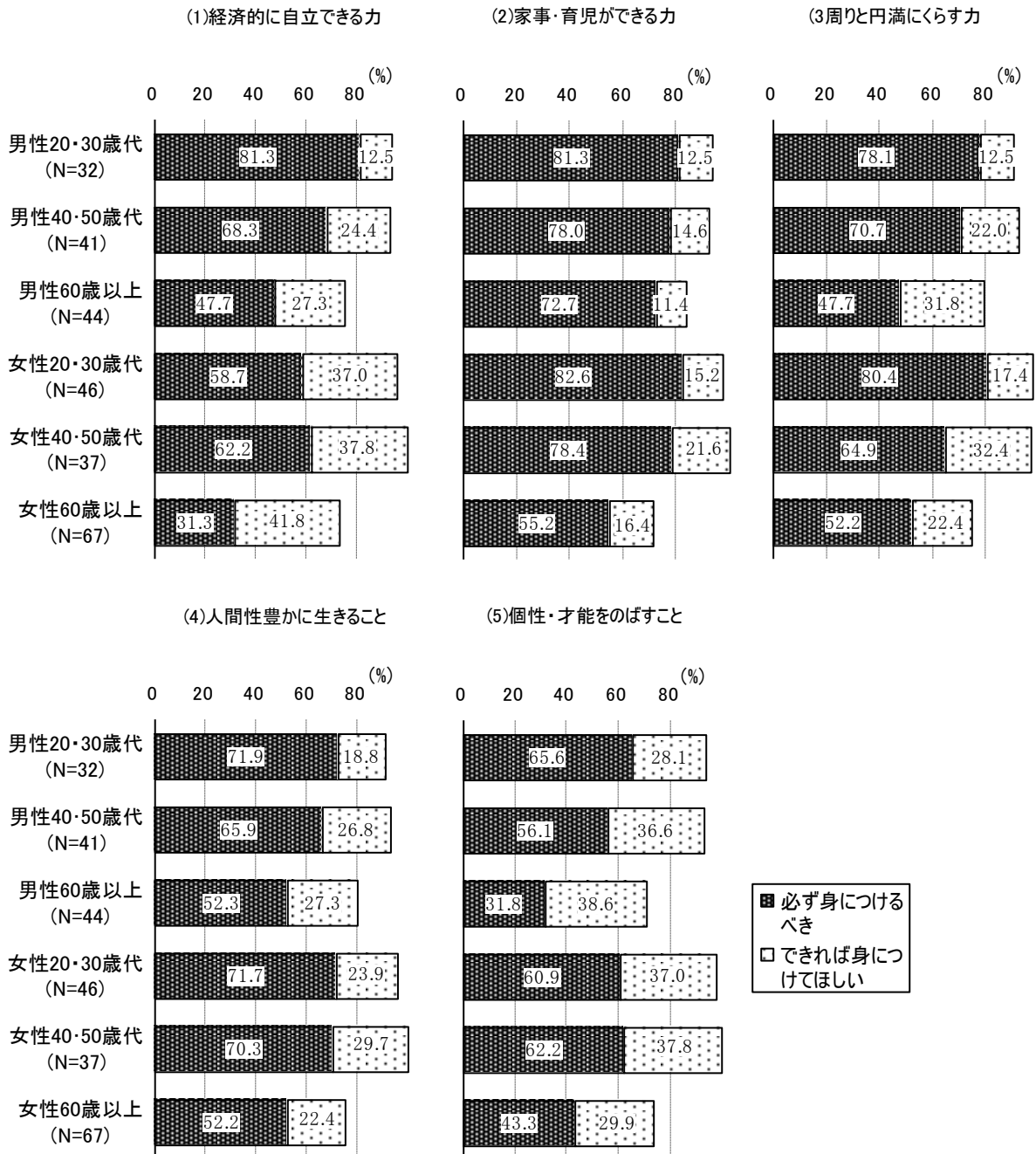
【男の子に身につけてほしいこと】(3) 周りと円満にくらす力



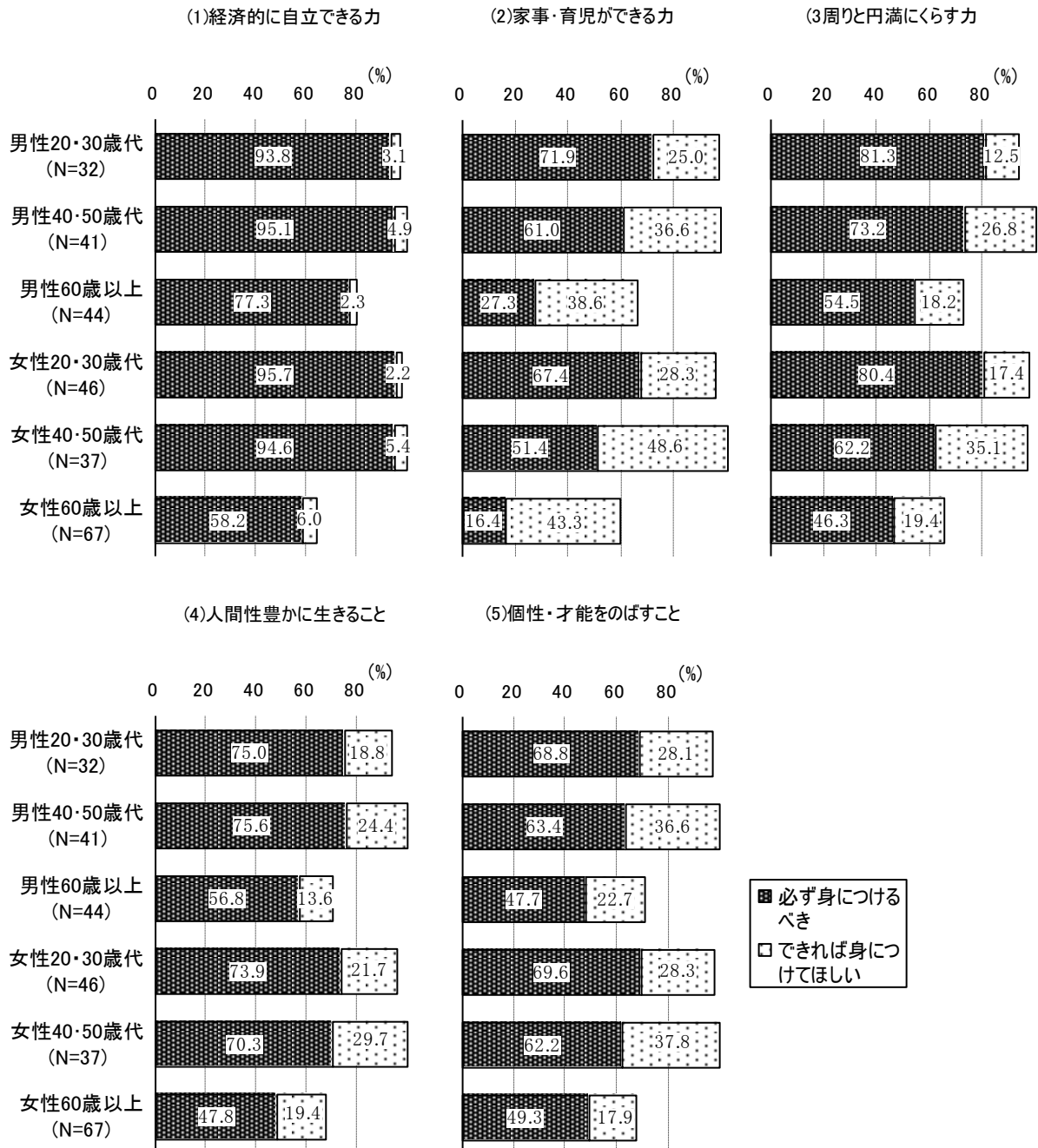
【男の子に身につけてほしいこと】(5) 個性・才能をのぼすこと



## 女の子に身につけてほしいこと（町民、性・年代別）



## 男の子に身につけてほしいこと（町民、性・年代別）



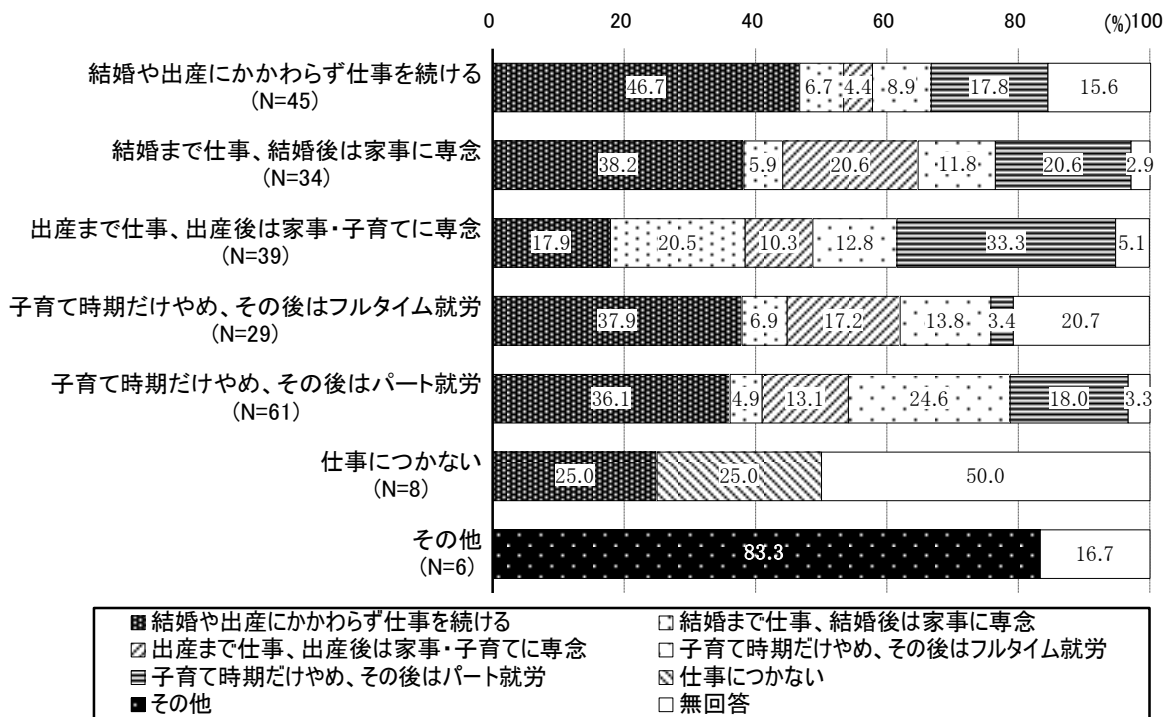
## 働くことについて

**問 14** 女性が働くことについて、あなたの現実と理想はどれにあてはまりますか。  
 [(1) 現実 (2) 理想の欄に、それぞれ○を1つ記入してください]

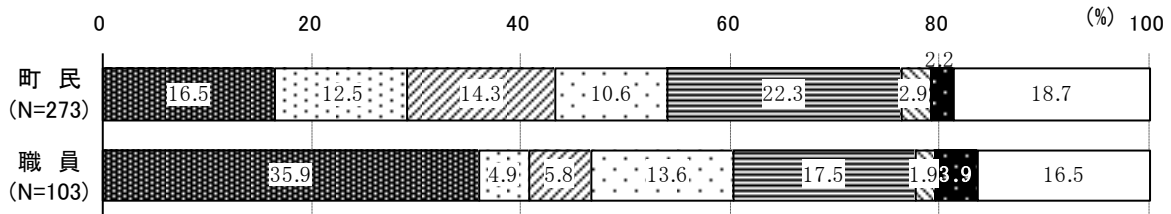
現実には「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」とする町民回答者の46.7%が同様の働き方を理想としている。他の現状の働き方をしている回答者も多くは「結婚や出産にかかわらず、仕事を続ける」を理想とする割合が第1位である場合が多いが、現実が「子どもができるまで仕事をもち、子どもができたなら家事や子育てに専念」である回答者の理想は「子育ての時期だけ一時やめ、その後はフルタイムで仕事を続ける方がよい」が33.3%で最も高い割合となっている。

大阪府との比較では、全体的なパターンは大きく変わらないが、「子育ての時期だけ一時やめ、その後はパートタイムで仕事を続ける方がよい」を理想とする割合が低い。

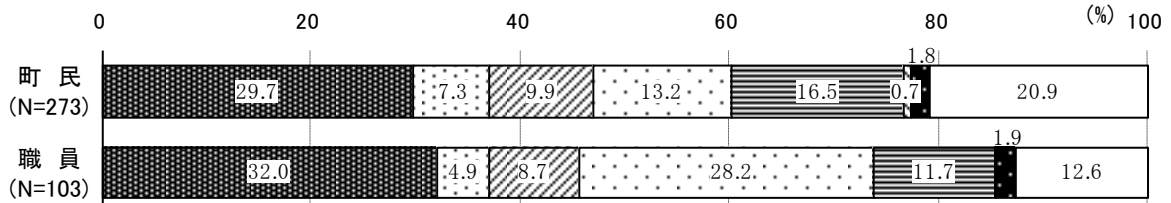
【女性が働くことの理想と現実】（町民. 縦軸が現実）



【女性が働くことの現実】

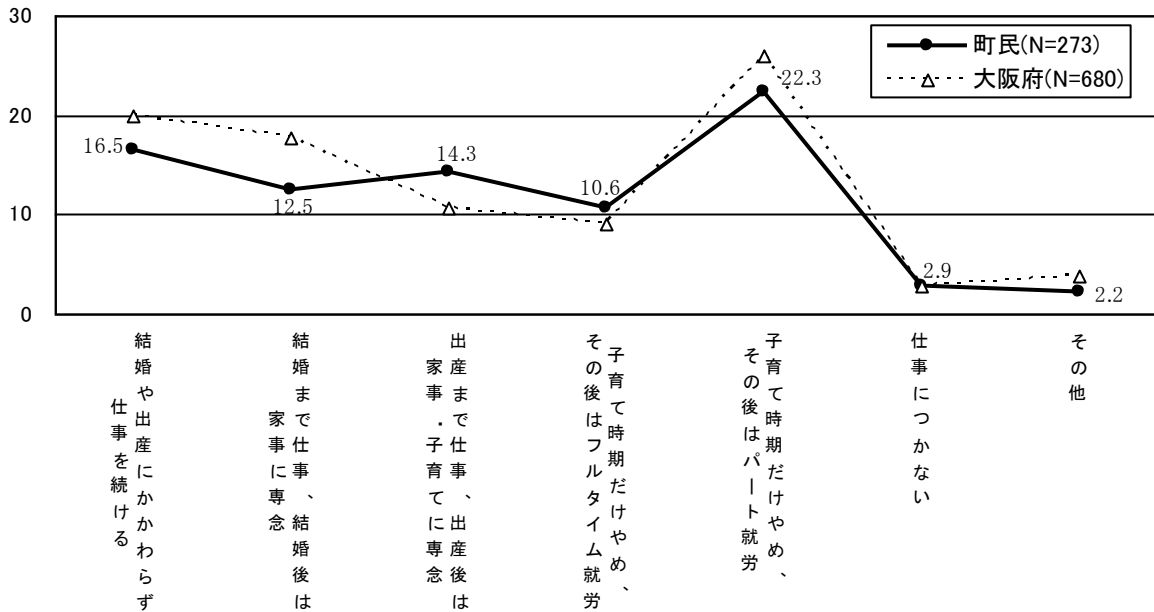


【女性が働くことの理想】

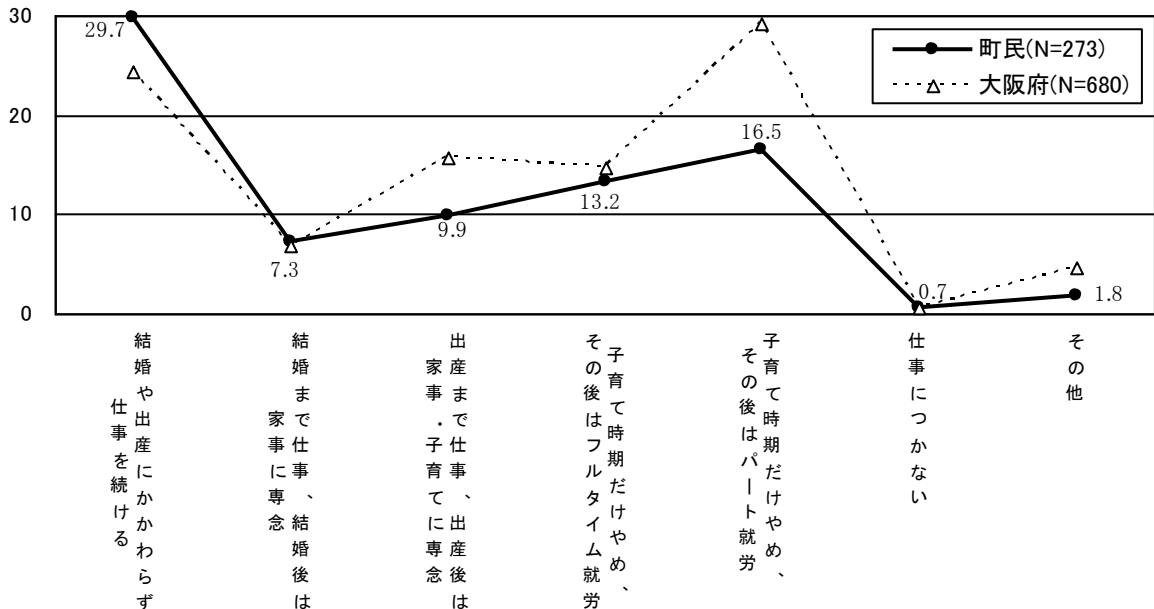


- 結婚や出産にかかわらず仕事を続ける
- 結婚まで仕事、結婚後は家事に専念
- 出産まで仕事、出産後は家事・子育てに専念
- 子育て時期だけやめ、その後はフルタイム就労
- 目 子育て時期だけやめ、その後はパート就労
- 仕事につかない
- その他
- 無回答

【女性が働くことの現実】



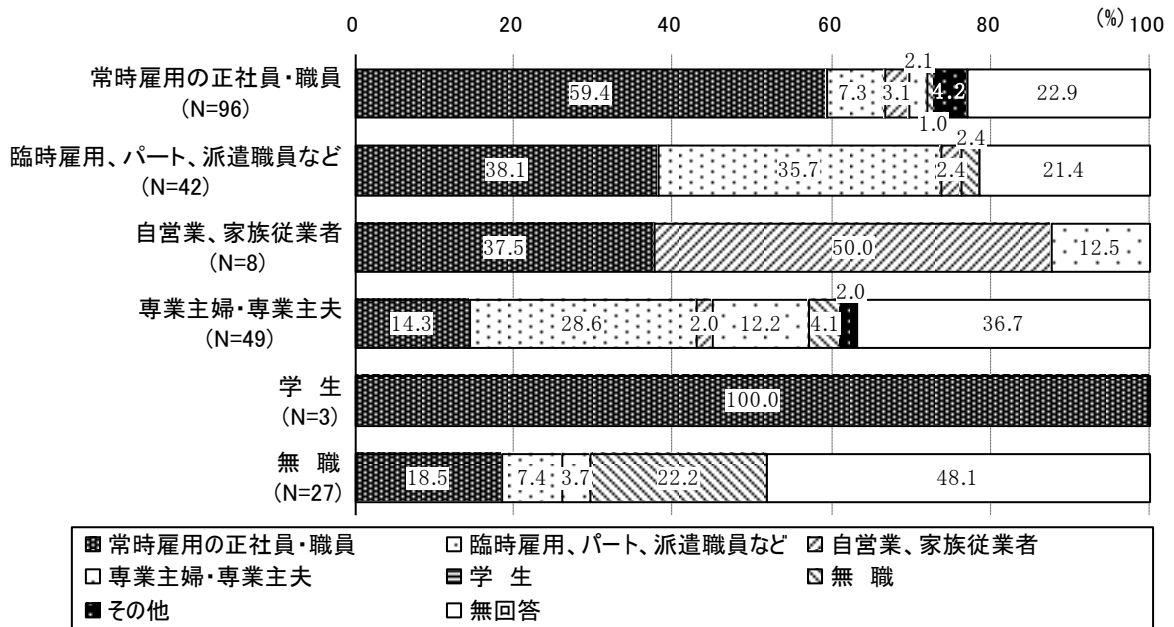
【女性が働くことの理想】



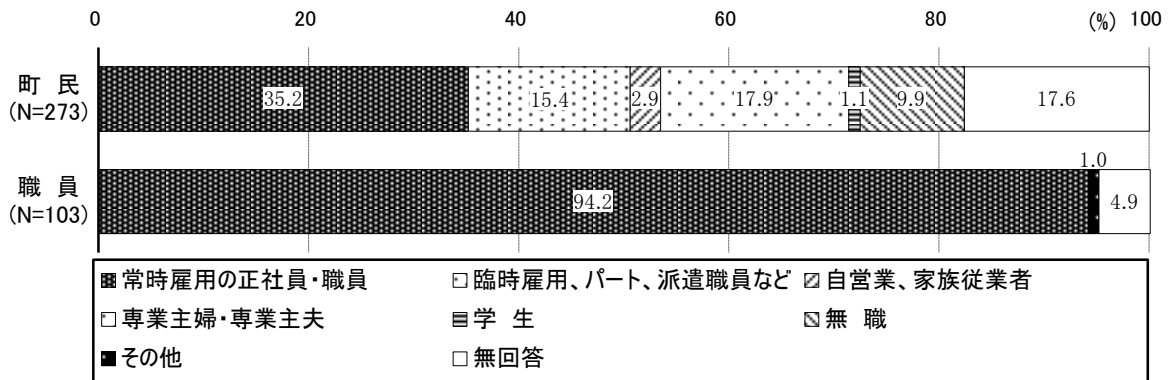
問 15 あなたと、あなたの配偶者・パートナーの現在の勤務形態はどれにあてはまりますか。また、あなたの希望する勤務形態はどれですか。  
 [(1) (2) (3) の欄に、それぞれ○を1つ記入してください]

現在の勤務形態が「常時雇用の正社員または正職員」「臨時雇用、パート、アルバイト、非常勤、派遣等の非正規社員（職員）」である場合は、希望する勤務形態を「常時雇用の正社員または正職員」とする割合が最も高い。現在「専業主婦・専業主夫」である場合は「臨時雇用、パート、アルバイト、非常勤、派遣等の非正規社員（職員）」を望む割合が最も高い。

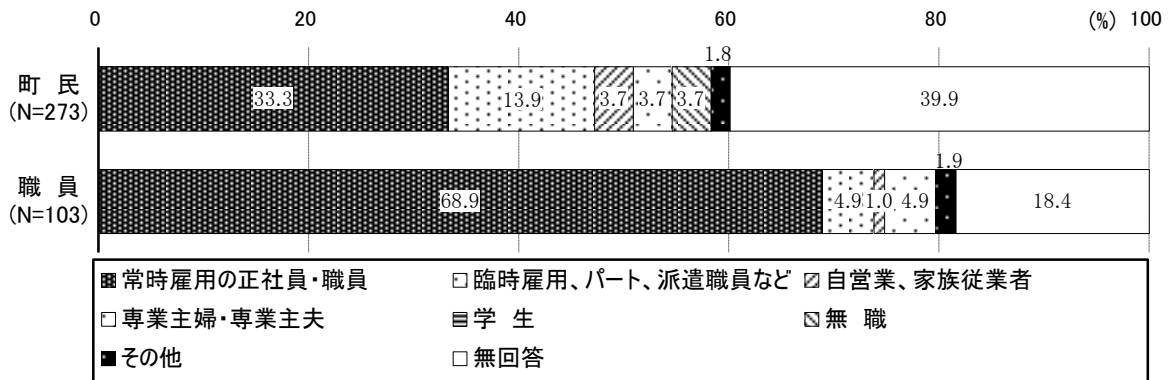
【自分の勤務形態の現在と希望】（町民. 縦軸が現在の勤務形態）



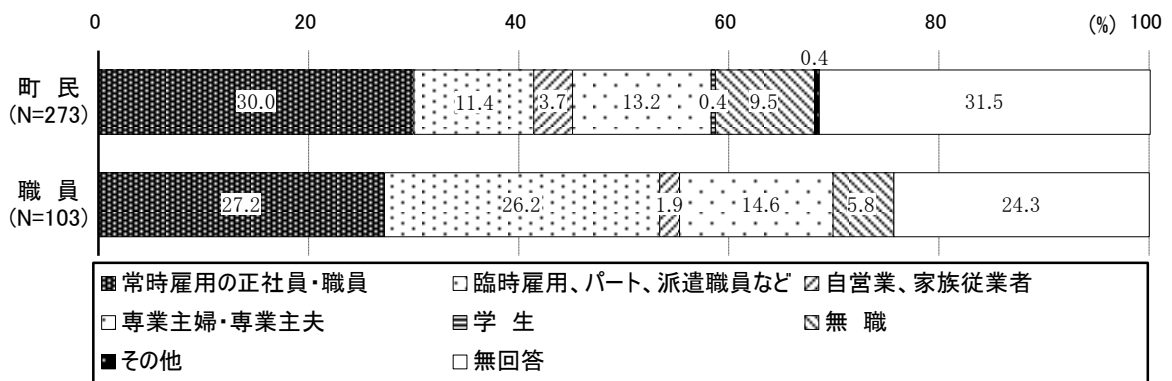
**【現在の勤務形態】**



**【希望する勤務形態】**



**【配偶者の勤務形態】**





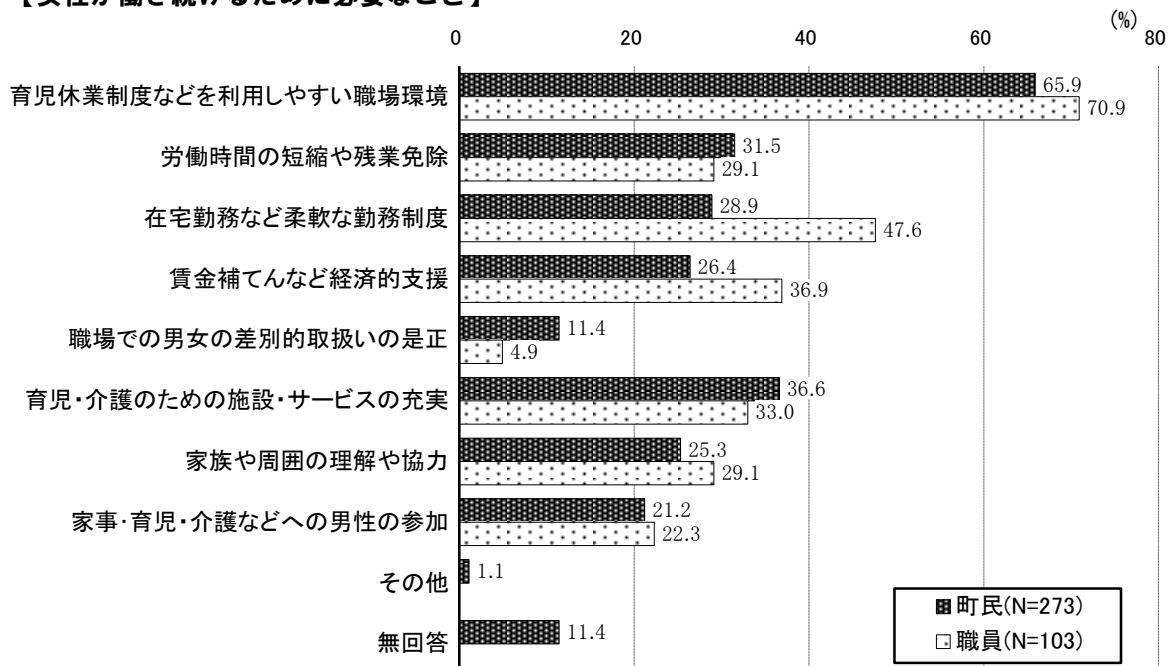
**問 16** 出産・子育て・介護などをしながら、女性が働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。[○は3つまで]

「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」が 65.9%で唯一過半数になっている。これに「育児や介護のための施設やサービスの充実」「労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除」が 30%台で続く。

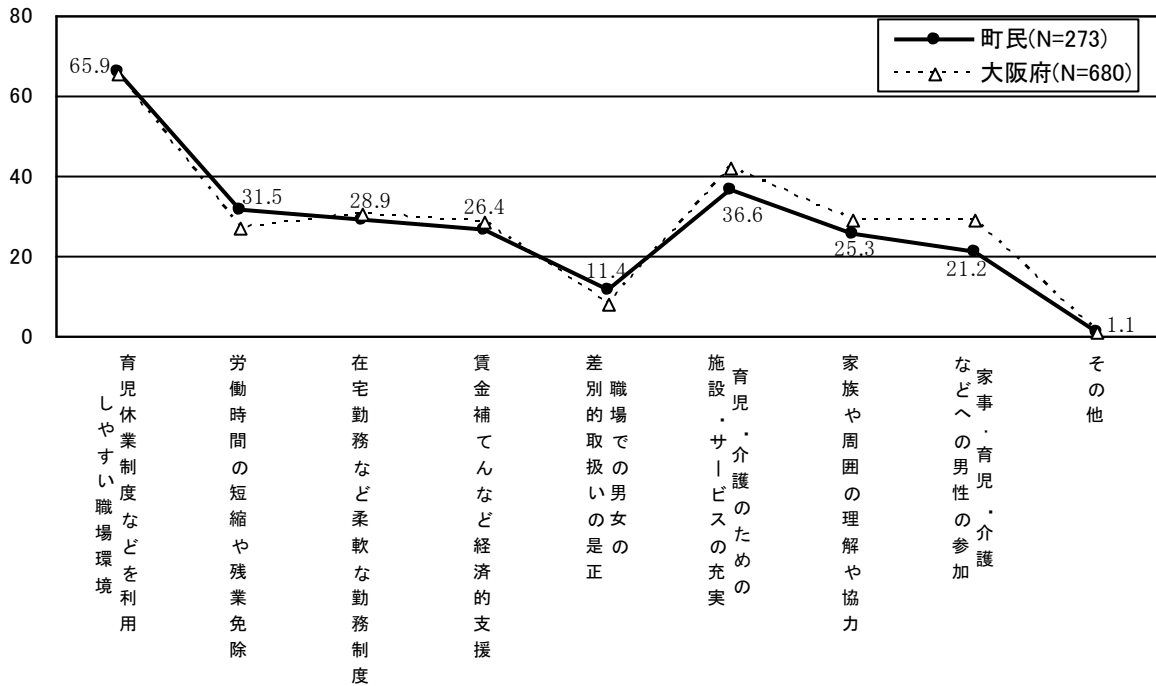
職員では、第2位が「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」、第3位が「育児休業・介護休業中の賃金の補てんその他の経済的支援の充実」と町民の意見と異なっている。

女性 20・30 歳代と 40・50 歳代ともに第 1 位は「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場環境づくり」であるが、第2位については女性 20・30 歳代が「労働時間の短縮や子育て中の社員に対する残業免除」、女性 40・50 歳代が「在宅勤務、フレックスタイム制などの柔軟な勤務制度の導入」「女性が働くことに対する家族や周囲の理解や協力」と異なっている。

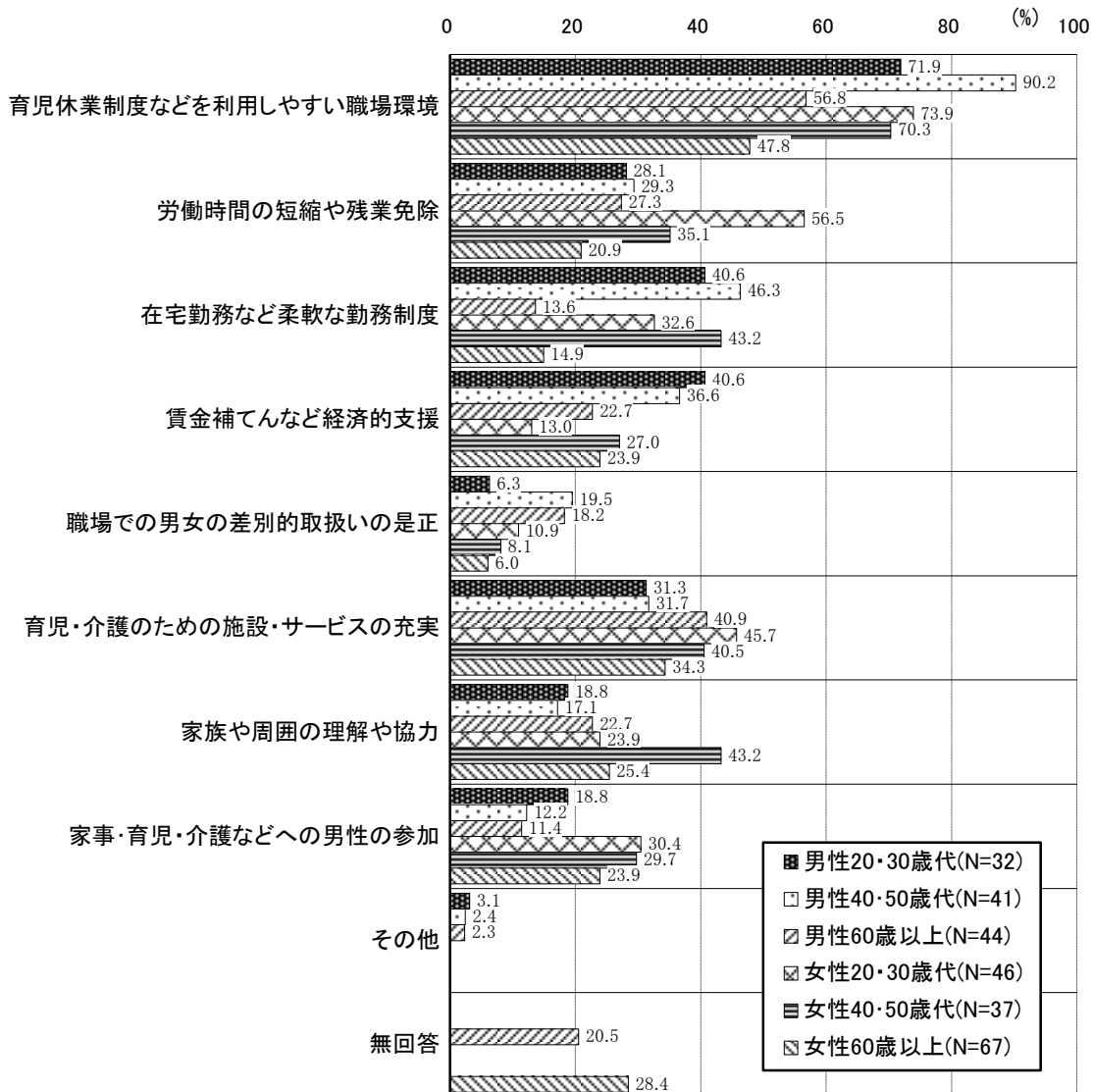
**【女性が働き続けるために必要なこと】**



【女性が働き続けるために必要なこと】



【女性が働き続けるために必要なこと】



**問 17** あなたは、仕事に関する次のことについて、性別による差があると思いますか。  
 [(1)～(9) それぞれに、○は1つ]

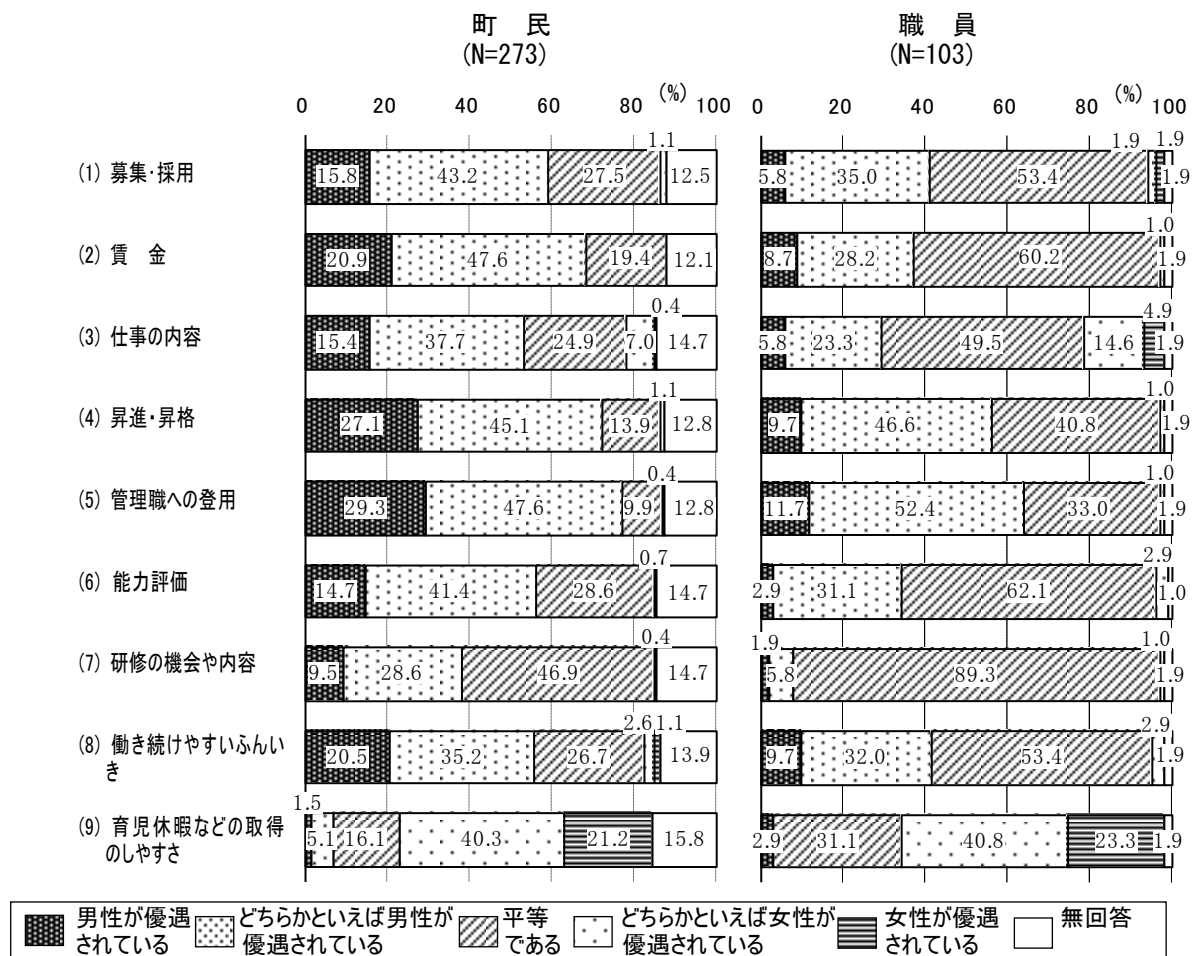
「男性が優遇されている」の割合が高い項目は、(5)管理職への登用(29.3%)、(4)昇進・昇格(27.1%)、(2)賃金(20.9%)などである。「女性が優遇されている」では、(9)育児休暇などの取得のしやすさ、が21.2%で最も高いが、他の項目はどれも1.1%以下である。

職員においてもおおむね似た傾向であるが、(9)育児休暇などの取得のしやすさ、以外は「男性が優遇されている」の割合が町民より低い。

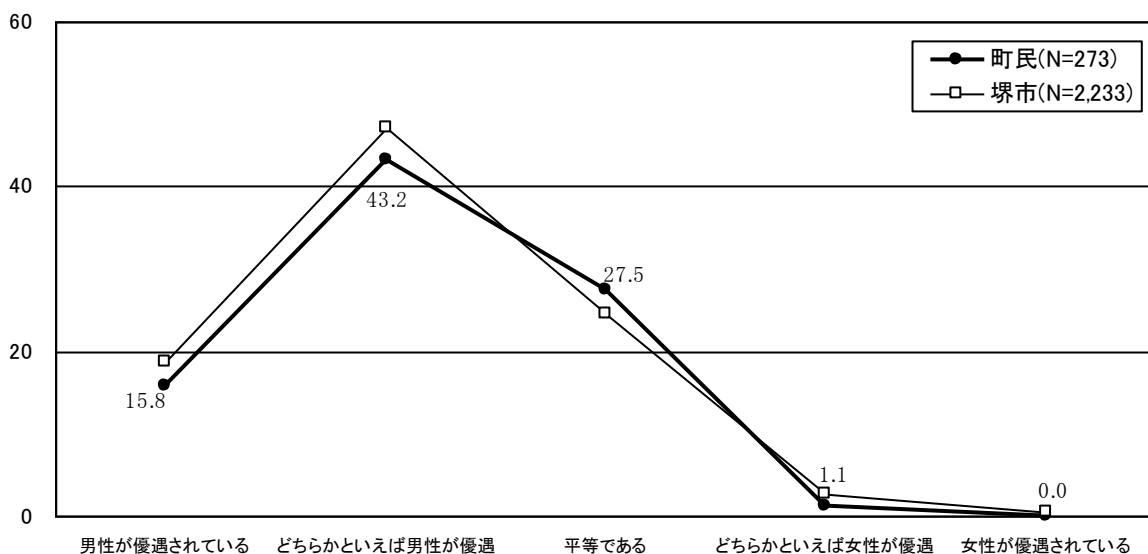
堺市との比較では、(9)育児休暇などの取得のしやすさ、以外のすべての項目で「平等である」が堺市を上回っている。

性・年代別にみると、全体に男性の50歳代以下の層では「平等である」の割合が高く、女性の50歳代以下の層では「男性が優遇されている」や「どちらかといえば男性が優遇されている」の割合が高くなっている。

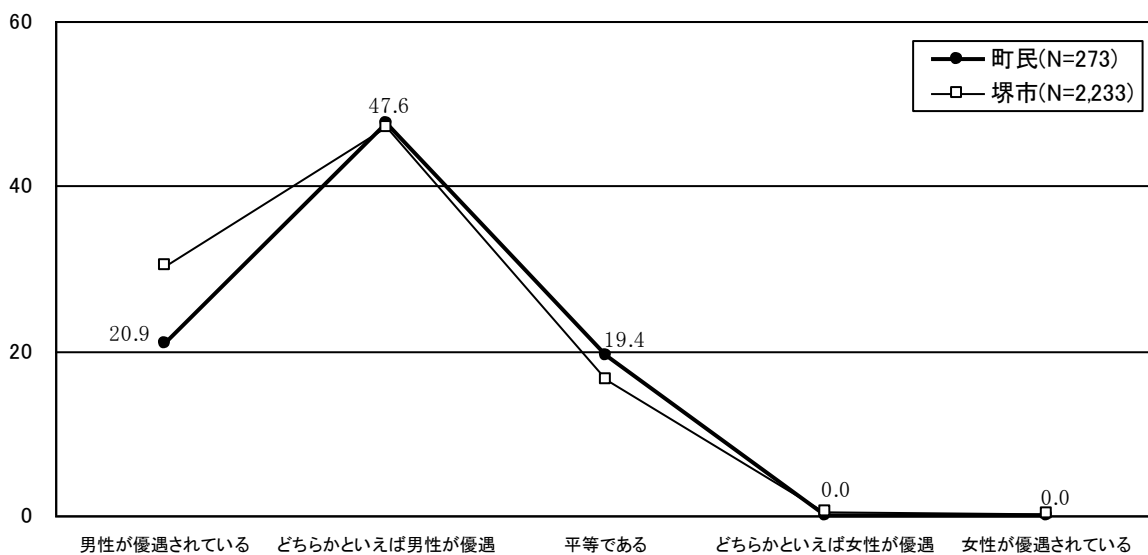
**【職場での性別による差】**



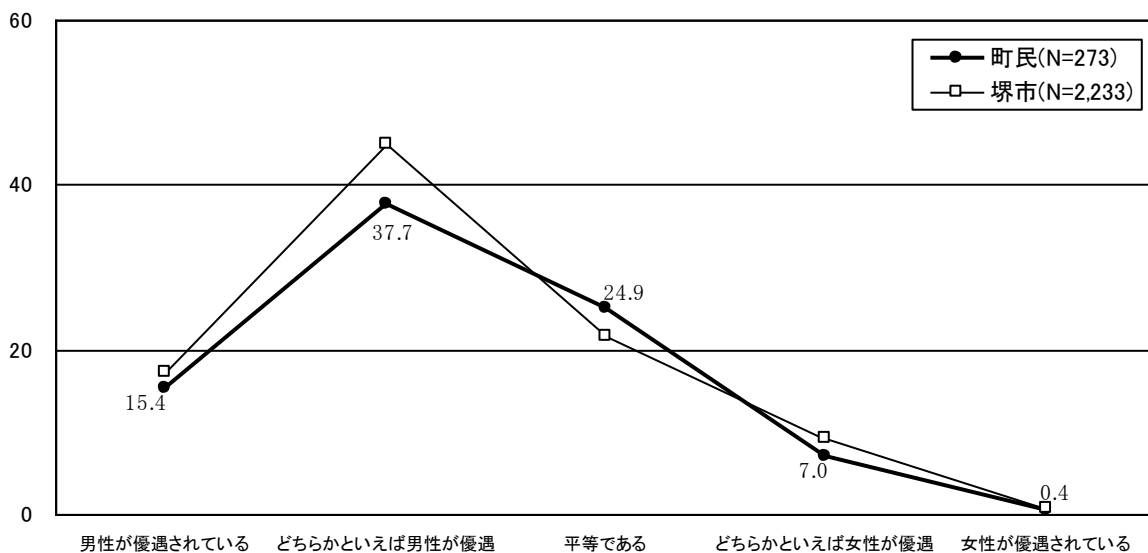
【職場での性別による差】(1) 募集・採用



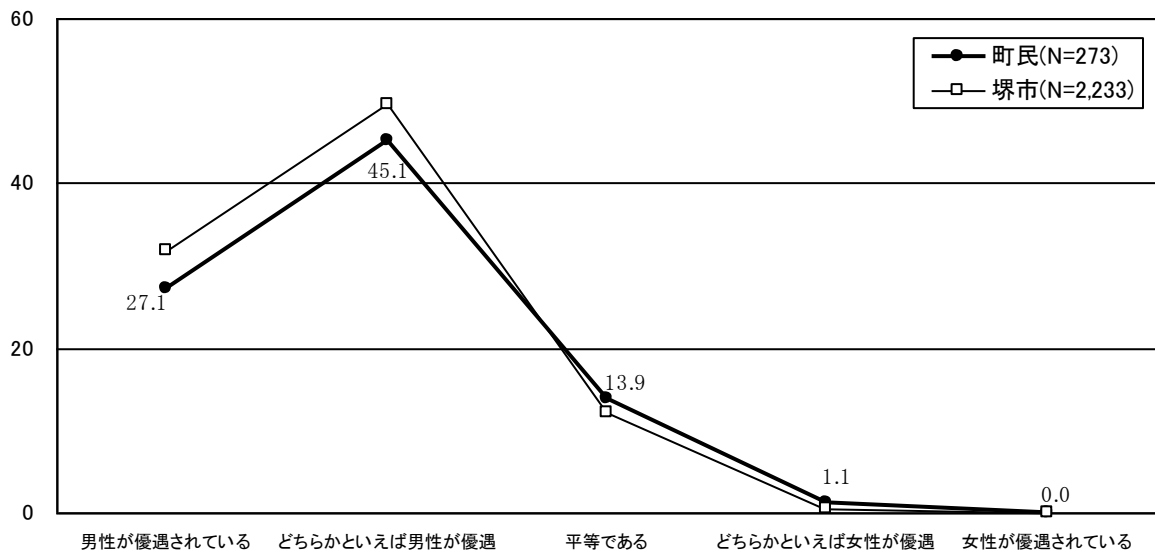
【職場での性別による差】(2) 賃金



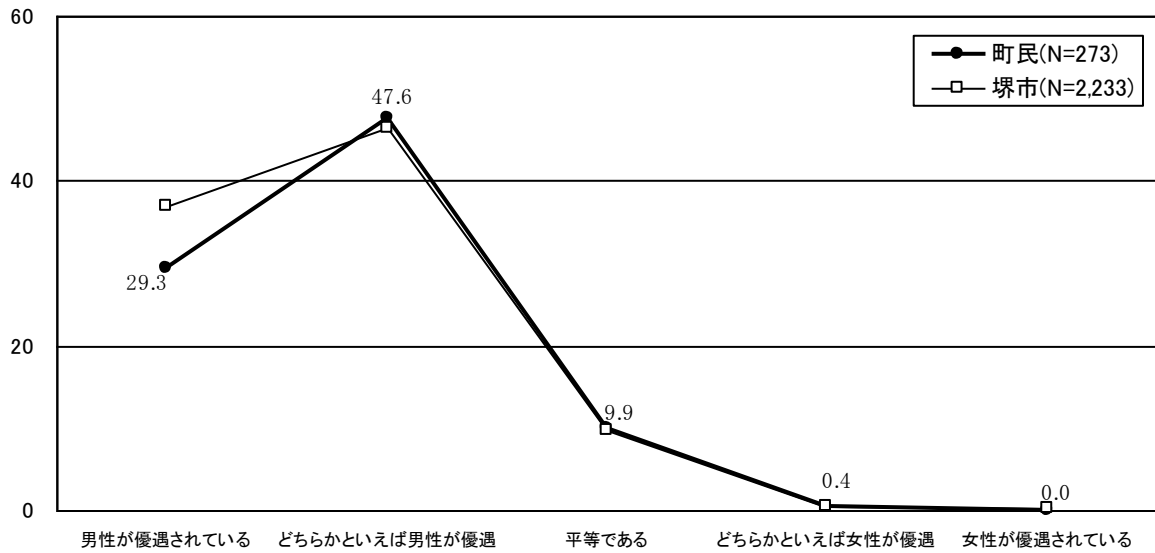
【職場での性別による差】(3) 仕事の内容



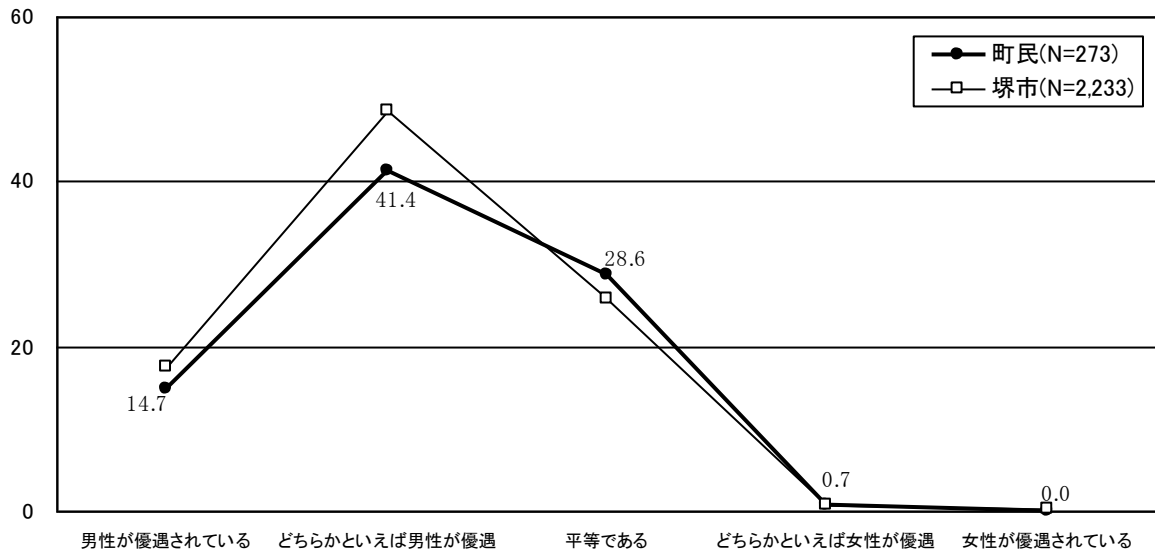
【職場での性別による差】(4)昇進・昇格



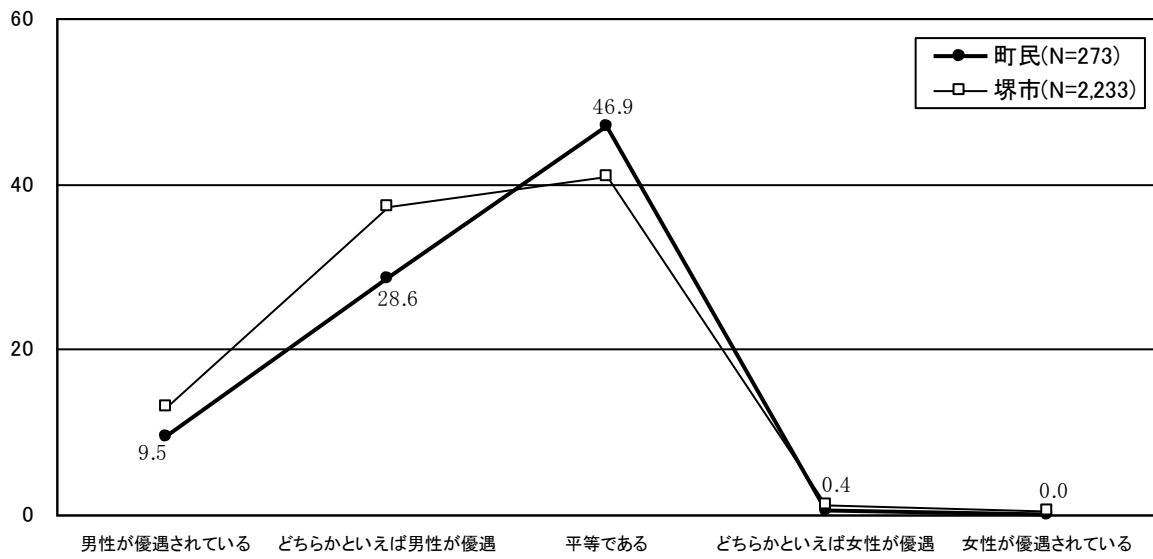
【職場での性別による差】(5)管理職への登用



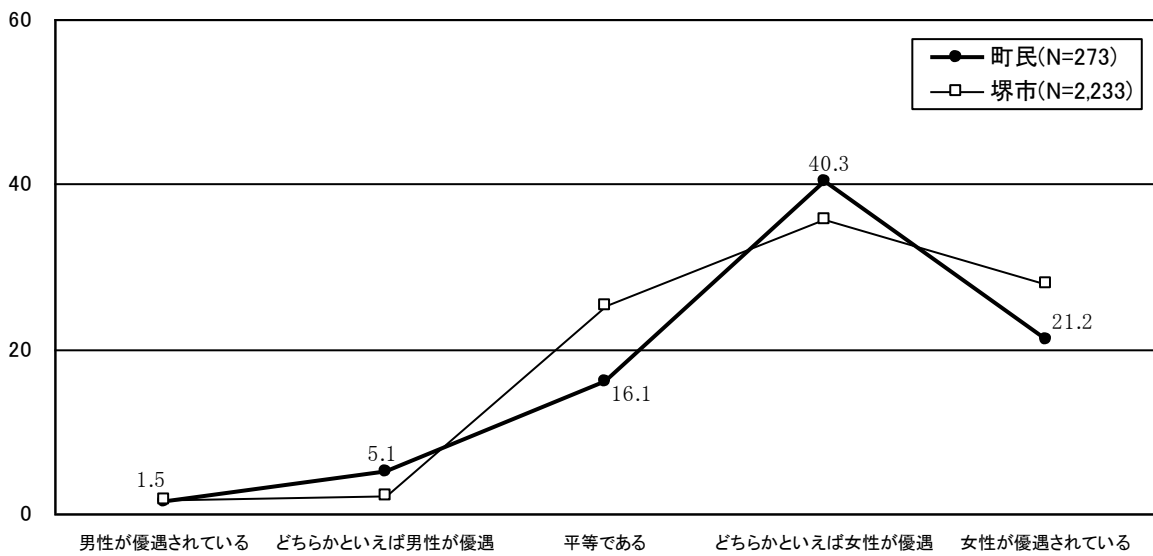
【職場での性別による差】(6)能力評価



【職場での性別による差】(7) 研修の機会や内容



【職場での性別による差】(9) 育児休暇などの取得のしやすさ



町民、性・年代別

単位：%

(1) 募集・採用

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	21.9	19.5	18.2	19.6	8.1	10.4
どちらかといえば男性が優遇されている	37.5	39.0	38.6	50.0	64.9	38.8
平等である	40.6	39.0	22.7	30.4	24.3	16.4
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	2.4	2.3	0.0	0.0	1.5
女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	2.7	32.8

(2) 賃 金

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	15.6	24.4	20.5	26.1	24.3	16.4
どちらかといえば男性が優遇されている	34.4	48.8	47.7	54.3	56.8	46.3
平等である	50.0	26.8	13.6	19.6	16.2	6.0
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	18.2	0.0	2.7	31.3

(3) 仕事の内容

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	9.4	24.4	13.6	15.2	13.5	14.9
どちらかといえば男性が優遇されている	40.6	46.3	31.8	37.0	51.4	29.9
平等である	31.3	17.1	22.7	39.1	27.0	17.9
どちらかといえば女性が優遇されている	12.5	12.2	6.8	6.5	5.4	3.0
女性が優遇されている	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3.1	0.0	25.0	2.2	2.7	34.3

(4) 昇進・昇格

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	21.9	34.1	13.6	41.3	29.7	23.9
どちらかといえば男性が優遇されている	53.1	48.8	43.2	45.7	54.1	37.3
平等である	25.0	14.6	18.2	13.0	13.5	6.0
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	2.4	2.3	0.0	0.0	1.5
女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	22.7	0.0	2.7	31.3

**(5) 管理職への登用**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	34.4	34.1	15.9	43.5	32.4	20.9
どちらかといえば男性が優遇されている	50.0	48.8	52.3	50.0	56.8	40.3
平等である	15.6	14.6	11.4	6.5	8.1	6.0
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	20.5	0.0	2.7	32.8

**(6) 能力評価**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	9.4	19.5	11.4	19.6	16.2	10.4
どちらかといえば男性が優遇されている	46.9	31.7	34.1	52.2	48.6	41.8
平等である	43.8	43.9	29.5	28.3	32.4	10.4
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	4.9	0.0	0.0	0.0	0.0
女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	25.0	0.0	2.7	37.3

**(7) 研修の機会や内容**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	6.3	17.1	11.4	10.9	5.4	7.5
どちらかといえば男性が優遇されている	15.6	19.5	34.1	32.6	48.6	22.4
平等である	78.1	61.0	31.8	56.5	43.2	31.3
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
女性が優遇されている	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	22.7	0.0	2.7	38.8

**(8) 働き続けやすいふんいき**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	25.0	14.6	13.6	39.1	27.0	11.9
どちらかといえば男性が優遇されている	43.8	36.6	31.8	32.6	45.9	29.9
平等である	25.0	41.5	29.5	23.9	24.3	19.4
どちらかといえば女性が優遇されている	0.0	4.9	2.3	4.3	0.0	3.0
女性が優遇されている	6.3	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0.0	0.0	22.7	0.0	2.7	35.8

**(9) 育児休暇などの取得のしやすさ**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
男性が優遇されている	3.1	0.0	4.5	2.2	0.0	0.0
どちらかといえば男性が優遇されている	6.3	2.4	9.1	4.3	10.8	1.5
平等である	18.8	22.0	15.9	6.5	21.6	14.9
どちらかといえば女性が優遇されている	34.4	51.2	31.8	41.3	48.6	37.3
女性が優遇されている	37.5	22.0	9.1	43.5	16.2	10.4
無回答	0.0	2.4	29.5	2.2	2.7	35.8



**問 18** 男女が対等に働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。  
 [あてはまるすべてに○]

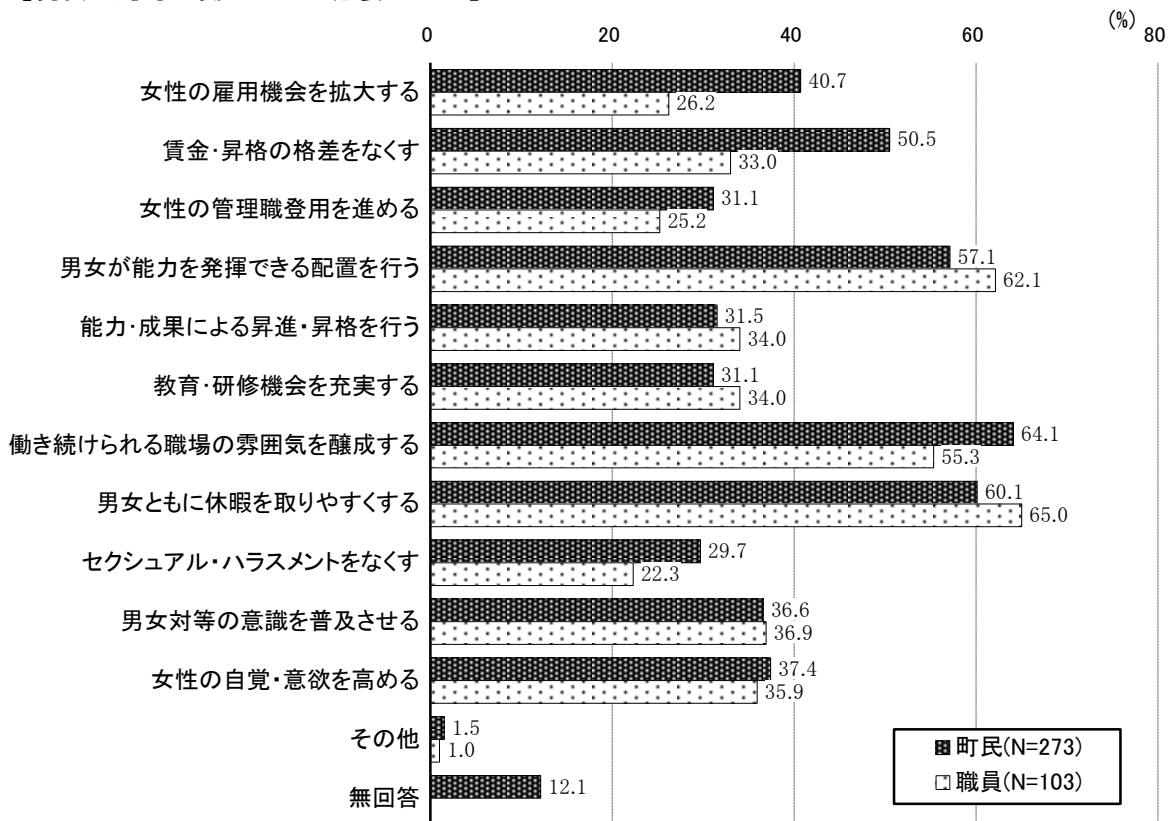
第1位「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成する」(64.1%)、「男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする」(60.1%)、「男女ともに、能力を發揮できる配置を行う」(57.1%)、が上位の3項目である。

職員においても、この3項目が上位であるが、第1位、第2位、第3位とも順が町民と異なっている。

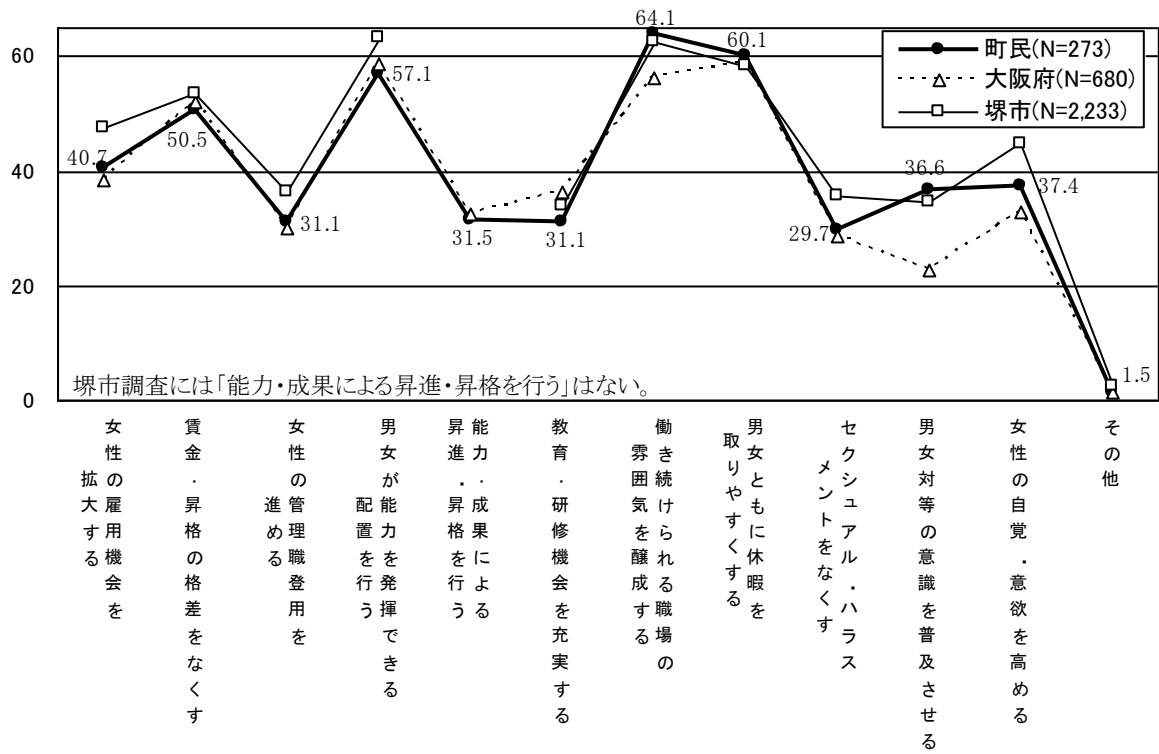
大阪府・堺市との比較では「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成する」「男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする」「職場において男女が対等である」という意識を普及させる」などにおいて、田尻町がやや高い。

性・年代別には、女性 20・30 歳代で「結婚や出産にかかわらず働き続けられる職場の雰囲気醸成する」「男女ともに育児・介護休業など休暇を取りやすいようにする」が80%を超えており、高い。女性 40・50 歳代でもこの2項目がともに70%強の同割合で第1位になっており、これに「男女ともに、能力を發揮できる配置を行う」が続いている。

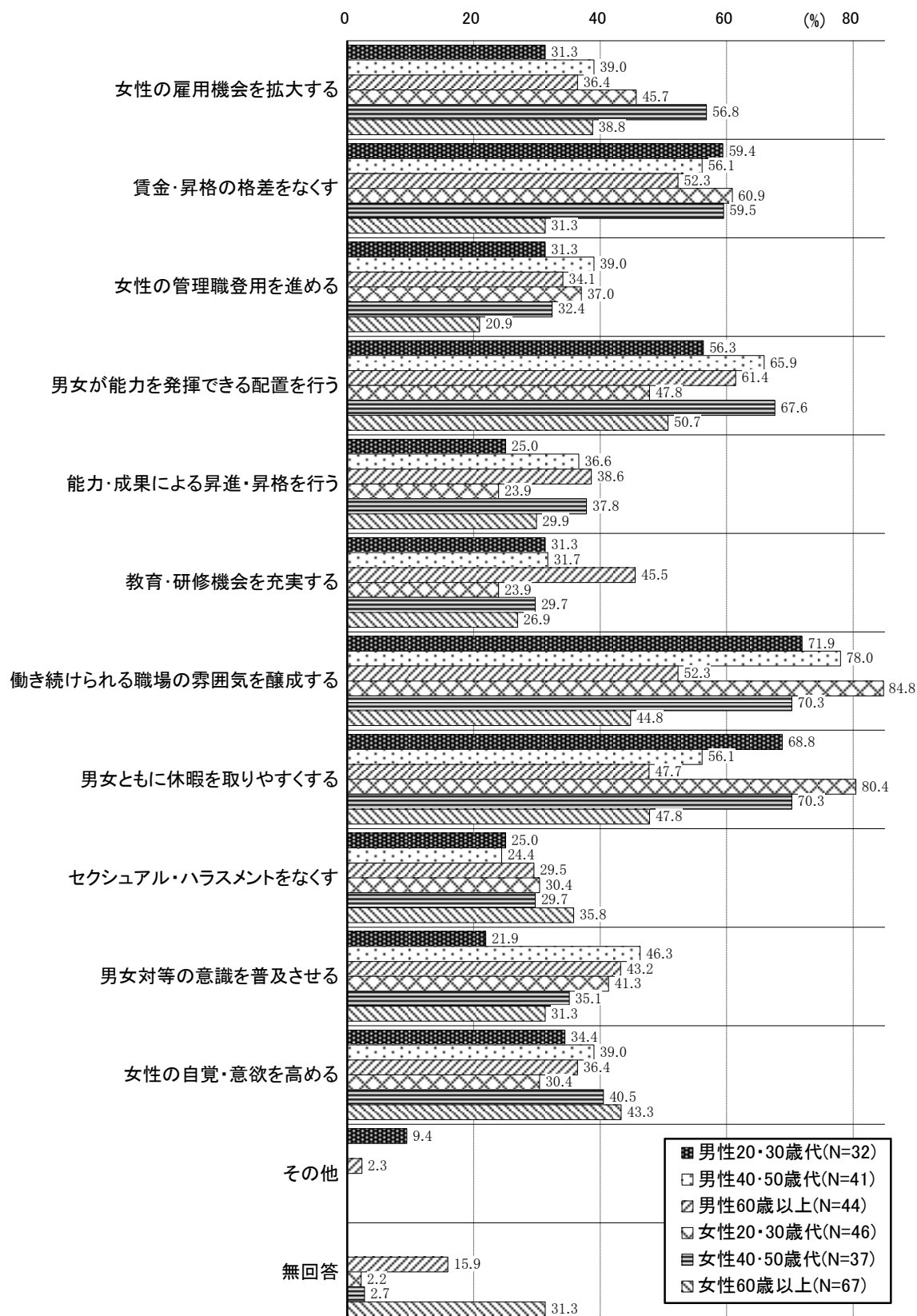
【男女が対等に働くために必要なこと】



【男女が対等に働くために必要なこと】



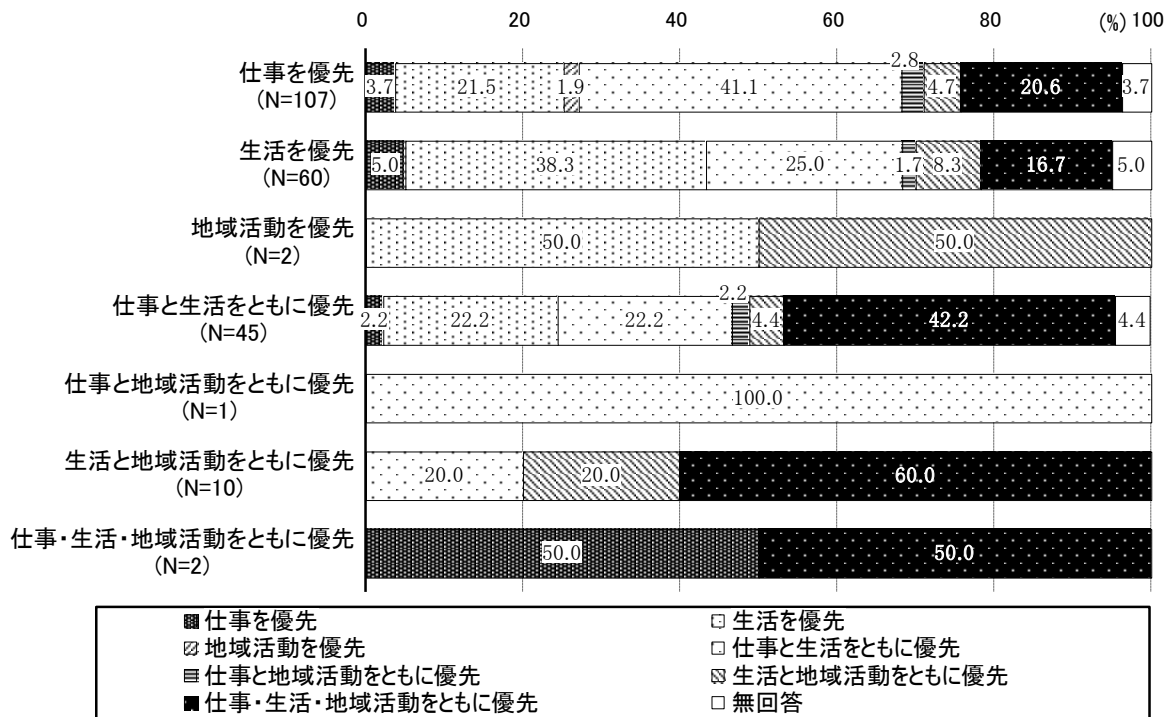
【男女が対等に働くために必要なこと】



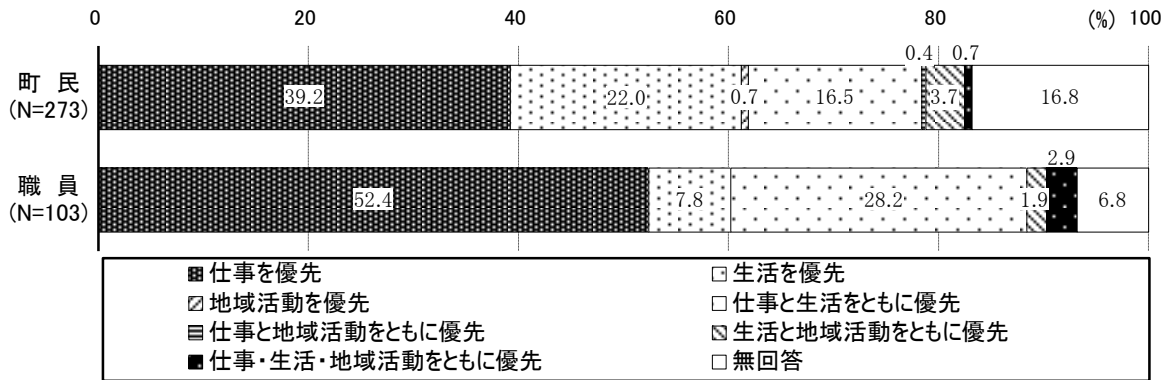
**問 19** あなたの生活について、現実と理想はどれにあてはまりますか。  
 [「(1) 現実は」「(2) 理想は」の欄に、それぞれ○を1つ記入してください]

現実で多いのは「仕事を優先」(N=107)、「家庭生活や個人の生活を優先」(N=60)、「仕事と家庭生活や個人の生活をともに優先」(N=45)が多い。このうち「仕事を優先」の回答者の理想は「仕事と家庭生活や個人の生活をともに優先」が最も多い。「家庭生活や個人の生活を優先」の回答者の理想は、同じ「生活を優先」が最も多い。現実「仕事と家庭生活や個人の生活をともに優先」している回答者の多くは「仕事と家庭生活や個人の生活地域活動をともに優先」を理想と考えている。

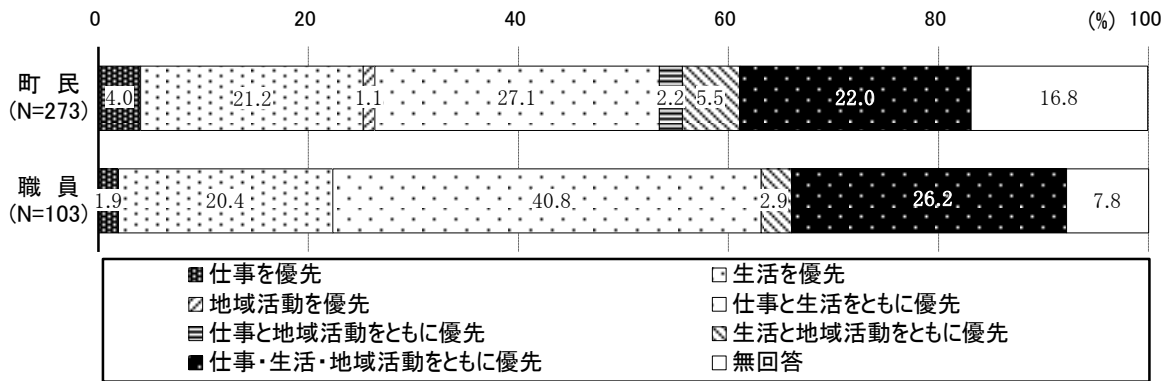
【生活の現実と理想】（町民. 縦軸が現実）



【生活の重点についての現実】



【生活の重点についての理想】



## 地域活動への参画・防災について

問 20 あなたは現在、次にあげる活動をしていますか(趣味などは除きます)。また、今後したいと思いますか。〔(1)～(5)それぞれに、○は1つ〕

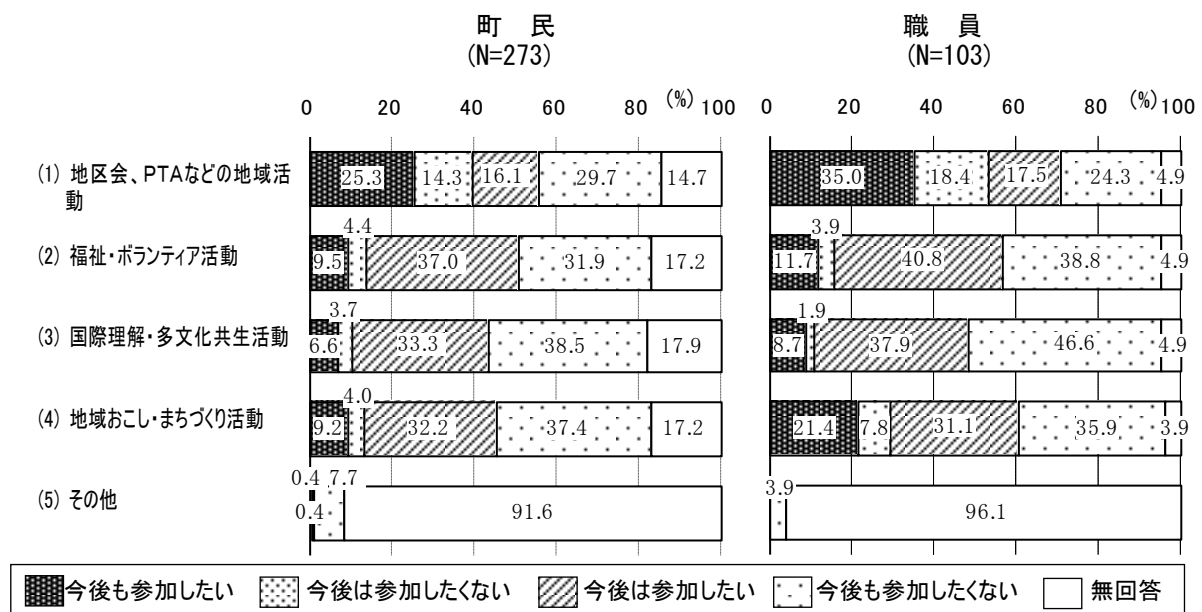
全体的に「今後も参加したくない」が多い。「今後も参加したい」とするのは、(1)地区会、婦人会、長友会、PTA、子ども会、防災・防犯などの地域活動、である。「今後は参加したい」については、(2)子育て、高齢者や障害者への支援などの福祉・ボランティア活動、の割合が37.0%と最も高いが、(3)国際理解・多文化共生を深めるような活動、(4)地域おこしやまちづくりに関する活動、も30%以上である。

職員については「今後も参加したい」とする割合が町民より高いが、「今後も参加したくない」が上回る項目もある。

性・年代別にみると、女性20・30歳代と女性40・50歳代で「今後は参加したい」とする割合が高い項目が多い。男性20・30歳代においても、(3)国際理解・多文化共生を深めるような活動、や(4)地域おこしやまちづくりに関する活動、では「今後は参加したい」とする割合が高い。

居住地区別では、特に大きな差はみられない。

### 【地域活動への参加状況・意向】



町民、性・年代別

単位：%

(1) 地区会、PTA などの地域活動

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
今後も参加したい	25.0	19.5	22.7	26.1	43.2	20.9
今後は参加したくない	6.3	14.6	13.6	4.3	37.8	13.4
今後は参加したい	25.0	22.0	4.5	34.8	8.1	9.0
今後も参加したくない	43.8	43.9	36.4	32.6	5.4	20.9
無回答	0.0	0.0	22.7	2.2	5.4	35.8

(2) 福祉・ボランティア活動

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
今後も参加したい	3.1	9.8	9.1	13.0	13.5	9.0
今後は参加したくない	6.3	4.9	2.3	2.2	10.8	3.0
今後は参加したい	46.9	34.1	18.2	54.3	59.5	23.9
今後も参加したくない	43.8	51.2	38.6	28.3	13.5	22.4
無回答	0.0	0.0	31.8	2.2	2.7	41.8

(3) 国際理解・多文化共生活動

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
今後も参加したい	0.0	7.3	2.3	8.7	10.8	9.0
今後は参加したくない	0.0	4.9	6.8	0.0	10.8	1.5
今後は参加したい	56.3	34.1	13.6	47.8	48.6	17.9
今後も参加したくない	43.8	51.2	45.5	41.3	27.0	28.4
無回答	0.0	2.4	31.8	2.2	2.7	43.3

(4) 地域おこし・まちづくり活動

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
今後も参加したい	15.6	9.8	11.4	6.5	5.4	9.0
今後は参加したくない	3.1	2.4	4.5	0.0	13.5	3.0
今後は参加したい	43.8	34.1	18.2	50.0	45.9	16.4
今後も参加したくない	37.5	51.2	40.9	41.3	32.4	26.9
無回答	0.0	2.4	25.0	2.2	2.7	44.8

(5) その他

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
今後も参加したい	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
今後は参加したくない	0.0	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0
今後は参加したい	0.0	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0
今後も参加したくない	12.5	9.8	6.8	8.7	0.0	7.5
無回答	87.5	87.8	93.2	91.3	97.3	92.5

**町民、居住地区別**

単位：%

**(1) 地区会、PTA などの地域活動**

	吉 見	嘉祥寺	りんくうポート北
今後も参加したい	26.0	24.4	25.0
今後は参加したくない	11.4	20.9	11.7
今後は参加したい	17.9	11.6	20.0
今後も参加したくない	23.6	36.0	33.3
無回答	21.1	7.0	10.0

**(2) 福祉・ボランティア活動**

	吉 見	嘉祥寺	りんくうポート北
今後も参加したい	8.1	10.5	11.7
今後は参加したくない	2.4	5.8	6.7
今後は参加したい	41.5	33.7	33.3
今後も参加したくない	23.6	39.5	38.3
無回答	24.4	10.5	10.0

**(3) 国際理解・多文化共生活動**

	吉 見	嘉祥寺	りんくうポート北
今後も参加したい	4.9	5.8	11.7
今後は参加したくない	3.3	3.5	5.0
今後は参加したい	33.3	33.7	33.3
今後も参加したくない	32.5	45.3	41.7
無回答	26.0	11.6	8.3

**(4) 地域おこし・まちづくり活動**

	吉 見	嘉祥寺	りんくうポート北
今後も参加したい	10.6	7.0	10.0
今後は参加したくない	1.6	7.0	5.0
今後は参加したい	34.1	29.1	33.3
今後も参加したくない	29.3	45.3	43.3
無回答	24.4	11.6	8.3

**(5) その他**

	吉 見	嘉祥寺	りんくうポート北
今後も参加したい	0.0	0.0	0.0
今後は参加したくない	0.0	1.2	0.0
今後は参加したい	0.8	0.0	0.0
今後も参加したくない	5.7	12.8	5.0
無回答	93.5	86.0	95.0



問 20-1

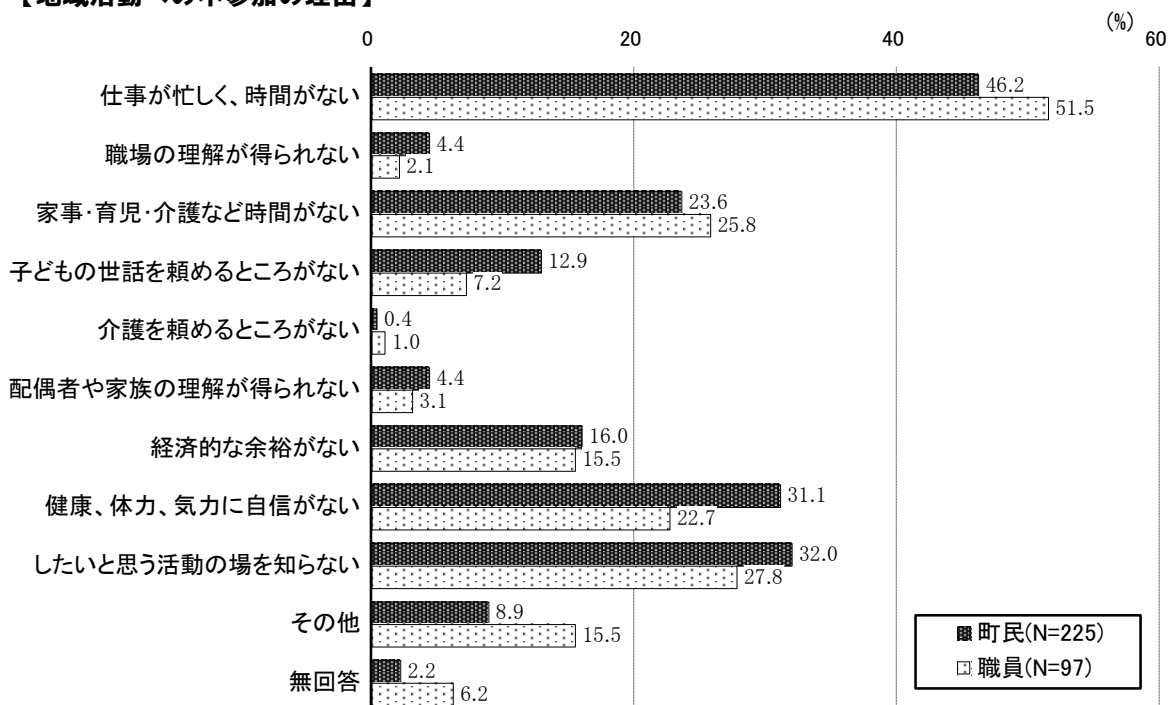
問 20 の(1)～(5)で、ひとつでも2・3・4に○をされた方へ

あなたが地域での活動に参加したことがない、あるいは今後参加したくないのはなぜですか。[あてはまるすべてに○]

不参加の理由は「仕事が忙しく、時間がない」「したいと思う活動の場を知らない」「健康、体力、気力に自信がない」などが上位である。

職員では、「仕事が忙しく、時間がない」の割合が町民よりも高く、第3位が「家事・育児・介護など時間がない」となっている。

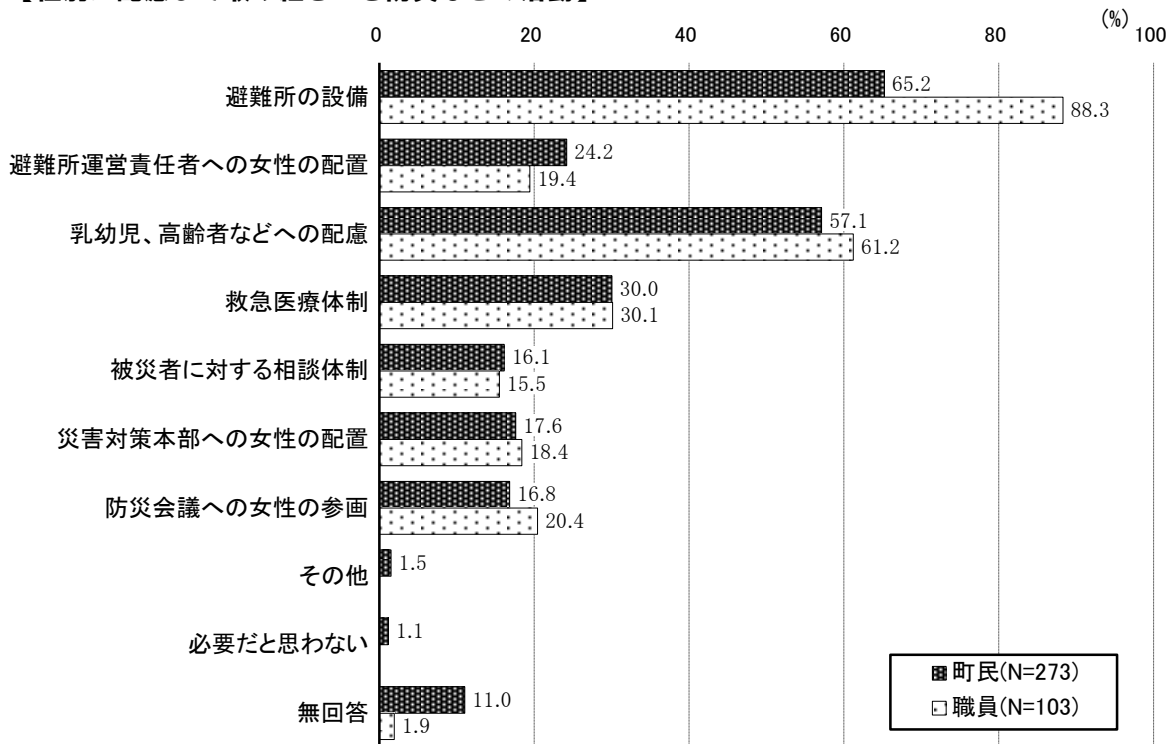
【地域活動への不参加の理由】



**問 21 防災や災害復興で、男女の性別に配慮して取り組む必要があると思われるものは何だと思えますか。[○は3つまで]**

「避難所の設備」「乳幼児、高齢者、障害者、病人、女性にとって必要なものなどを把握し、備えたり、支給するときに配慮すること」「災害時の救急医療体制」が第1位～第3位である。職員も上位3項目は同じであるが、第1位の「避難所の設備」の割合が町民より23ポイント高くなっている。

**【性別に配慮して取り組むべき防災などの活動】**



## 男女間の暴力について

問 22 女性の人権が尊重されていないと感じるのは、どのようなことについてですか。  
 [あてはまるすべてに○]

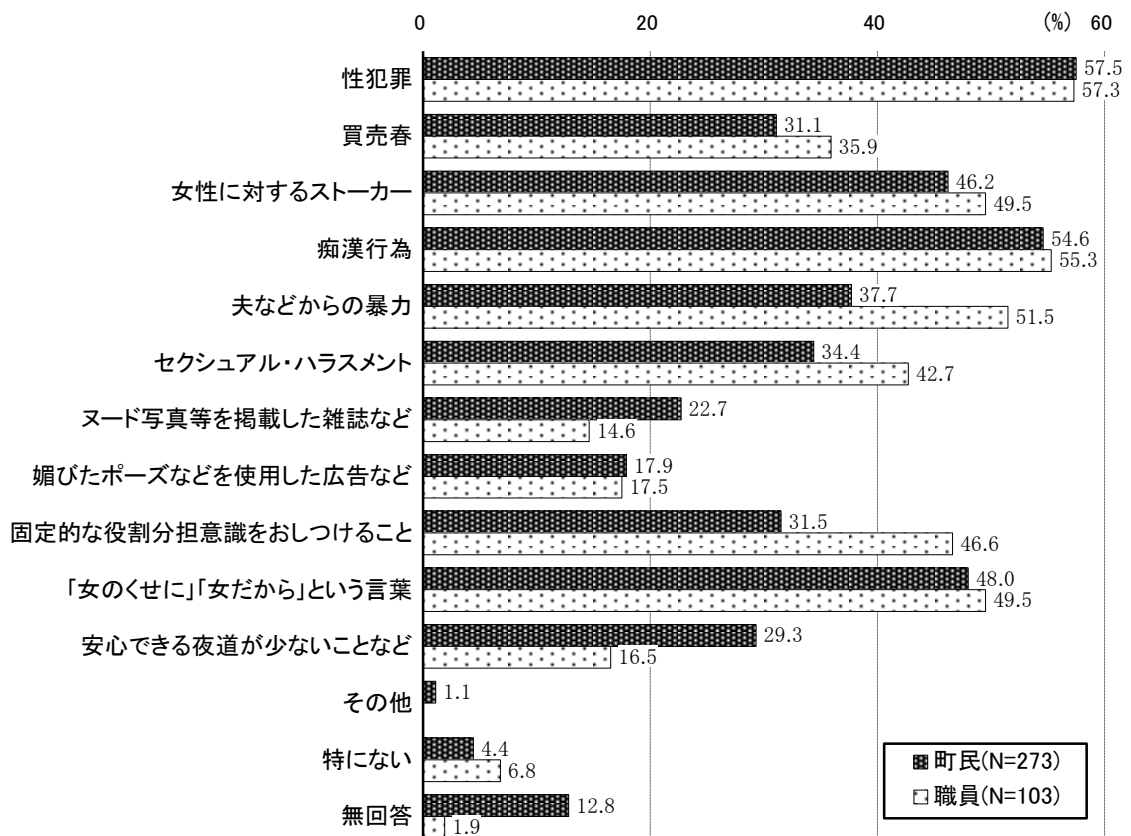
「性犯罪」(57.5%)と「痴漢行為」(54.6%)が過半数にのぼる。第3位は「『女のくせに』『女だから』という言葉」(48.0%)である。

職員では、第1位と第2位は町民と同じであるが、第3位は「夫やパートナー、恋人など親しい人からの暴力」となっている。

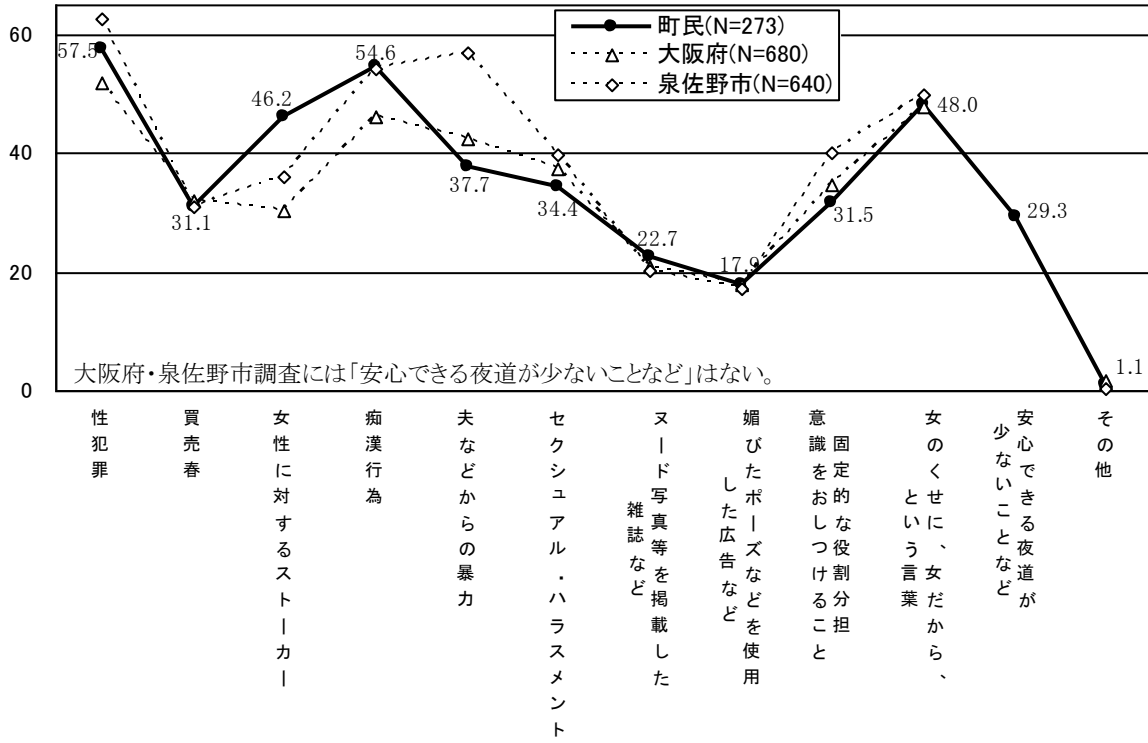
大阪府・泉佐野市との比較では「女性に対するストーカー」が最も高く、「夫やパートナー、恋人など親しい人からの暴力」「職場や学校等におけるセクシュアル・ハラスメント」「男女の固定的な役割分担意識を押しつけること」などは最も低くなっている。

性・年代別には、「性犯罪」をあげる割合は女性 40・50 歳代で 86.5%と大変高く、「痴漢行為」や「『女のくせに』『女だから』という言葉」については女性 20・30 歳代で高くなっている。

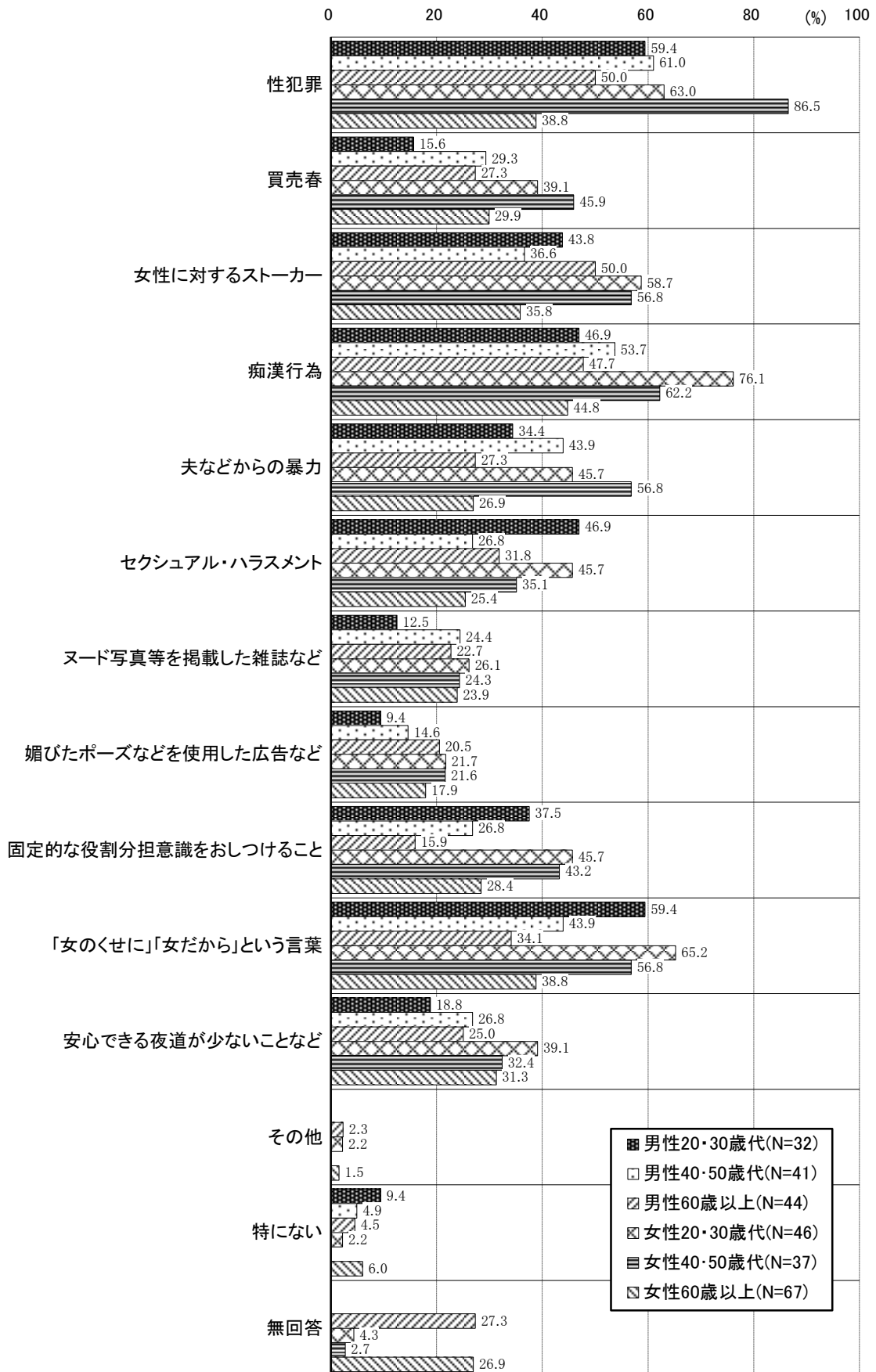
【女性の人権が配慮されていないと感じること】



【女性の人権が配慮されていないと感じること】



【女性の人権が配慮されていないと感じること】

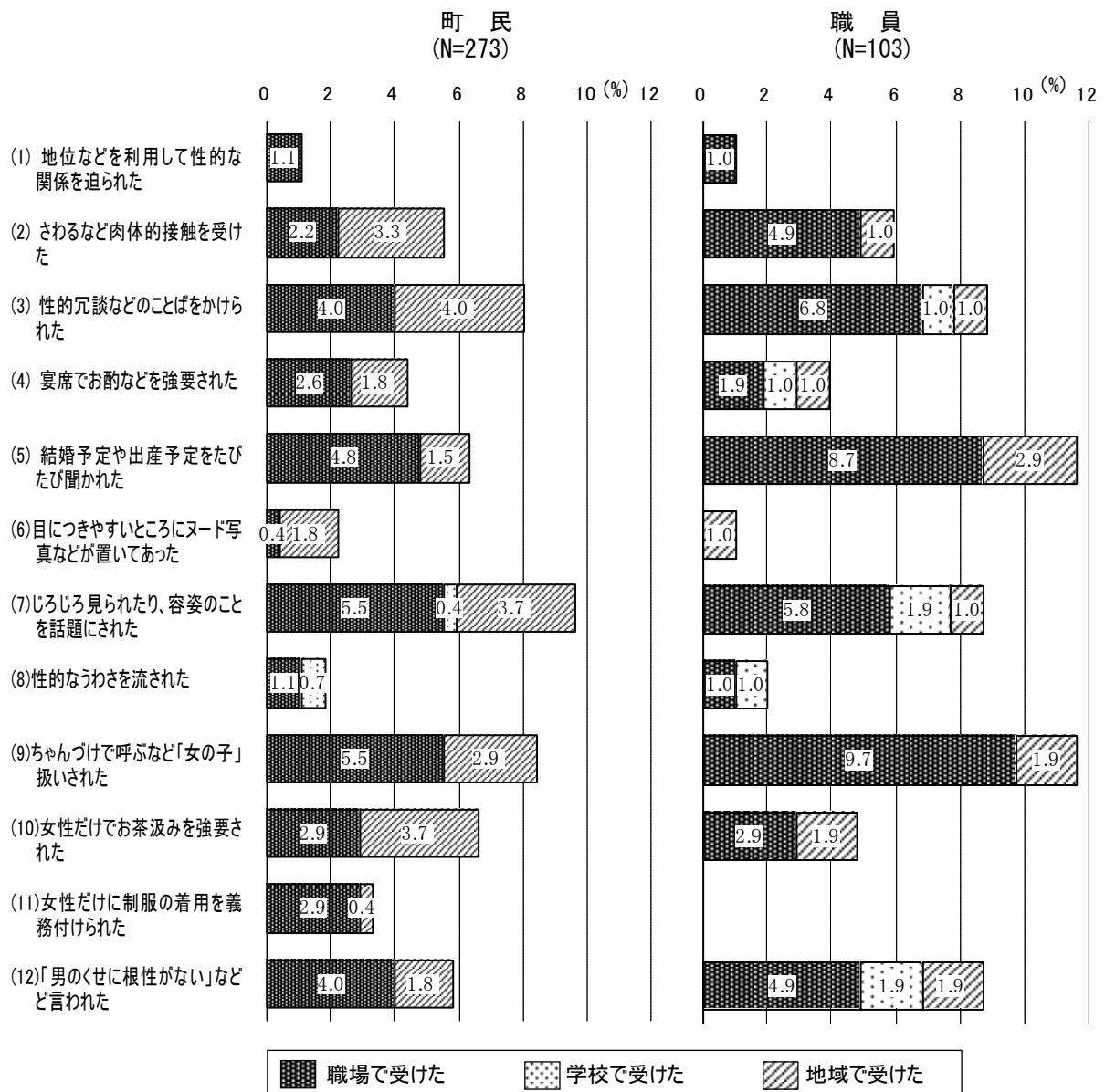


**問 23** あなたは、最近5年の間に、職場・学校・地域など身近なところで次の行為を受けたことがありますか。〔(1)～(12)それぞれに、あてはまるすべてに○〕

受けたことのある割合が高いのは、(7)じろじろ見られたり、容姿のことを話題にされた、(9)女性を「〇〇ちゃん」づけで呼んだり、「女の子」扱いされた、(3)性的冗談や質問、ひやかしなどのことばをかけられた、などで、職場・学校・地域を合計すると10～8%程度である。

職員もほぼ同様の傾向であるが、全体的に町民よりも合計割合が高いのは職員の場合は全員職場をもっているからであると考えられる。

**【受けたことのある行為】**



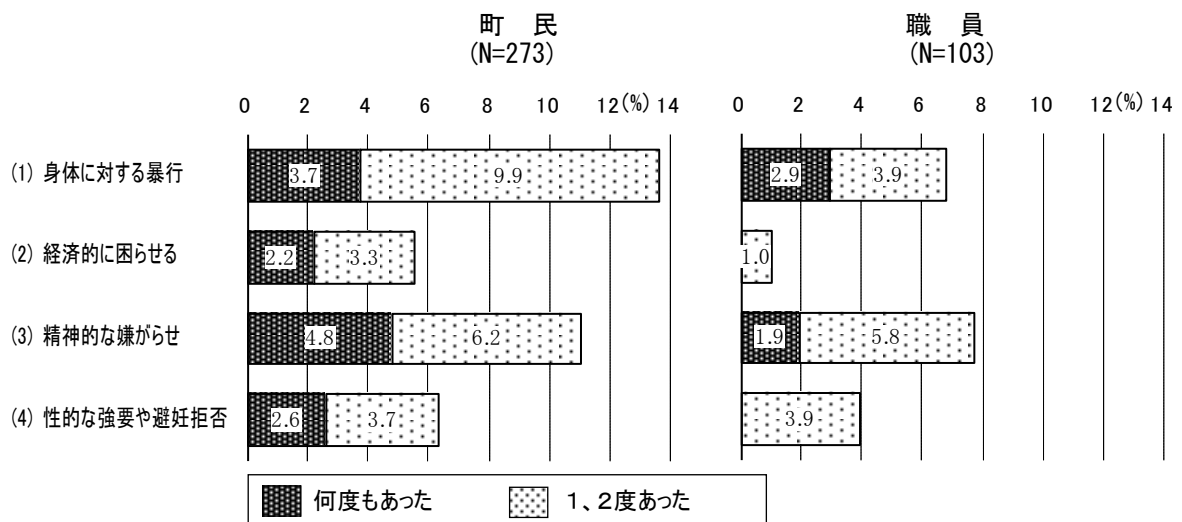
**問 24** あなたは、これまでに配偶者・パートナーや交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。[A.配偶者・パートナーから、B.交際相手から、それぞれの項目(1)～(4)に、○は1つ]

「何度もあった」とする割合と「1、2度あった」とする割合の合計値では、相手が配偶者・交際相手ともに、(1)なぐる、ける、物を投げる、突き飛ばすなどの身体に対する暴行、がもっとも高く、これに(3)人格を否定するようなことを言う、交友関係を細かく監視する、なぐるふりをして脅す、長時間無視するなどの精神的な嫌がらせ、が次ぐ。相手が配偶者の場合、その割合は(1)身体に対する暴行、は13.6%、(3)精神的な嫌がらせ、は11.0%にのぼる。

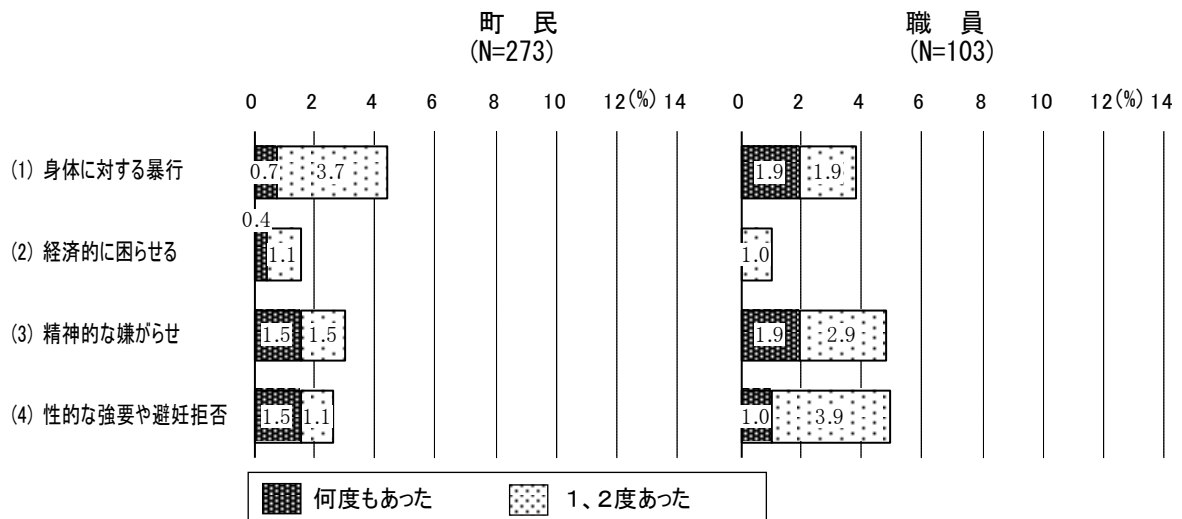
職員においては、全体的に町民よりも低いが、項目の順序はほぼ同じ傾向である。

性・年代別にみると、配偶者相手で「何度もあった」とする割合は、男性20・30歳代で女性20・30歳代と同程度かこれを上回る場合がある。

**【配偶者からのDV】**

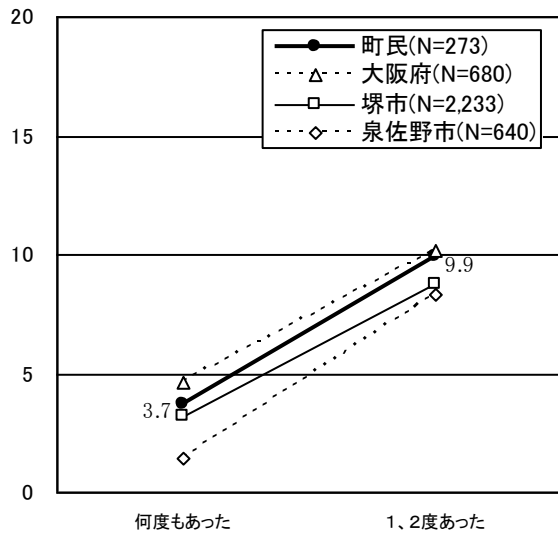


**【交際相手からのDV】**



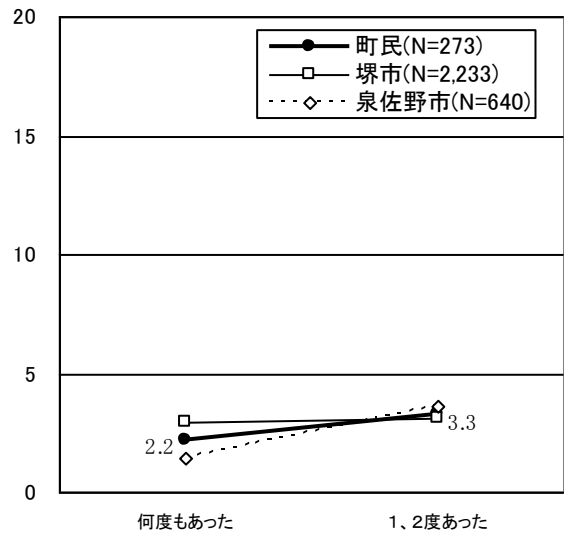
【配偶者からのDV】

(1) 身体に対する暴行



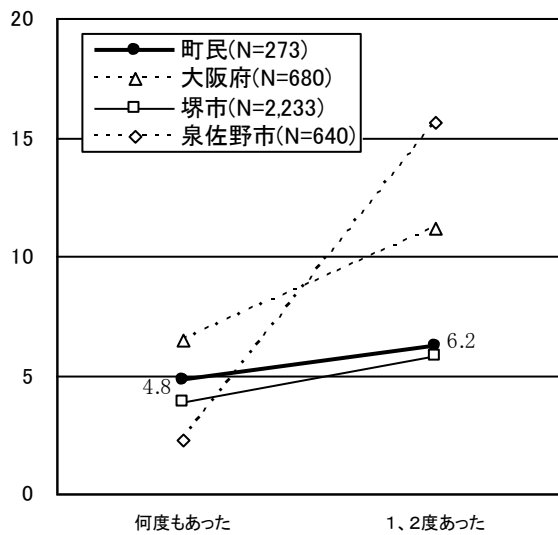
【配偶者からのDV】

(2) 経済的に困らせる



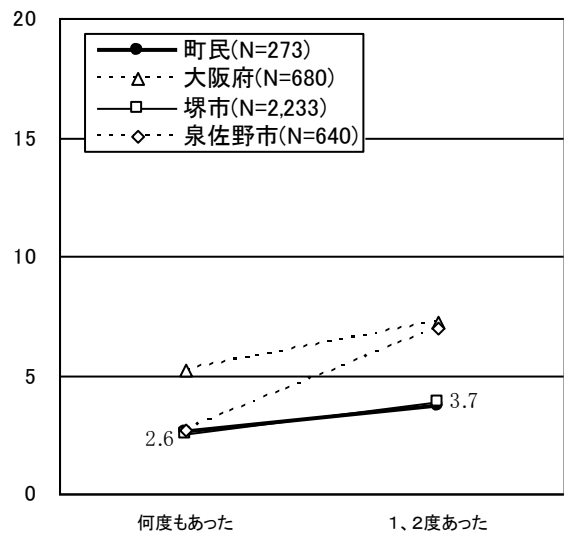
【配偶者からのDV】

(3) 精神的な嫌がらせ



【配偶者からのDV】

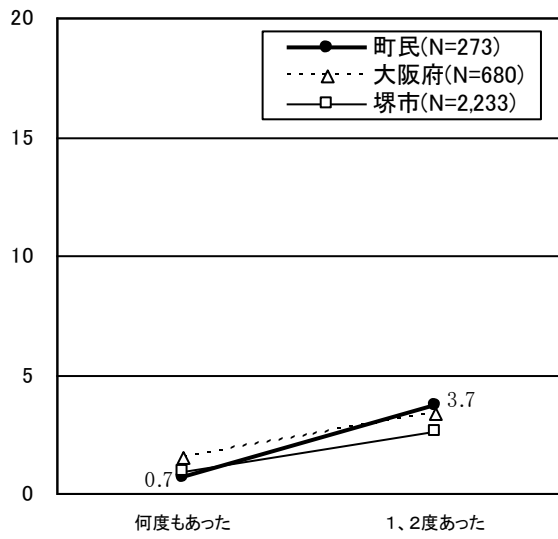
(4) 性的な強要や避妊拒否





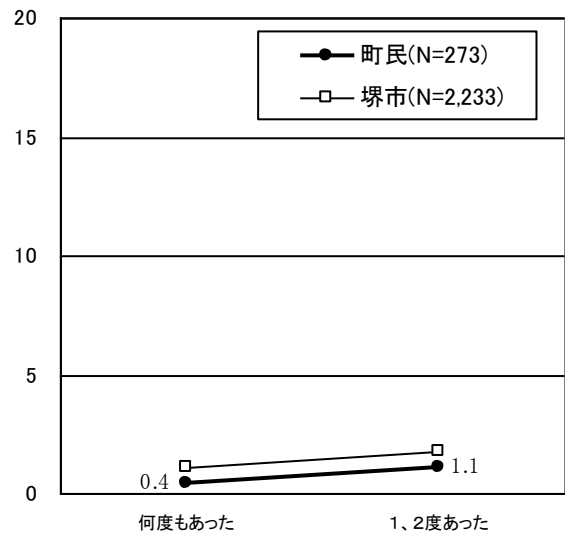
【交際相手からのDV】

(1) 身体に対する暴行



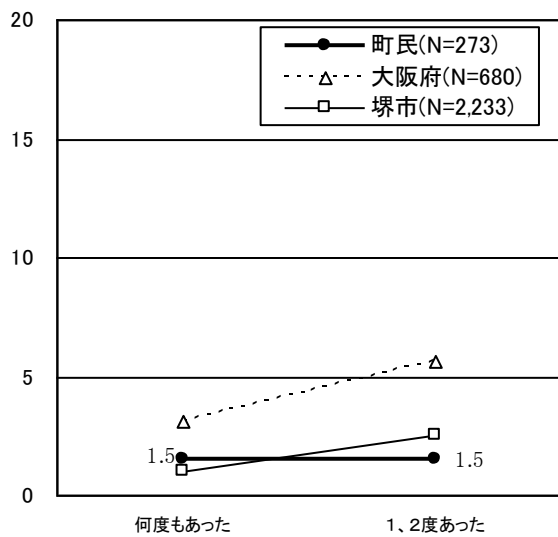
【交際相手からのDV】

(2) 経済的に困らせる



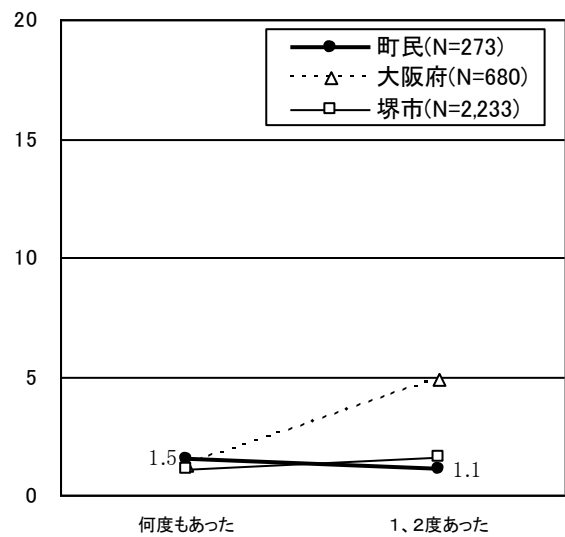
【交際相手からのDV】

(3) 精神的な嫌がらせ

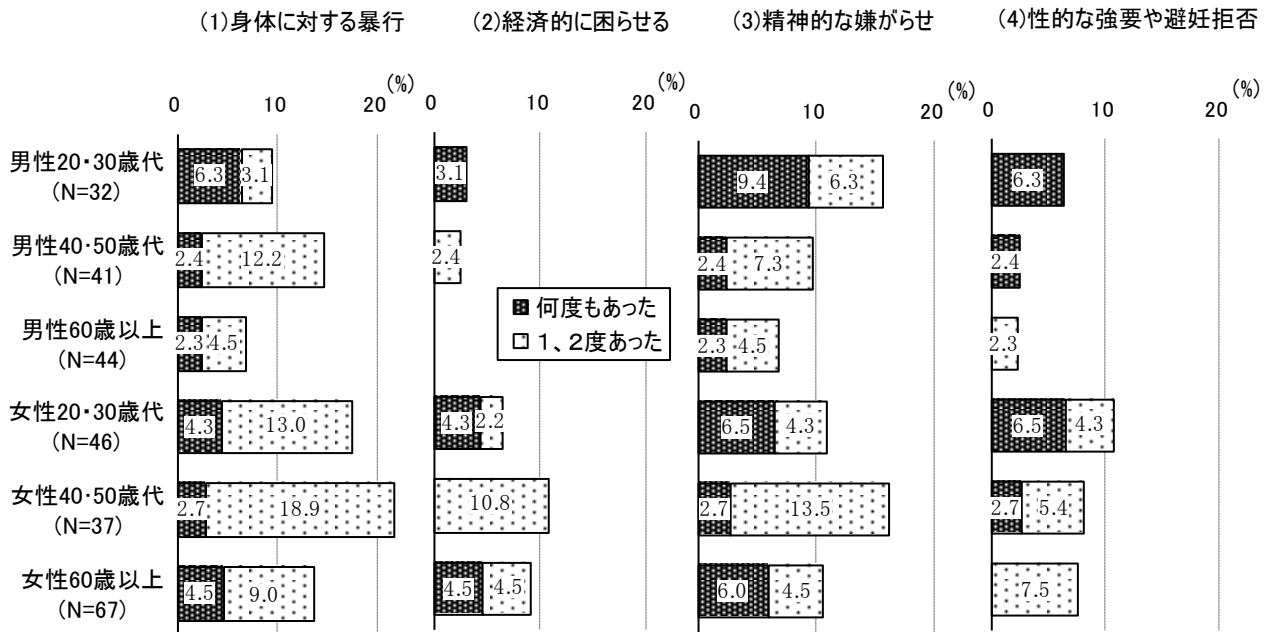


【交際相手からのDV】

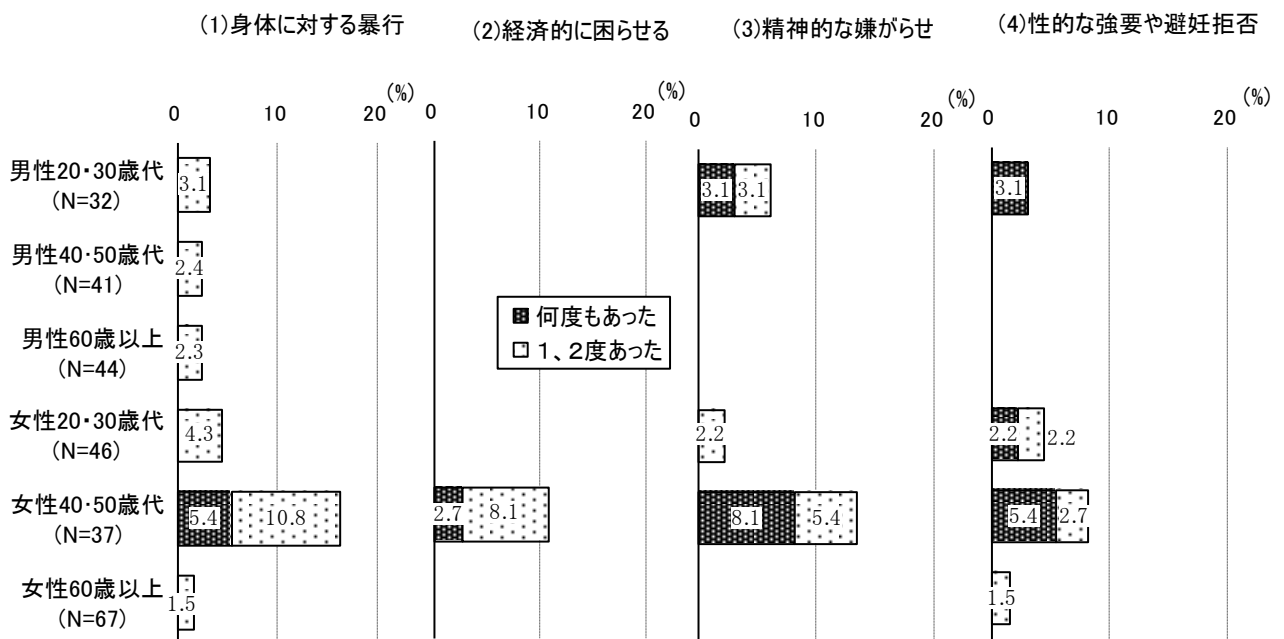
(4) 性的な強要や避妊拒否



### 配偶者からのDV（町民、性・年代別）



### 交際相手からのDV（町民、性・年代別）



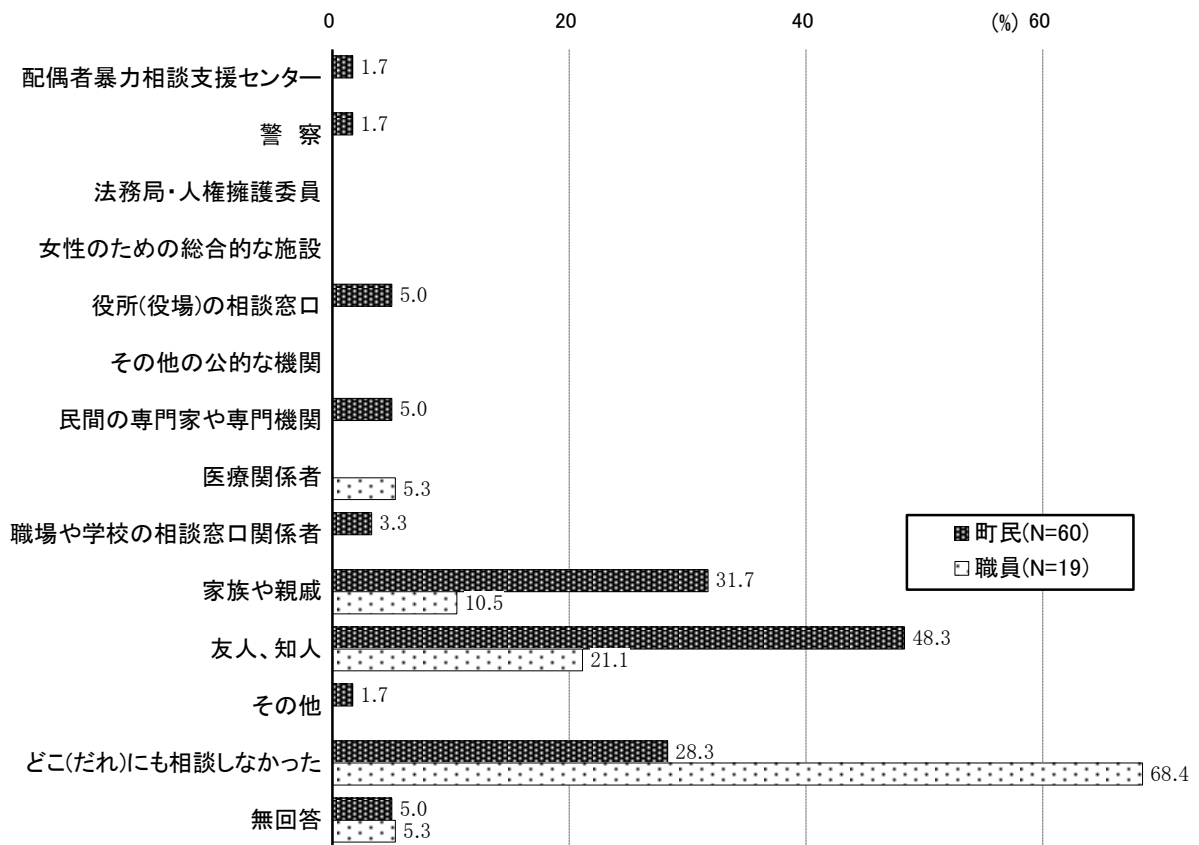
**問 24-1** 問 24 の(1)～(4)で、ひとつでも1・2に○をされた方へ  
**あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。**  
**【あてはまるすべてに○】**

DVを受けた場合の相談先などについては「友人、知人」が最も多く「家族や親戚」がこれに次ぐ。これに「どこ（だれ）にも相談しなかった」が続く。

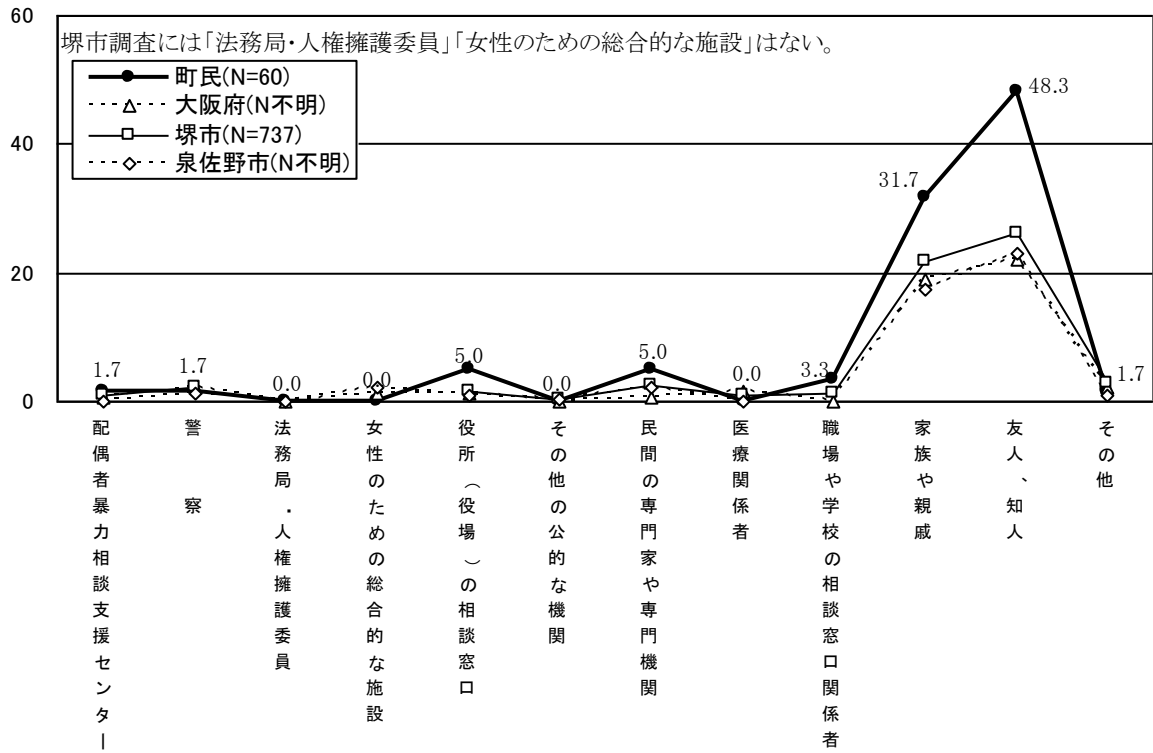
職員では「どこ（だれ）にも相談しなかった」とする割合が最も高い。

大阪府や他市の調査においてもとの比較では「友人、知人」「家族や親戚」が第1位と第2位であるが、田尻町の場合はその割合がいずれも最も高くなっている。

**【打ち明けたり相談した先】**



【打ち明けたり相談した先】

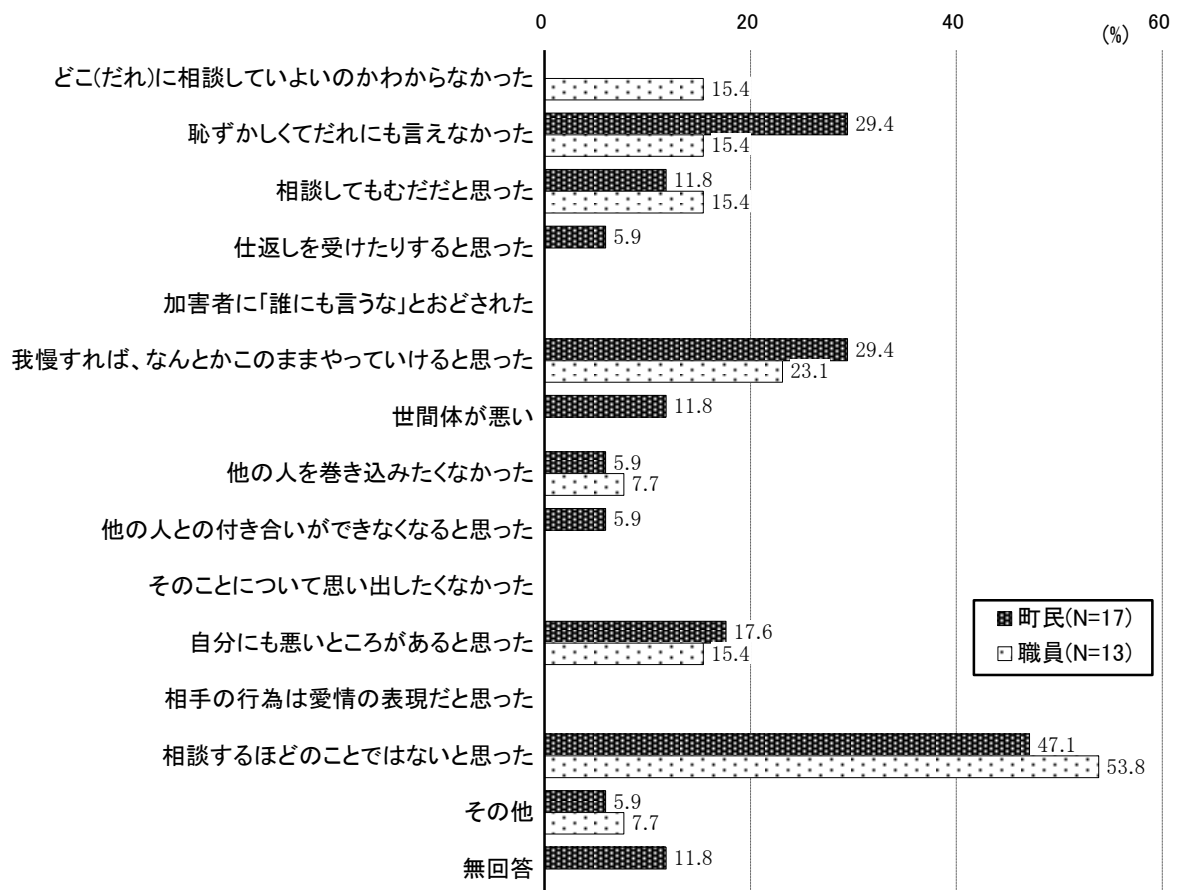


**問 24-2** 問 24-1 で「13. どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」と答えた方へ  
**あなたが、どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)のは、なぜですか。**  
**【あてはまるすべてに○】**

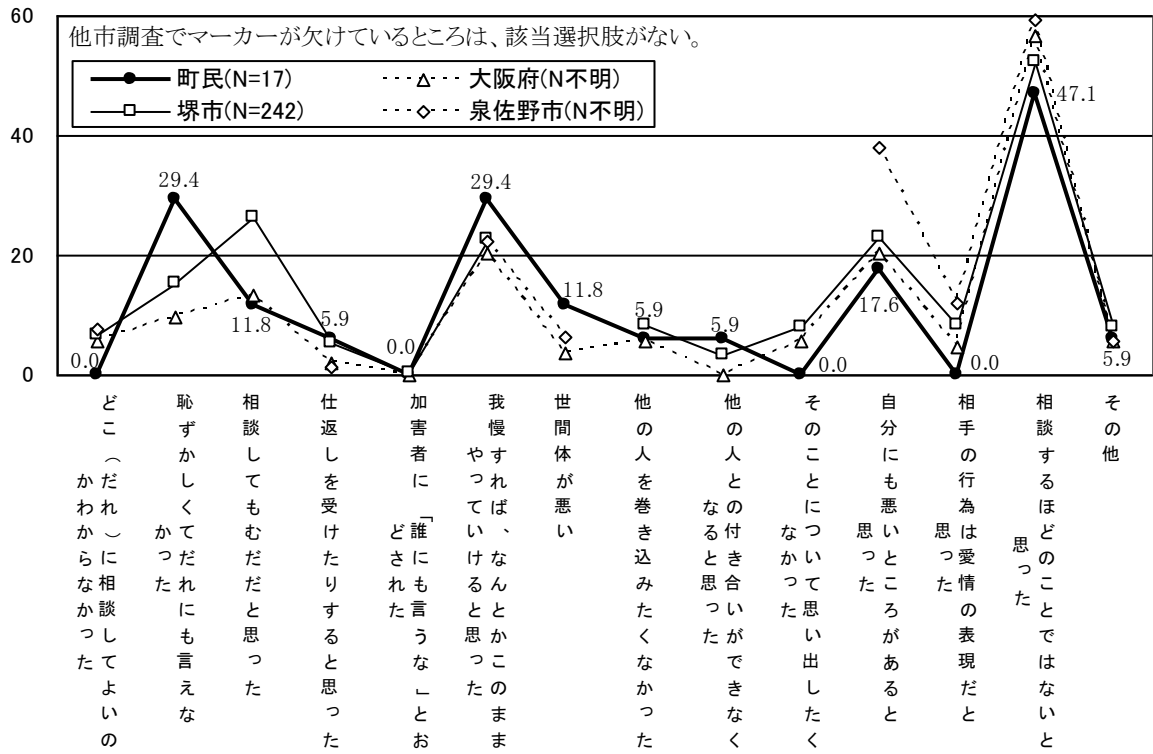
約半数が「相談するほどのことではないと思った」をあげており、これに「恥ずかしくてだれにも言えなかった」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が次いでいる。

大阪府や他市との比較では、「恥ずかしくてだれにも言えなかった」「自分さえ我慢すれば、なんとかこのままやっていけると思った」が最も高くなっている。また「世間体が悪い」も高い。

**【相談しなかった(できなかった)理由】**



【相談しなかった(できなかった)理由】



**問 25** 配偶者等からの暴力、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪など男女間の暴力をなくすために、もっと取り組みを進める必要があるのはどのようなことですか。  
 [あてはまるすべてに○]

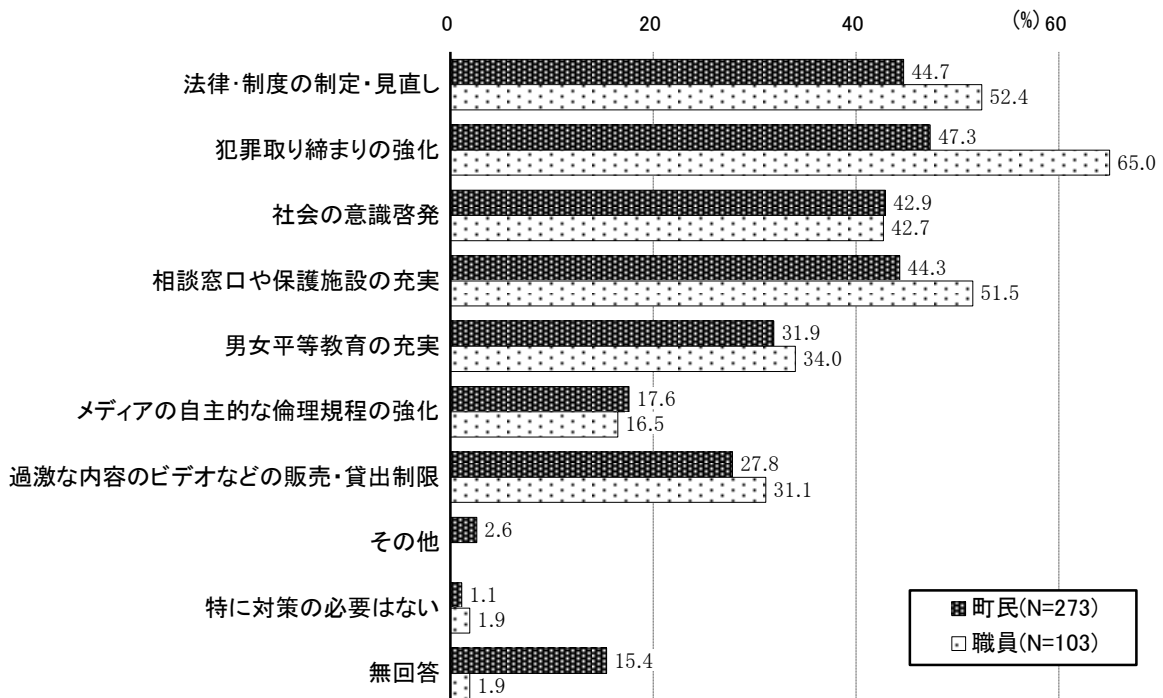
「犯罪の取り締まりを強化する」(47.3%)、「法律・制度の制定や見直しを行う」(44.7%)、「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」(44.3%)、「女性に対する暴力を許さない社会づくりに向けて意識啓発をする」(42.9%)がほぼ同じ割合で上位を占める。

職員では「犯罪の取り締まりを強化する」が65.0%で町民を18ポイント上回る。

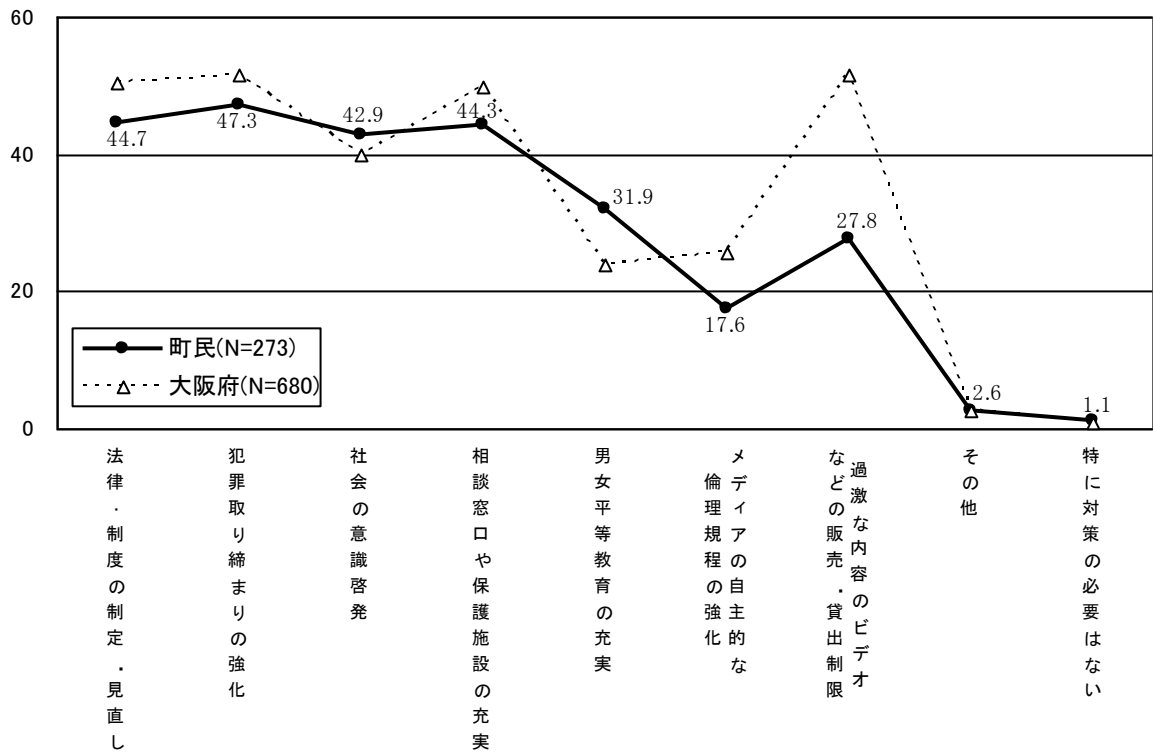
大阪府との比較では、全体で第5位の「家庭や学校において男女平等についての教育を充実させる」が高い。また「過激な内容のビデオソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する」「メディアが自主的に倫理規定を強化する」などが低い。

性・年代別にみると「犯罪の取り締まりを強化する」については女性20・30歳代、次いで男性20・30歳代で支持が高い。「法律・制度の制定や見直しを行う」については男性40・50歳代、次いで男性20・30歳代で支持が高い。「被害者のための相談窓口や保護施設を充実させる」では女性40・50歳代、女性20・30歳代が高い。

**【配偶者暴力をなくすために必要なこと】**

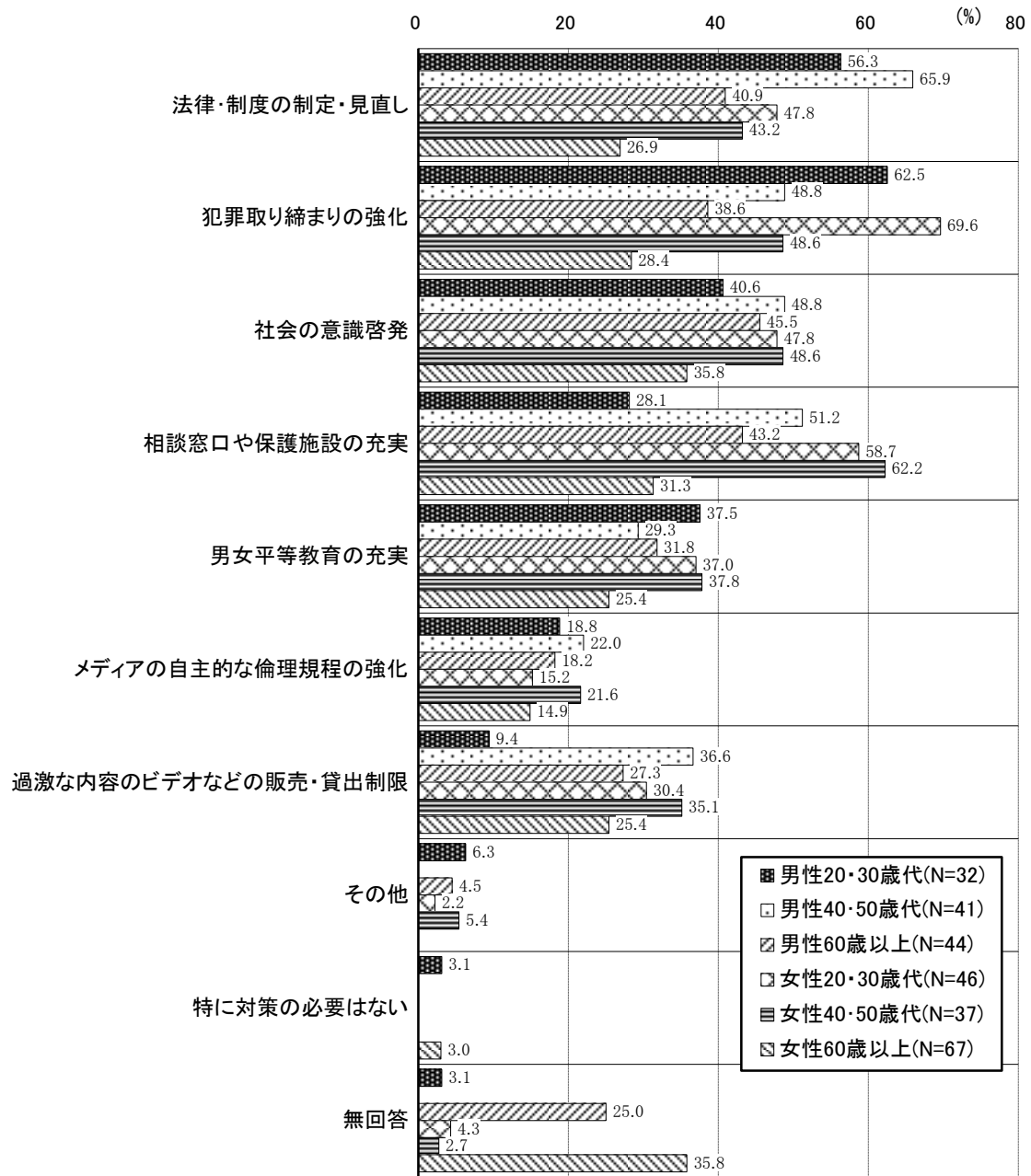


【配偶者暴力などをなくするために必要なこと】





【配偶者暴力をなくすために必要なこと】



## 男女共同参画社会の実現に向けて

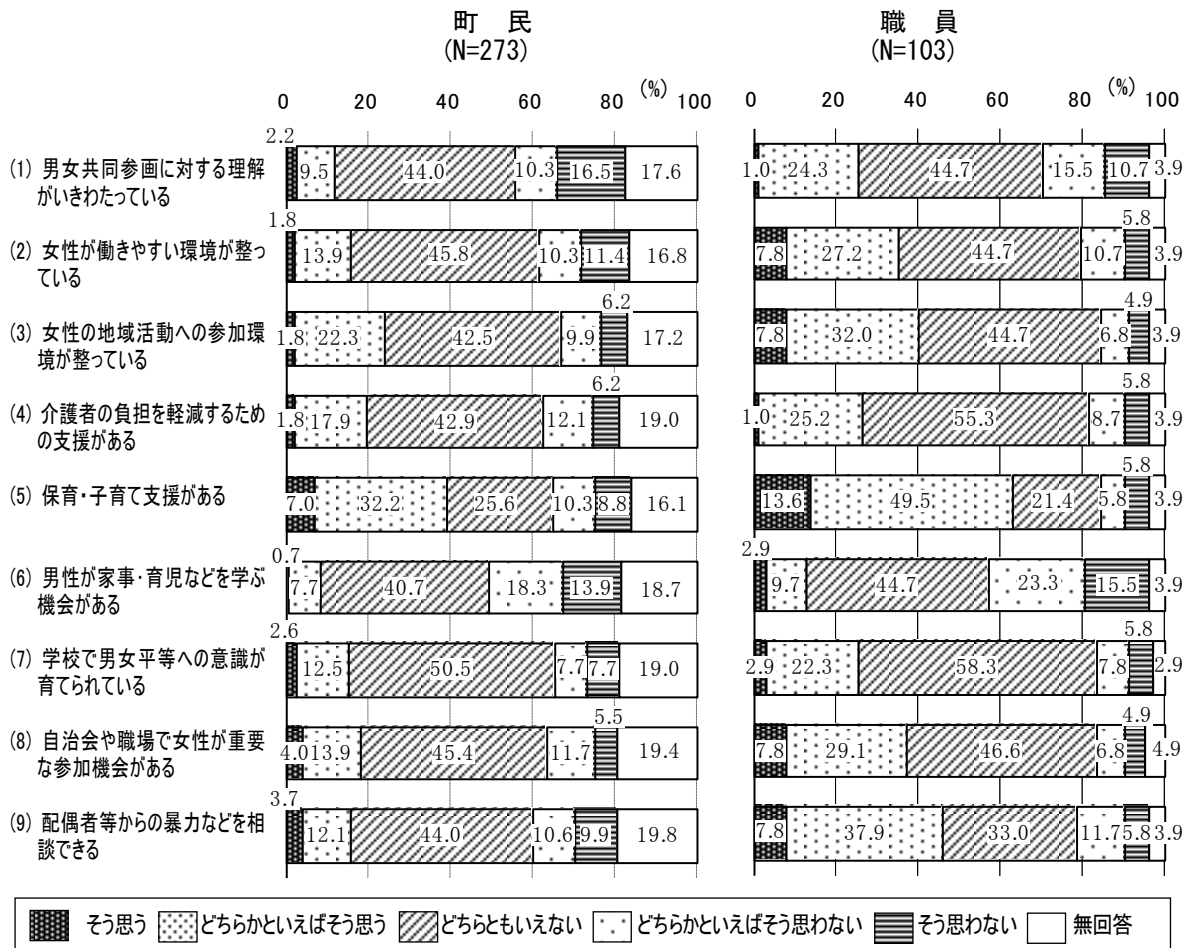
問 26 次にあげることについて田尻町ではどうでしょうか。身の回りの実感からお答えください。〔(1)～(9) それぞれに、○は1つ〕

全体的に「そう思う」よりも「そう思わない」の割合が高い。「そう思わない」が10%以上と比較的高いのは、(1)男女共同参画に対する理解がいきわたっている(16.5%)、(6)男性が家事・育児などを学ぶ機会がある(13.9%)、(2)女性が働きやすい環境が整っている(11.4%)、である。「そう思う」とする割合が最も高い項目は(5)子どもを安心して産み育てるための保育・子育て支援がある、であるが、その割合は7.0%と低い。

職員では、「そう思わない」の割合が最も高いのは(6)男性が家事・育児などを学ぶ機会がある、の15.5%であるが、全体的には町民と似たパターンである。

性・年代別には、男女の20・30歳代で「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」の割合が高い項目がいくつかあり、若い層で評価が厳しい傾向がみられる。

【男女共同参画社会と田尻町】



町民、性・年代別

単位：%

(1) 男女共同参画に対する理解がいきわたっている

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	0.0	2.4	0.0	2.2	0.0	6.0
どちらかといえばそう思う	6.3	4.9	13.6	6.5	8.1	14.9
どちらともいえない	68.8	46.3	34.1	52.2	56.8	23.9
どちらかといえばそう思わない	9.4	14.6	11.4	4.3	13.5	10.4
そう思わない	15.6	22.0	11.4	32.6	16.2	7.5
無回答	0.0	9.8	29.5	2.2	5.4	37.3

(2) 女性が働きやすい環境が整っている

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	6.3	0.0	0.0	4.3	0.0	1.5
どちらかといえばそう思う	12.5	4.9	18.2	13.0	10.8	20.9
どちらともいえない	50.0	61.0	34.1	45.7	64.9	31.3
どちらかといえばそう思わない	12.5	12.2	9.1	15.2	8.1	7.5
そう思わない	18.8	12.2	9.1	19.6	10.8	4.5
無回答	0.0	9.8	29.5	2.2	5.4	34.3

(3) 女性の地域活動への参加環境が整っている

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	6.3	0.0	0.0	2.2	2.7	1.5
どちらかといえばそう思う	25.0	14.6	18.2	23.9	32.4	22.4
どちらともいえない	56.3	51.2	38.6	43.5	37.8	35.8
どちらかといえばそう思わない	3.1	17.1	2.3	15.2	18.9	6.0
そう思わない	9.4	7.3	9.1	13.0	2.7	0.0
無回答	0.0	9.8	31.8	2.2	5.4	34.3

(4) 介護者の負担を軽減するための支援がある

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	0.0	2.4	0.0	2.2	0.0	4.5
どちらかといえばそう思う	18.8	4.9	25.0	13.0	16.2	26.9
どちらともいえない	68.8	48.8	22.7	54.3	67.6	19.4
どちらかといえばそう思わない	9.4	26.8	9.1	15.2	5.4	7.5
そう思わない	0.0	7.3	9.1	10.9	5.4	4.5
無回答	3.1	9.8	34.1	4.3	5.4	37.3

(5) 保育・子育て支援がある

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	6.3	2.4	2.3	13.0	8.1	9.0
どちらかといえばそう思う	25.0	22.0	29.5	45.7	48.6	28.4
どちらともいえない	37.5	36.6	29.5	10.9	21.6	20.9
どちらかといえばそう思わない	12.5	14.6	4.5	15.2	10.8	7.5
そう思わない	18.8	14.6	4.5	15.2	5.4	1.5
無回答	0.0	9.8	29.5	0.0	5.4	32.8

**(6) 男性が家事・育児などを学ぶ機会がある**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	0.0	0.0	0.0	2.2	0.0	1.5
どちらかといえばそう思う	9.4	7.3	9.1	8.7	5.4	7.5
どちらともいえない	56.3	43.9	40.9	37.0	45.9	31.3
どちらかといえばそう思わない	21.9	24.4	11.4	23.9	21.6	11.9
そう思わない	9.4	14.6	9.1	26.1	21.6	7.5
無回答	3.1	9.8	29.5	2.2	5.4	40.3

**(7) 学校で男女平等への意識が育てられている**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	3.1	0.0	0.0	4.3	2.7	4.5
どちらかといえばそう思う	9.4	24.4	9.1	4.3	21.6	10.4
どちらともいえない	75.0	46.3	50.0	65.2	45.9	34.3
どちらかといえばそう思わない	9.4	12.2	4.5	8.7	10.8	4.5
そう思わない	3.1	7.3	4.5	10.9	13.5	7.5
無回答	0.0	9.8	31.8	6.5	5.4	38.8

**(8) 自治会や職場で女性が重要な参加機会がある**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	12.5	2.4	2.3	4.3	5.4	1.5
どちらかといえばそう思う	9.4	9.8	20.5	6.5	21.6	14.9
どちらともいえない	65.6	51.2	34.1	58.7	54.1	26.9
どちらかといえばそう思わない	9.4	19.5	9.1	17.4	10.8	7.5
そう思わない	3.1	7.3	2.3	8.7	2.7	7.5
無回答	0.0	9.8	31.8	4.3	5.4	41.8

**(9) 配偶者等からの暴力などを相談できる**

	男性 20・30 歳代	男性 40・50 歳代	男性 60 歳以上	女性 20・30 歳代	女性 40・50 歳代	女性 60 歳以上
そう思う	9.4	2.4	2.3	4.3	2.7	3.0
どちらかといえばそう思う	6.3	7.3	6.8	26.1	21.6	7.5
どちらともいえない	65.6	48.8	36.4	50.0	54.1	26.9
どちらかといえばそう思わない	15.6	14.6	13.6	2.2	8.1	10.4
そう思わない	0.0	17.1	9.1	13.0	8.1	10.4
無回答	3.1	9.8	31.8	4.3	5.4	41.8

**問 27** 誰もが暮らしやすい男女共同参画社会を実現するために、田尻町は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。[あてはまるすべてに○]

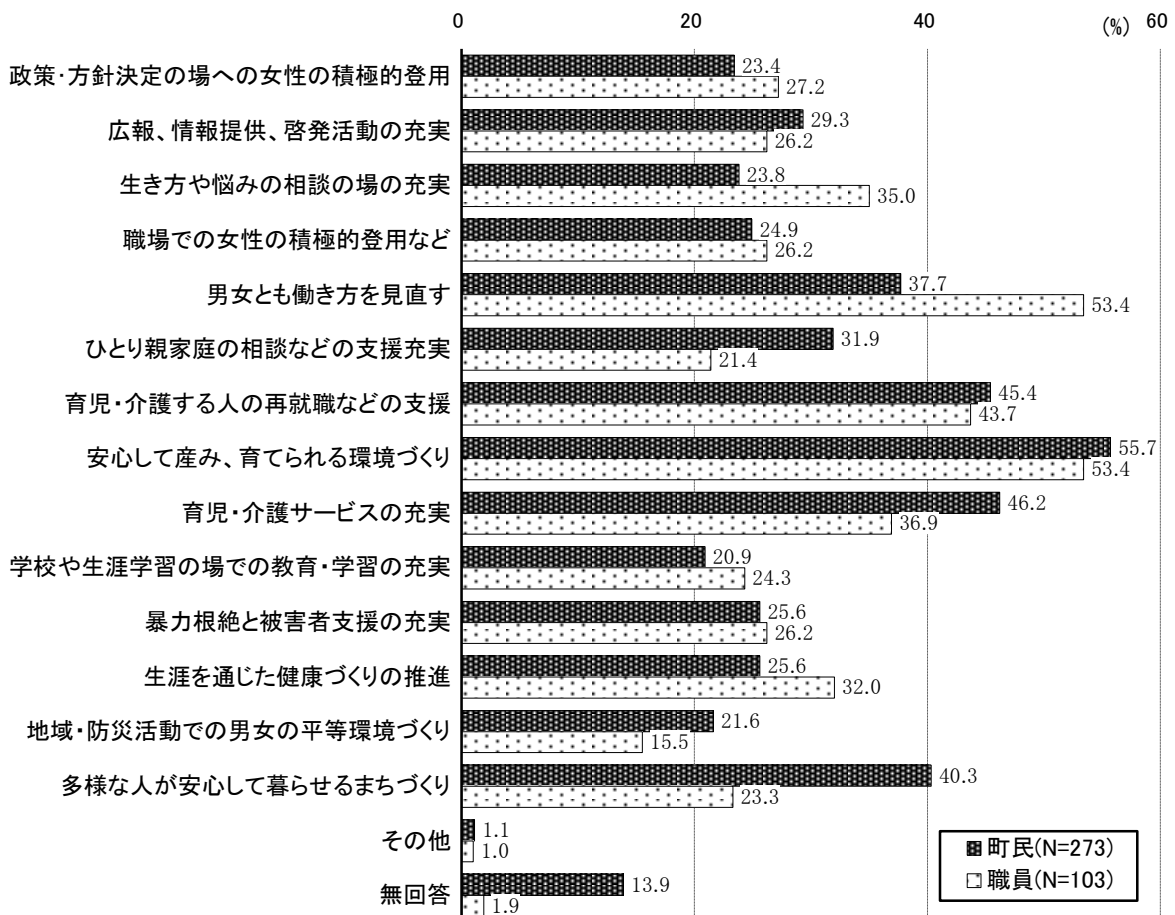
「子どもを安心して産み、育てられる環境づくりを進める」が55.7%で最も高い。これに「育児や介護のためのサービスを充実する」(46.2%)、「育児や介護をする人が仕事を継続したり再就職するよう支援する」(45.4%)が続く。

職員の第1位と第3位は町民と同じであるが、同じ割合で「仕事と生活のバランスがとれるよう男女ともに働き方の見直しを進める」が第1位で並んでいる。

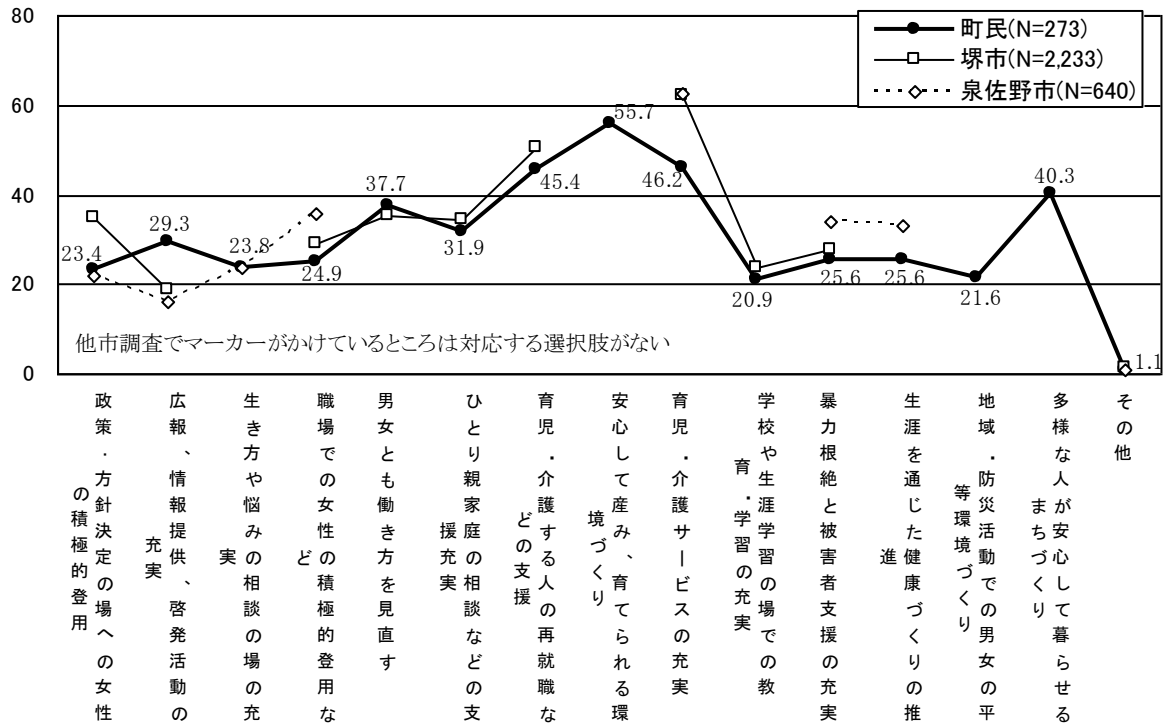
堺市・泉佐野市との比較では、田尻町では「男女共同参画を進めるための広報、情報提供、啓発活動を充実する」が高くなっている。

性・年代別にみると、「子どもを安心して産み、育てられる環境づくりを進める」は女性20・30歳代で全体を25ポイント上回っている。「育児や介護のためのサービスを充実する」や「育児や介護をする人が仕事を継続したり再就職するよう支援する」については女性20・30歳代、女性40・50歳代で高いほか、「育児や介護のためのサービスを充実する」では男性20・30歳代でも高い。

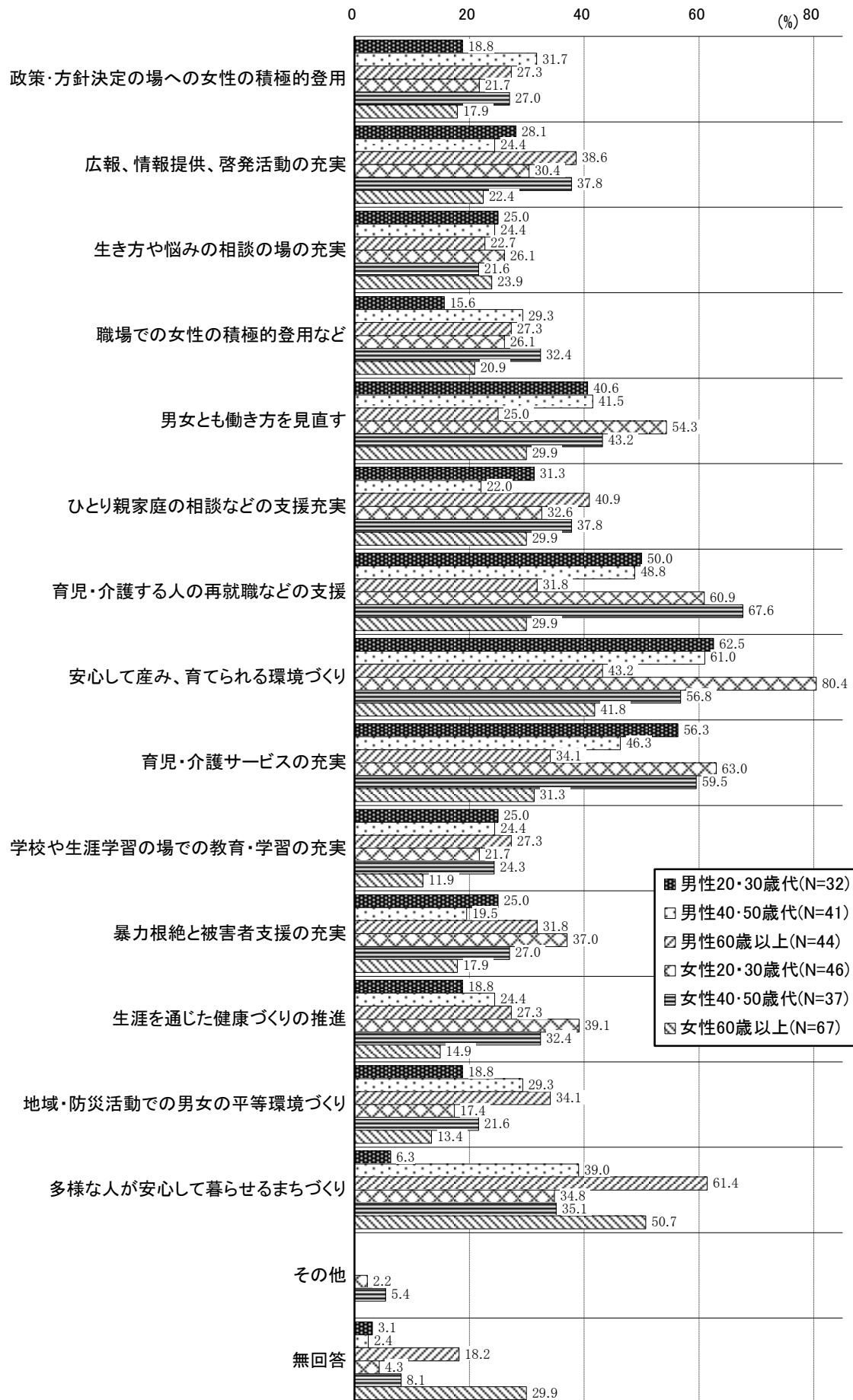
**【田尻町が力を入れていくべきこと】**



【田尻町が力を入れていくべきこと】



【田尻町が力を入れていくべきこと】



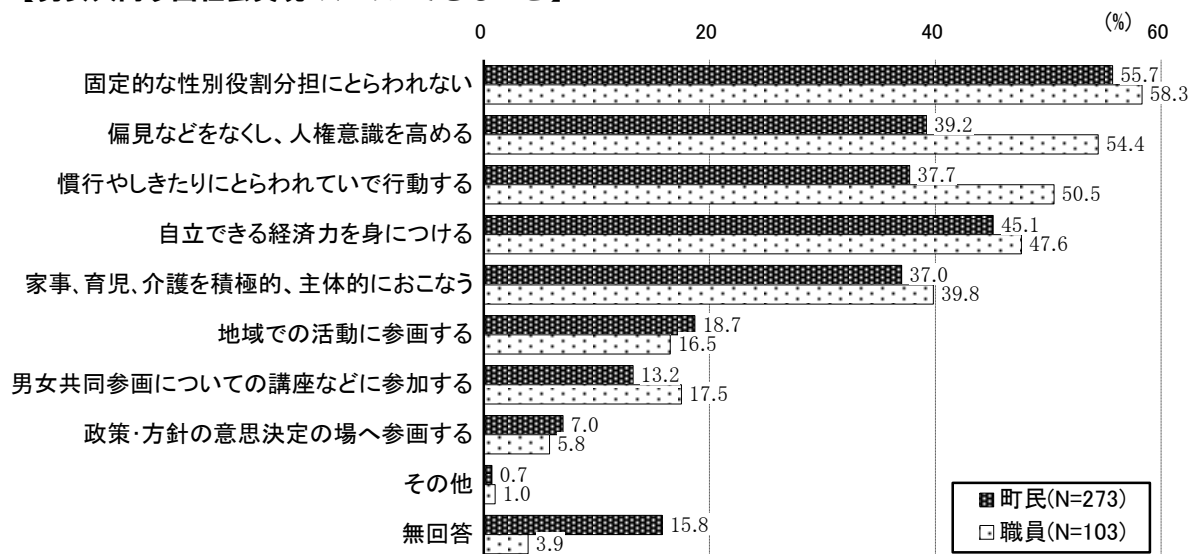
**問 28** 男女共同参画社会を実現するために、あなたは何ができると思いますか。  
 [あてはまるすべてに○]

第1位～第3位は「『男は仕事、女は家庭』といった固定的な性別役割分担意識にとらわれないようにする」(55.7%)、「自立できる経済力を身につける」(45.1%)、「女性や男性に対する偏見や差別意識をなくし、人権意識を高める」(39.2%)である。

職員では第2位が「女性や男性に対する偏見や差別意識をなくし、人権意識を高める」、第3位は「性差別的な慣行やしきたりにとらわれないで行動する」となっている。

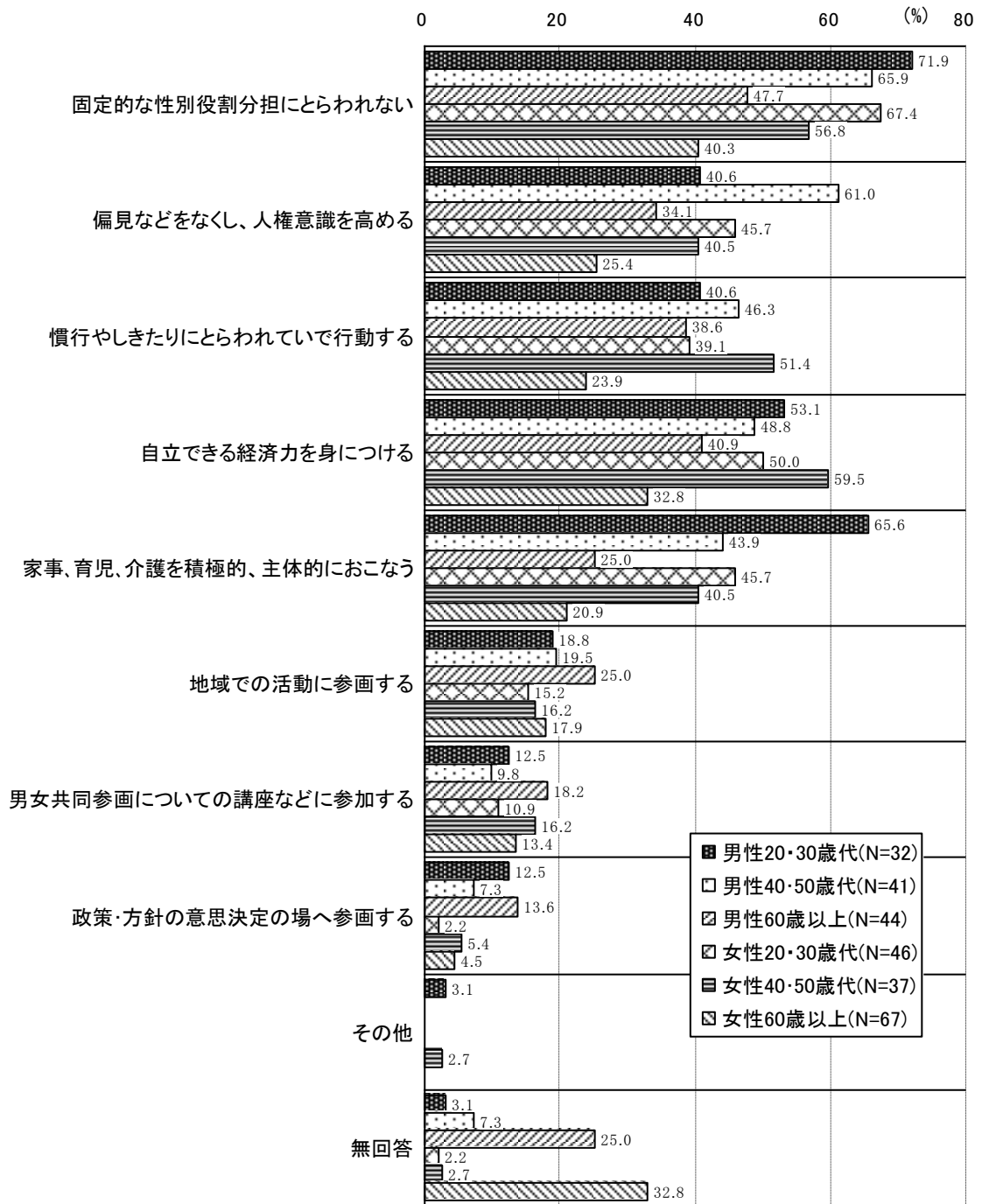
性・年代別には「『男は仕事、女は家庭』といった固定的な性別役割分担意識にとらわれないようにする」への支持は男女ともに20・30歳代で高い。「自立できる経済力を身につける」は女性40・50歳代で高く、「家事、育児、介護を積極的、主体的に行う」は男性20・30歳代で、「女性や男性に対する偏見や差別意識をなくし、人権意識を高める」は男性40・50歳代で高い。

**【男女共同参画社会実現のためにできること】**



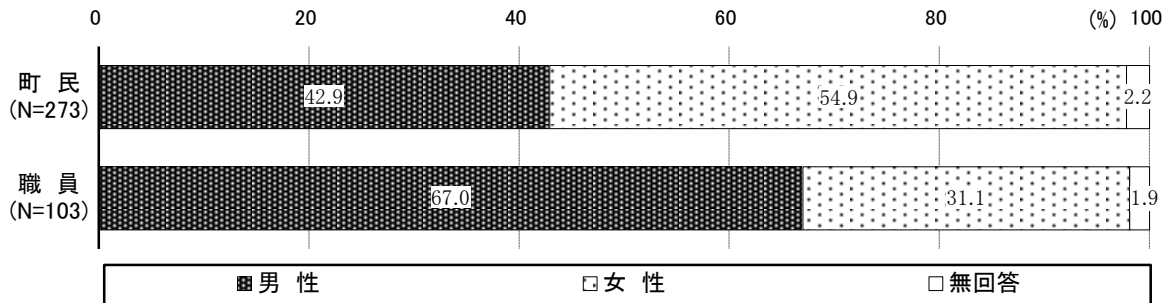


【男女共同参画社会実現のためにできること】

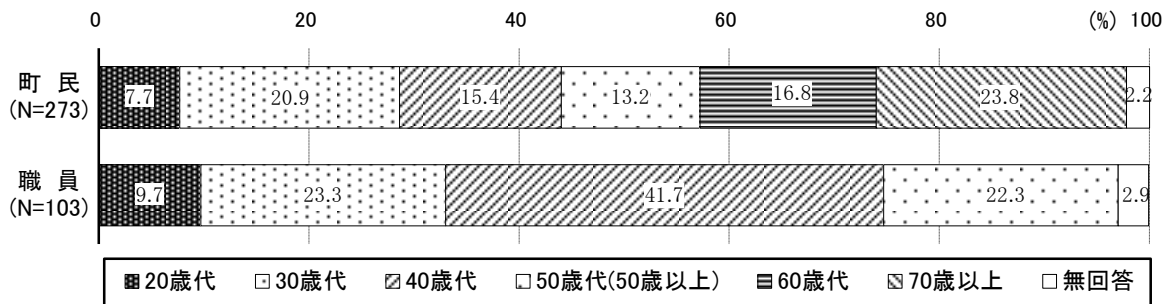


## 回答者の属性

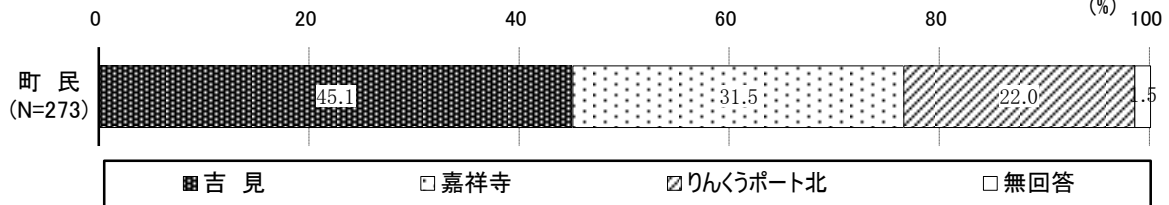
### 【性別】



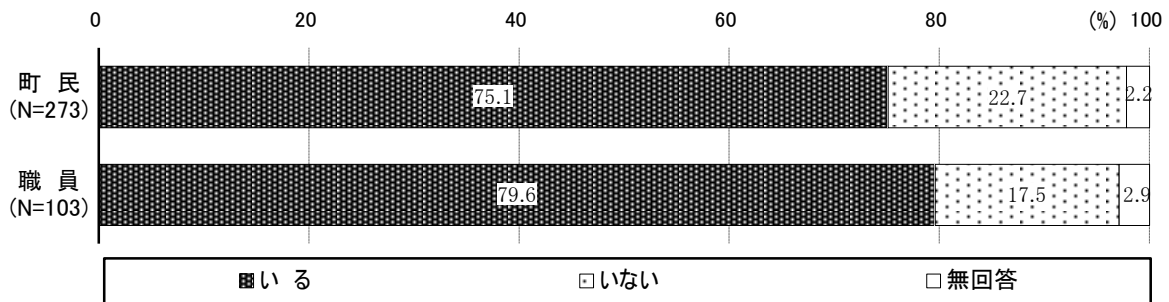
### 【年代】



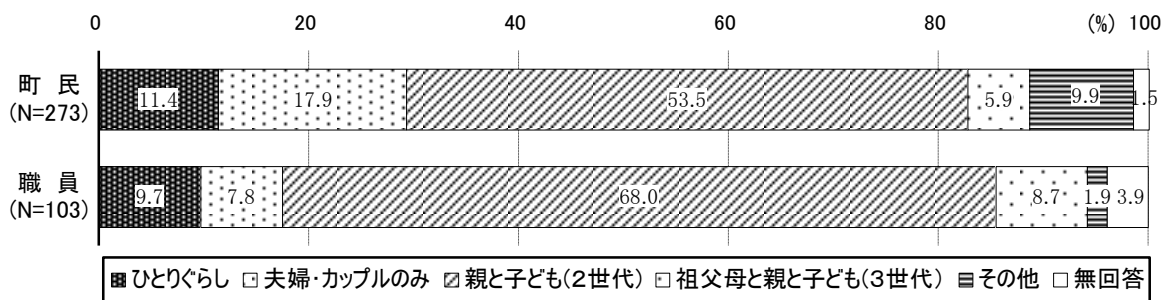
### 【居住地区】



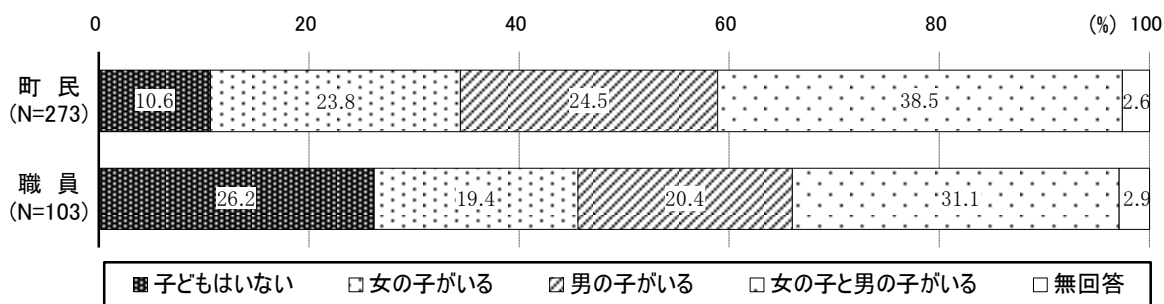
### 【配偶者・パートナーの有無】



**【家族構成】**



**【子どもの有無】**



**【講座・講演会などへの参加経験】**

